

EPSON
EXCEED YOUR VISION

取扱説明書

Officio
オフィリオ プロジェクター

EB-Z8455WU

EB-Z8450WU

EB-Z8355W

EB-Z8350W

EB-Z10005

EB-Z10000

EB-Z8150

マニュアル中の表示の意味

● 安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

● 一般情報に関する表示

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。  p.179
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[(表記名)]	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：[戻る]ボタン
「(メニュー名) 明るさ(太字の表記)」	環境設定メニューの項目を示しています。 例： 画質調整メニュー - 「明るさ」を選びます。 画質調整メニュー - 明るさ

● 環境設定メニューの画面図について

お使いの機種によっては、本マニュアルで表示されている画面と一部異なる場合があります。

マニュアル中の表示の意味 2

はじめに

本機の特長 8

天吊り設置時の使い易さを徹底的に追求	8
安心の信頼性	8
幅広いニーズに対応	9
充実したセキュリティー機能	9
扱いやすさを満載	10
監視・制御機能	10
ネットワークに接続してフル活用	10

各部の名称と働き 11

前面/上面	11
背面	12
インターフェイス	12
操作パネル	13
リモコン	14
電池の入れ方	16
リモコンの操作範囲	17

便利な機能

投写映像を切り替える 19

入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)	19
リモコンで目的の映像に切り替える	20

投写映像のアスペクト比を切り替える 21

アスペクトモードを切り替える(EB-Z8455WU/Z8450WUの場合)	22
ビデオ機器、HDMI1/2、SDI端子からの映像を投写しているとき	22
コンピューターの映像を投写しているとき	22
アスペクトモードを切り替える(EB-Z8355W/Z8350Wの場合)	23
ビデオ機器、HDMI1/2端子からの映像を投写しているとき	23
コンピューターの映像を投写しているとき	23

アスペクトモードを切り替える(EB-Z10005/Z10000/Z8150の場合)	24
ビデオ機器の映像を投写しているとき	24
HDMI1/2入力端子からの映像を投写しているとき	25
コンピューターの映像を投写しているとき	25

映り具合を選ぶ(カラーモードの選択) 27

2種類の映像を同時に投写する(2画面) 28

2画面で投写できる入力ソース	28
操作方法	28
2画面で投写する	28
左画面/右画面を入れ替える	29
左画面/右画面の画面サイズを切り替える	30
2画面を終了する	30
2画面で投写中の制限事項	31
操作に関する制限事項	31
映像に関する制限事項	31

投写を効果的にする機能 32

映像を一時的に遮断する(シャッター)	32
映像を停止させる(静止)	32
説明箇所を指し示す(ポインター)	33
映像を部分的に拡大する(Eズーム)	33

ユーザーロゴの登録 35

セキュリティー機能 37

利用者を管理する(パスワードプロテクト)	37
パスワードプロテクトの種類	37
パスワードプロテクトの設定方法	37
パスワードの認証	38
ボタン操作を制限する	39
操作ボタンロック	39
レンズ操作ロック	40
リモコンボタンロック	41
盗難防止用ロック	42
ワイヤロックの取り付け方	42

メモリー機能 43

登録できる機能	43
メモリの登録/呼び出し/削除	43
メモリの登録	43
メモリの呼び出し	44
メモリの削除	44
メモリ名の変更	44

環境設定メニュー

環境設定メニューの操作	47
環境設定メニュー一覧	48
ネットワークメニュー	49
画質調整メニュー	51
映像メニュー	53
設定メニュー	55
拡張設定メニュー	57
ネットワークメニュー	60
ネットワークメニュー操作上のご注意	61
ソフトキーボードの操作	61
基本設定メニュー	62
無線LANメニュー	63
アクセスポイント検索画面	65
セキュリティーメニュー (オプション品の無線LANユニット装着時に有効)	66
WPA/WPA2-PSK選択時	67
WPA/WPA2-EAP選択時	68
有線LANメニュー	70
管理者設定メニュー	71
メール通知機能メニュー	73
証明書管理メニュー	74
SNMPメニュー	75
初期化メニュー	76

情報メニュー (表示のみ)	77
---------------------	----

初期化メニュー	79
---------------	----

困ったときに

ヘルプの見方	81
--------------	----

故障かなと思ったら	82
-----------------	----

インジケータの見方	82
⏻ インジケータが赤色点灯/点滅時	83
⚠️ 📶 インジケータが点滅/点灯時	84
インジケータを見てもわからないとき	86
映像に関するトラブル	87
投写開始時のトラブル	91
その他のトラブル	92
Event IDの見方	94

メンテナンス

各部の掃除	96
--------------------	-----------

本機の掃除	96
レンズの掃除	96
エアフィルターの掃除	96

消耗品の交換方法	99
-----------------------	-----------

ランプの交換	99
ランプの交換時期	99
ランプの交換方法	99
ランプ点灯時間の初期化	101
エアフィルターの交換	102
エアフィルターの交換時期	102
エアフィルターの交換方法	102

輸送時のご注意	104
----------------------	------------

近くへの移動	104
--------------	-----

輸送する場合	104
梱包の準備	104
梱包と輸送の注意	104

監視と制御

EasyMP Monitor について	106
Webブラウザを使って設定を変更する(Web制御)	107
Web制御を表示する	107
Web Remoteを表示する	107
Lens Controlを表示する	108
証明書の設定をする	109
セキュアHTTPについての注意	110
メール通知機能で異常を通知する	111
異常通知メールの見方	111
SNMP を使って管理する	112
ESC/VP21コマンド	113
シリアル接続	113
通信プロトコル	113
コマンドリスト	113
PJLink について	115
Crestron RoomView[®] について	116
コンピューターの画面上でプロジェクターを操作する	116
操作画面を表示する	116
操作画面の使い方	117
Tools画面の使い方	118
Message Broadcasting について	120

ネットワーク関連機能

「ネットワークプロジェクターへの接続」で投写する	122
WPS(Wi-Fi Protected Setup)で無線LANアクセスポイントに接続する	123
接続設定の方法	123
プッシュボタン方式で接続する	124
PINコード方式で接続する	125

設置と接続

いろいろな設置方法	128
映像機器との接続	130
コンピューターとの接続	130
ノート型コンピューターの映像出力切り替え	131
ビデオ映像機器との接続	132
投写映像を調整する	135
テストパターンを表示する	135
投写映像の位置調整(レンズシフト)	136
投写映像の傾きを調整する	137
投写映像のゆがみを補正する	137
Quick Corner	138
タテヨコ補正	140
弓型補正	141
画質調整	144
色相・彩度・明度の調整	144
ガンマの調整	144
補正値を選んで調整する	144
映像を見ながら調整する	145
ガンマ調整グラフで調整する	145
フレーム補間(EB-Z8455WU/Z8450WUのみ)	145
超解像	146

ノイズリダクション	146
ノイズリダクション	146
モスキートNR	147
複数台設置時の設定	148
準備の流れ	148
プロジェクターID/リモコンID	148
プロジェクターIDを設定する	149
プロジェクターIDの確認方法	149
リモコンIDを設定する	150
投写位置を合わせる	150
ポイント補正	151
カラーモードの確認	152
エッジブレンディングを使う	153
マルチプロジェクションで色合わせ(微調整)を行う	155
映像を部分的に拡大(表示倍率変更)して表示する	155
スケジュール設定	157
設定方法	157
時刻設定	158
夏時間設定画面	158
スケジュール	158
時刻/スケジュール設定画面	158
外部機器との接続	159
LANケーブルの接続	159
外部モニターとの接続	159
オプション品・同梱品の取り付け	160
投写レンズユニットの取り外しと取り付け	160
取り外し方	160
取り付け方	161
無線LANユニット(ELPAP07)の取り付け	163
取り付け方	163
無線LANインジケータの見方	163
インターフェイスカバーの取り付け、取り外し	164
取り外し方	164
取り付け方	164

フットの取り外し	165
----------------	-----

各種一覧

オプション・消耗品一覧	168
オプション品	168
消耗品	168
スクリーンサイズと投写距離	169
EB-Z8455WU/Z8450WUの投写距離	169
EB-Z8355W/Z8350Wの投写距離	170
EB-Z10005/Z10000/Z8150の投写距離	171
対応解像度一覧	173
対応解像度	173
コンピューター映像(アナログRGB)	173
コンポーネントビデオ	173
コンポジットビデオ/S-ビデオ	173
HDMI1/2入力端子からの入力信号	173
SDI入力端子からの入力信号(EB-Z8455WU/Z8450WUのみ)	174
サポートする証明書の仕様一覧	175
仕様一覧	176
本機仕様	176
外形寸法図	178
用語解説	179
一般のご注意	181
本製品について	181
表記について	181
商標について	182
索引	183



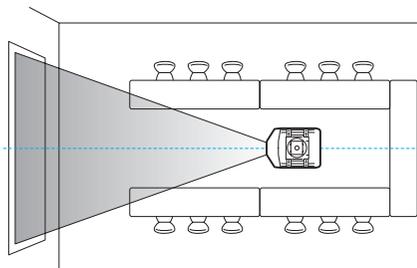
はじめに

ここでは、本機の特長と各部の名称について説明しています。

天吊り設置時の使い易さを徹底的に追求

レンズセンターの形状

レンズがプロジェクター本体の中央にありますので、重量バランスが取りやすく天吊り設置の作業を容易にします。また、スクリーンと本機の位置合わせが簡単に行えます。



電動レンズシフト・ズーム・フォーカス搭載

映像の投写位置を上下方向と左右方向に調整できるレンズシフトを搭載していますので、設置の自由度がグンと広がります。▶ p.136

レンズシフト・ズーム・フォーカスはリモコンを使って電動で調整できますので、天吊り設置時の作業性が向上します。

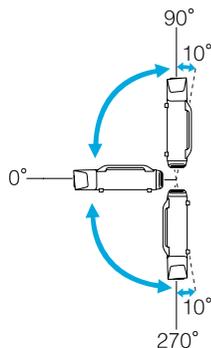
バリエーション豊富なオプションレンズを用意

投写距離や目的に合わせて最適なレンズを選べます。オプションレンズはバヨネット式で簡単・手軽に交換、装着できます。▶ p.160

さまざまな角度に投写可能

通常の水平投写に加えて上向き投写、下向き投写、斜め投写ができますので、天井に投写したり、床面に投写したりとお客様のアイデアしだいでインパクトのあるコミュニケーションツールとしてお使いいただけます。

▶ p.128



お使いになる環境になじみ、設置作業もしやすいデザイン

洗練された本体デザインに加えて、ケーブルカバーが本体と一体化しているため雑然としたケーブル類をきれいに包み隠しスッキリと綺麗に見せます。設置・運搬のしやすさを考慮してハンドルをバータイプにしましたので、安心して持ち運べます。天吊り時はこのハンドル部分に天吊り金具を取り付けます。本体をひっくり返す必要がないので容易に設置できます。操作パネルも背面にあり設置時にスクリーンを見ながら操作できます。

メンテナンスの容易さ

ランプはドライバーを使わずに、背面のカバーを開けてそのまま水平に引き抜いて交換できます。

エアフィルターも1箇所だけなので清掃・交換が簡単にできます。ランプやエアフィルターのカバーは手を離しても落下しませんので、天吊りされていても簡単に安定した体勢で交換できます。

安心の信頼性

2つのランプ搭載でシャットダウンリスクを低減

本機は2灯式で、投写ランプを2個搭載しています。万一、使用中に一方のランプが割れたり失灯する事態が起きても、もう一方のランプで投写を継続できるため、大事な機会を損なうことはありません。

動作温度0～50℃を実現

クーリングシステムに専用の冷却液とファンを用いることで、動作時の高い環境温度に対応し、常設利用の際の安心感を向上しています。

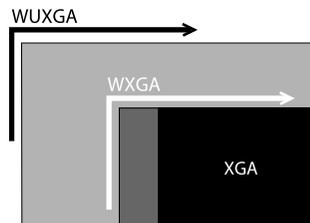
設定や使用する条件にもよりますが、最高50℃までの環境でご使用いただけます。

幅広いニーズに対応

超高解像度のWUXGAパネルを搭載 (EB-Z8455WU/Z8450WUのみ)

圧倒的な情報量を大画面で提供できます。頻繁に画面を切り替えたり、スクロールする必要もなく一覽性に富んだ、見る人に負担のない情報伝達ができます。

また、フレーム補間機能を使うとスポーツやアクション映画など、動きの速い動画の残像感を低減し、なめらかに見せることができます。



2種類の映像を同時に投写(2画面)

2種類の映像ソースを同時に並列投写できます。プレゼンテーションの資料を投写しながらビデオ会議を行うなど、用途の幅が広がります。

☛ p.18



医用画像を鮮明に再現

エックス線写真などの医用画像を投写するためのカラーモード「DICOM SIM」を搭載しています。医用画像をDICOM規格に近似した画質で再現できます。(本機は医療機器ではありませんので、医療診断の用途ではご利用いただけません。) ☛ p.27

エプソンシネマフィルターによりデジタルシネマの色域に対応

カラーモードでシアターまたはsRGBを選択すると、エプソンシネマフィルターが働きます。カラーモードがシアターのときは、デジタルシネマで使用されている色再現領域に100%対応します。これにより、コンテンツに含まれる色情報を余すところなく、深みのある色で表現します。

こだわりの色調整

カラーモードに加えて、映像の絶対色温度やRGB各色の強さの調整ができます。さらに、RGBCMYごとに、色相、彩度、明度を調整できますので、細部にわたって優れた深さとカラーマッチングで映像を作り出すことができます。調整した映像に関する設定は、メモリーとして保存することができ、必要なときにその設定を呼び出すことができます。1台のプロジェクターを複数の場所で使うとき、簡単に前回の設定に戻すことができ便利です。

複数の映像をシームレスにつなぐ

本機を複数台並べて一つの画面を構成するときに、マルチスクリーンやエッジブレンディングなどの機能を使ってプロジェクター間の色の個体差を調整したり、つなぎ目を目立たなくすることができます。☛ p.148

充実したセキュリティー機能

利用者を制限・管理するパスワードプロテクト

パスワードを設定して、本機を使用する人を制限・管理することができます。☛ p.37

操作パネルのボタン操作を制限する操作ボタンロック

イベントや学校などで使用する際に本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。☛ p.39

多様な盗難防止の機構を装備

本機には機器そのものを持ち出されないように、次の機構が備わっています。☛ p.42

- セキュリティースロット
- セキュリティーケーブル取付け部

扱いやすさを満載

ダイレクトにパワーオン/オフ

会議室など電源を集中管理している部屋でも管理元の主電源を入れる/切っして本機の電源をオン/オフすることができます。

クールダウン不要ですばやい片付け

使用後、本機の電源ボタンを押せばクールダウンを待つことなく電源ケーブルを抜き片付けられます。

監視・制御機能

スケジュール

電源のオン/オフや入力ソースの切り替えといった操作をイベントとしてスケジュールに登録することができます。特定の日、あるいは毎週の決まった時間に登録したイベントを自動的に実行できます。 ● 「スケジュール設定」
[p.157](#)

多様なプロトコルに対応

エプソン製のアプリケーションソフトEasyMP Monitorをはじめ、複数の監視・制御用プロトコルに対応しています。お使いのシステム環境に合わせて本機をご利用いただけます。 ● 「監視と制御」
[p.105](#)

ネットワークに接続してフル活用

4画面同時投写でより活発な会議を演出

同梱のアプリケーションソフトEasyMP Multi PC Projectionを使うと、ネットワークにつながった最大32台のPCから任意のPC画面を最大4台までプロジェクター画面に分割して表示することが可能です。接続しているコンピューターから誰でも自由に、そして簡単に投写できますので、活発な会議・議論を行います。 ● 『[EasyMP Multi PC Projection操作ガイド](#)』

ネットワークを利用した画面転送

同梱のアプリケーションソフトEasyMP Network Projectionを使ってネットワーク上のコンピューターと接続し、画像や動画を転送できます。多彩な転送機能を使うことで、プレゼンテーションの幅が広がります。 ● 『[EasyMP Network Projection操作ガイド](#)』

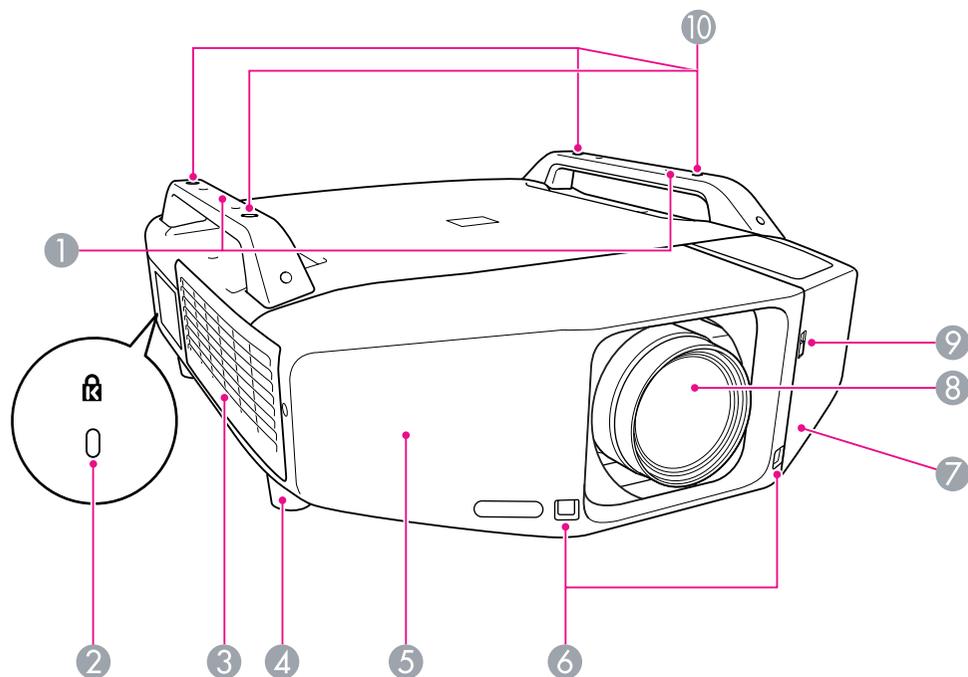
※ 本機は音声転送はできません。

「ネットワークプロジェクターへの接続」で投写

Windows Vista/Windows7に標準搭載のネットワークプロジェクター機能を使うと、本機をネットワークに接続してネットワーク上の複数のユーザーが共有プロジェクターとして利用できます。 ● [p.122](#)

前面/上面

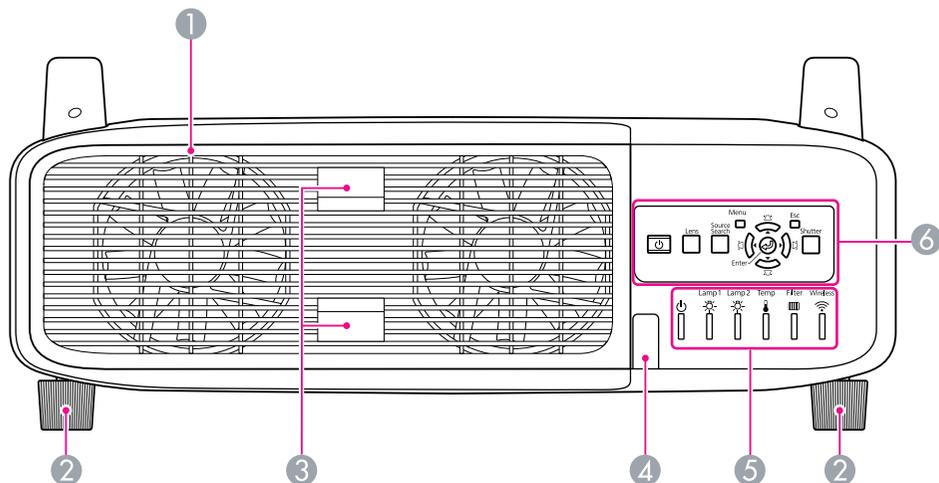
標準ズームレンズを装着しているときのイラストになっています。



名称	働き
① ハンドル	<p>本機を持ち運ぶときは、このハンドルを持って移動してください。また、盗難防止用ワイヤロックで本機を固定する際は、このハンドルにワイヤを通して固定します。☞ p.42</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⚠ 注意</p> <p>本機は重いので、1人で運ばないでください。開梱や移動の際は2人以上で運んでください。</p> </div>

名称	働き
② セキュリティースロット(🔒)	<p>Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティースロットです。☞ p.42</p>
③ 吸気口(エアフィルター)	<p>本機内部を空冷するための空気を取り込みます。ここにホコリがたまると内部の温度が上昇し、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。エアフィルターは定期的に清掃してください。☞ p.96, p.102</p>
④ フロントフット	<p>机上設置時に、水平方向の傾きを調整するときに回して伸縮させます。天吊り時は取り外すことができます。☞ p.165</p>
⑤ フロントカバー	<p>投写レンズ交換時に、このカバーを取り外してレンズユニットを脱着します。☞ p.160 通常は必ず取り付けられた状態で使用してください。</p>
⑥ リモコン受光部	<p>リモコン信号を受信します。☞ p.17</p>
⑦ インターフェイスカバー	<p>映像機器と接続するときに、このカバーを取り外して中の端子に接続ケーブルを接続します。☞ p.12, p.164</p>
⑧ 投写レンズ	<p>ここから映像を投写します。</p>
⑨ インターフェイスカバー開閉スイッチ	<p>インターフェイスカバーの開閉時に操作します。☞ p.164</p>
⑩ 天吊り固定部(4箇所)	<p>天井から吊り下げて使うとき、オプション品の天吊り金具を取り付けます。☞ p.128, p.168</p>

背面

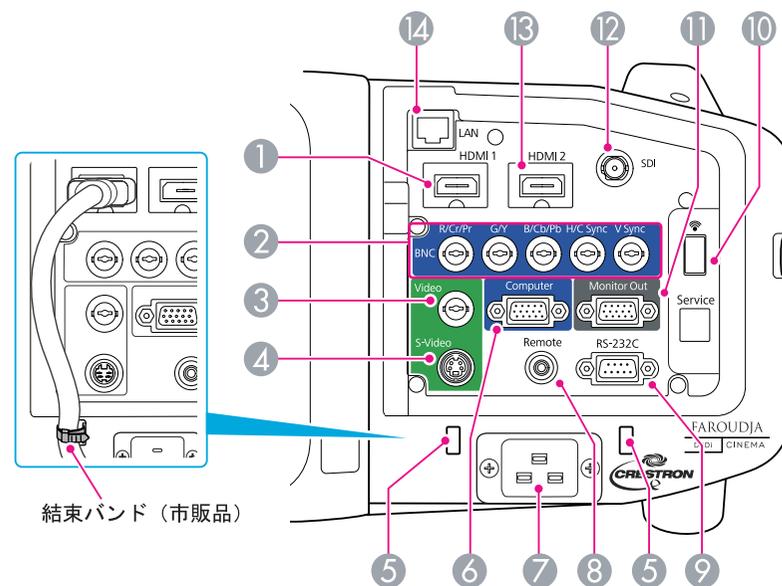


名称	働き
① 排気口 (ランプカバー)	本機内部を空冷した空気の吐き出し口です。また、ランプ交換時にこのカバーを開けて中のランプを交換します。 注意 投写中は、排気口の付近に、熱で変形したり、悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。
② リアフット	机上設置時に、水平方向の傾きを調整するときに回して伸縮させます。 天吊り時は取り外すことができます。☞ p.165
③ ランプカバー開ツマミ	ランプカバーを開ける時操作します。☞ p.99
④ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。☞ p.17
⑤ 状態インジケータ	本機の状態を色や点灯・点滅で示します。 ☞ p.82

名称	働き
⑥ 操作パネル	☞「操作パネル」 p.13

インターフェイス

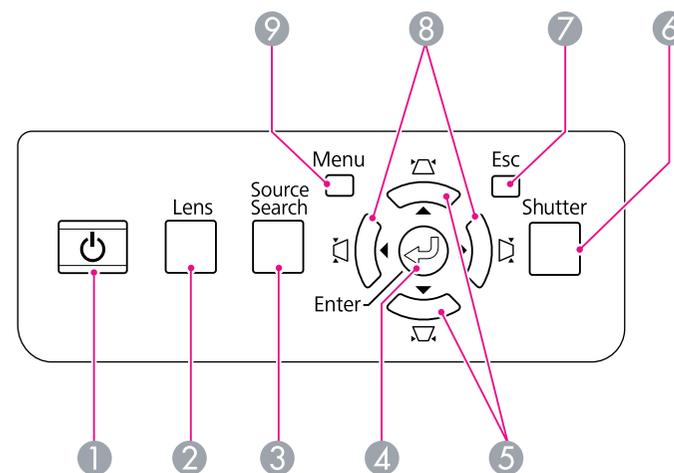
インターフェイスカバーを外すと以下の端子が装備されています。インターフェイスカバーの外し方と映像機器との接続方法 ☞「インターフェイスカバーの取り付け、取り外し」 p.164、「映像機器との接続」 p.130



名称	働き
① HDMI1入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの映像信号を入力します。本機はHDCP▶に対応しています。
② BNC入力端子	コンピューターのアナログRGB信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。

名称	働き
③ Video入力端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。
④ S-Video入力端子	ビデオ機器のS-ビデオ信号を入力します。
⑤ ケーブルホルダー	外径の太いHDMIケーブルを入力端子に接続したときに、ケーブルの重さでコネクタの差し込みが不完全になることがあります。これを防ぐために市販の結束バンド(ケーブルタイ)をこのホルダーに通してケーブルを固定します。
⑥ Computer入力端子	コンピュータのアナログRGB信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。
⑦ 電源端子	電源ケーブルを接続します。
⑧ Remote端子	オプション品のリモコンケーブルセットを接続し、リモコンからの信号を入力します。リモコンケーブルをこのRemote端子に差し込むと本機のリモコン受光部は機能しなくなります。
⑨ RS-232C端子	コンピュータから本機を制御するときにRS-232Cケーブルでコンピュータと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。☞ p.113
⑩ 無線LANユニット用端子	オプション品の無線LANユニットを装着します。☞ p.163
⑪ Monitor Out端子	外部モニターと接続し、Computer入力端子またはBNC入力端子から入力しているコンピュータのアナログRGB信号を出力します。コンポーネントビデオ信号やComputer、BNC入力端子以外の端子から入力している信号は出力しません。☞ p.159
⑫ SDI端子 (EB-Z8455WU/ Z8450WUのみ)	映像機器のSDI信号を入力します。
⑬ HDMI2入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピュータの映像信号を入力します。本機はHDCP▶▶に対応しています。
⑭ LAN端子	LANケーブルを接続し、ネットワークに接続します。☞ p.159

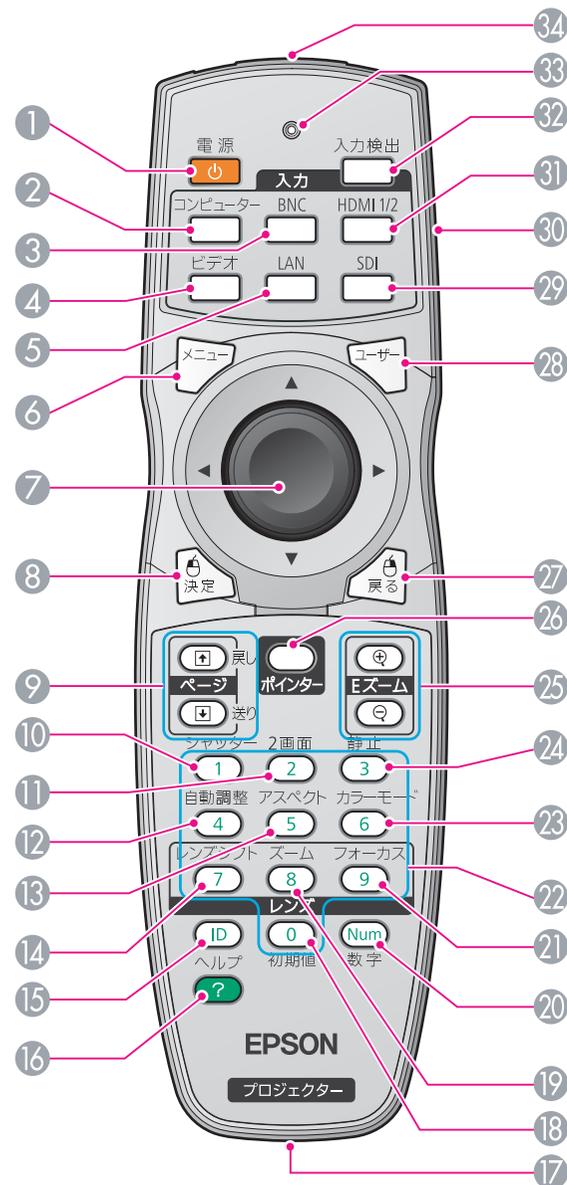
操作パネル



名称	働き
① [⏻]ボタン	電源をオン/オフします。☞ 『かんたん操作ガイド』
② [Lens]ボタン	押すたびに、フォーカス調整-ズーム調整-レンズソフト調整の順で投写レンズの調整ができます。☞ p.136、『かんたん操作ガイド』
③ [Source Search]ボタン	次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えます。☞ p.19
④ [Enter]ボタン	コンピュータのアナログRGB信号を投写中に押すと、最適に映るようにトラッキング・同期・表示位置が自動調整されます。 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。☞ p.47

名称	働き
5 [△/▲][▽/▼]ボタン	タテ台形補正するときに押します。☞ p.140 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、[▲][▼]ボタンとして機能し、メニュー項目や設定値を選択します。☞ p.47 「ネットワークプロジェクターへの接続」で投写しているときは、[▲][▼]ボタンとしてのみ機能します。
6 [Shutter]ボタン	電動シャッターの閉/開、または一時的に映像をミュートすることによって画面を暗くします。 シャッターボタンで選択されたいずれかの動作を実行します。 ☞ p.32
7 [Esc]ボタン	実行中の機能を終了します。 環境設定メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。☞ p.47
8 [◀/▶][↶/↷]ボタン	ヨコ台形補正するときに押します。☞ p.140 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、[◀][▶]ボタンとして機能し、メニュー項目や設定値を選択します。☞ p.47 「ネットワークプロジェクターへの接続」で投写しているときは、[◀][▶]ボタンとしてのみ機能します。
9 [Menu]ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 ☞ p.47

リモコン



名称	働き
① [⏻]ボタン	本機の電源をオン/オフします。☞『かんたん操作ガイド』
② [コンピューター]ボタン	Computer入力端子からの映像に切り替えます。☞ p.20
③ [BNC]ボタン	BNC入力端子からの映像に切り替えます。☞ p.20
④ [ビデオ]ボタン	押すたびに、Video入力端子、S-Video入力端子からの映像に切り替えます。☞ p.20
⑤ [LAN]ボタン	EasyMP Network Projectionの映像に切り替えます。☞ p.20
⑥ [メニュー]ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。☞ p.47
⑦ [⊙]ボタン	環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値の選択を行います。☞ p.47, p.81 オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時は、ボタンを傾けると傾けた方向(8方向)にマウスポインタが移動します。
⑧ [決定]ボタン	環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。☞ p.47, p.81 オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時は、マウスの左ボタンとして機能します。
⑨ [ページ]ボタン [⏪][⏩]	オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時に、このボタンを押して投写中のPowerPointのスライドを次に送る/前に戻すことができます。
⑩ [シャッター]ボタン	電動シャッターの閉/開、または一時的に映像をミュートすることによって画面を暗くします。シャッターボタンで選択されたいずれかの動作を実行します。☞ p.32
⑪ [2画面]ボタン	画面を2つに分割して、2種類の映像を同時に投写するときに押します。☞ p.28

名称	働き
⑫ [自動調整]ボタン	コンピューターのアナログRGB信号を投写中に押すと、最適に映るようにトラッキング・同期・表示位置が自動調整されます。
⑬ [アスペクト]ボタン	押すたびに、アスペクト比▶▶が切り替わります。☞ p.21
⑭ [レンズシフト]ボタン	レンズシフトの調整をするときに押します。☞ p.136
⑮ [ID]ボタン	リモコンIDを設定するときに押します。☞ p.148
⑯ [ヘルプ]ボタン	トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。☞ p.81
⑰ リモート端子	オプション品のリモコンケーブルセットを接続し、リモコンからの信号を出力します。リモコンケーブルをこのリモート端子に差し込むとリモコン発光部は機能しなくなります。
⑱ [初期値]ボタン	一部の環境設定メニューのみ、調整中の設定値を初期値に戻します。
⑲ [ズーム]ボタン	ズーム調整するときに押します。☞『かんたん操作ガイド』
⑳ [数字]ボタン	パスワードの入力やネットワークメニューでIPアドレスなどを入力するときに使います。☞ p.37
㉑ [フォーカス]ボタン	フォーカス調整するときに押します。プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、フォーカス/ズーム/レンズシフトの設定は、映像を投写し始めてから30分以上たってから行うことをお勧めします。☞『かんたん操作ガイド』
㉒ テンキーボタン	パスワード入力やリモコンIDの指定、ネットワークメニューでIPアドレスなどを入力するときに使います。☞ p.150, p.37
㉓ [カラーモード]ボタン	押すたびにカラーモードが切り替わります。☞ p.27
㉔ [静止]ボタン	映像を一時停止/解除します。☞ p.32

名称	働き
25 [Eズーム]ボタン [Ⓜ][Ⓜ]	[Ⓜ]ボタンを押すと、投写サイズを変えずに映像を拡大します。 [Ⓜ]ボタンを押すと、[Ⓜ]ボタンで拡大した結果を縮小します。 ● p.33
26 [ポインター]ボタン	投写中の映像をポインターで指し示すときに押します。 ● p.33
27 [戻る]ボタン	実行中の機能を終了します。環境設定メニューを表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 ● p.47 オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時は、マウスの右ボタンとして機能します。
28 [ユーザー]ボタン	環境設定メニューのよく使われる項目の中から任意に項目を選択して、このボタンに割り当てることができます。ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。 ● p.55 初期設定ではテストパターンが割り当てられています。
29 [SDI]ボタン	SDI入力端子からの映像に切り替えます。 ● p.20 EB-Z8355W/Z8350W/Z10005/Z10000/Z8150をお使いのときは、このボタンを押しても何も機能しません。
30 IDスイッチ	リモコンのID設定の有効(On)/無効(Off)を切り替えるスイッチです。 ● p.148
31 [HDMI 1/2]ボタン	押すたびに、HDMI1入力端子、HDMI2入力端子からの映像に切り替えます。 ● p.20
32 [入力検出]ボタン	次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えます。 ● p.19
33 インジケーター	リモコン信号を出力しているときに発光します。
34 リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

電池の入れ方

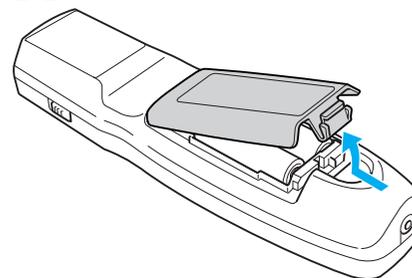
お買い上げ時は、リモコンに電池はセットされていません。同梱の乾電池(単3形アルカリ乾電池2本)をセットしてからお使いください。

注意

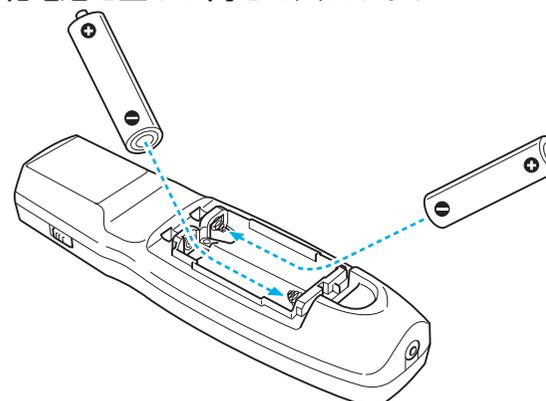
電池を取り扱う前に、別冊の『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。 ● 『安全にお使いいただくために』

操作

- 1 電池カバーを外します。
電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



- 2 乾電池を正しい向きで入れます。

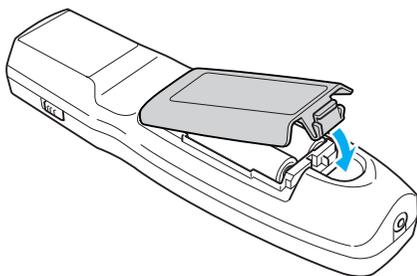


⚠ 注意

電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。

③ 電池カバーを取り付けます。

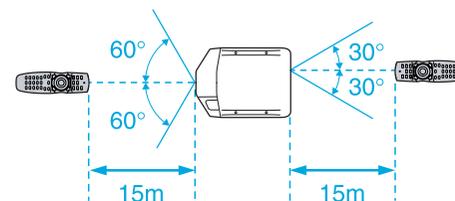
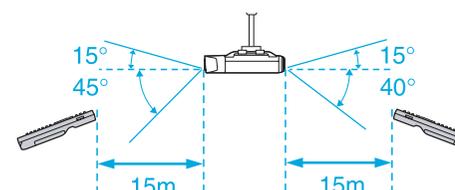
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形アルカリ乾電池2本を用意してください。単3形アルカリ乾電池以外の電池は使用できません。

リモコンの操作範囲

リモコン発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けてご使用ください。本機に添付のリモコンの操作可能範囲は以下のとおりです。

操作可能範囲 (左右)**操作可能範囲 (上下)**

- リモコンからの操作信号の受信を制限するときは、**設定メニューのリモコン受光部**で設定します。☞ p.55
- 他のエプソンプロジェクターに添付のリモコンで本機を操作するときは、**拡張設定メニューのリモコン種類**で設定します。☞ p.57
ただし、お使いのリモコンにより操作可能範囲は異なります。



便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに効果的な機能と、セキュリティー機能について説明しています。

投写する映像を切り替えるには以下の2通りの方法があります。

- 入力検出で切り替える
本機に接続している機器から映像信号が入力されているかを自動検出し、映像信号が入力されている入力端子からの映像を投写します。
- ダイレクトに目的の映像に切り替える
リモコンから目的の入力端子のボタンを押して切り替えます。

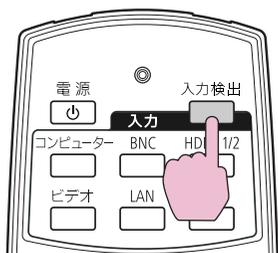
入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)

[入力検出]ボタンまたは[Source Search]ボタンで切り替えると、映像信号が入力されている入力端子からの映像にのみ切り替わりますので、目的の映像をすばやく投写できます。

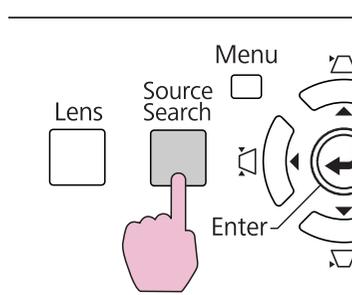
操作

ビデオ機器を接続しているときは、再生状態にしてから操作を開始してください。複数の機器を接続しているときは、目的の映像が投写されるまで[入力検出]ボタンまたは[Source Search]ボタンを繰り返し押しします。

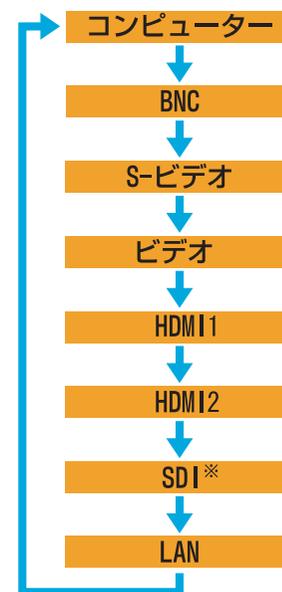
リモコンの場合



操作パネルの場合



[入力検出]ボタンまたは[Source Search]ボタンを押すと、以下の順で映像信号が入力されている入力端子を検出します。(映像信号が入力されていない入力端子は飛び越します。)



※EB-Z8455WU/Z8450WUのみ

LANに切り替わったときは、ネットワークを介して接続しているコンピュータの映像が投写されます。



現在投写中の映像信号しか入力されていないときや映像信号がまったく入力されていないときは、映像信号の状態を示す以下の画面が表示されたままになります。この画面では投写したい機器を接続している入力端子を選択することができます。何も操作しないと、約10秒で画面は消えます。

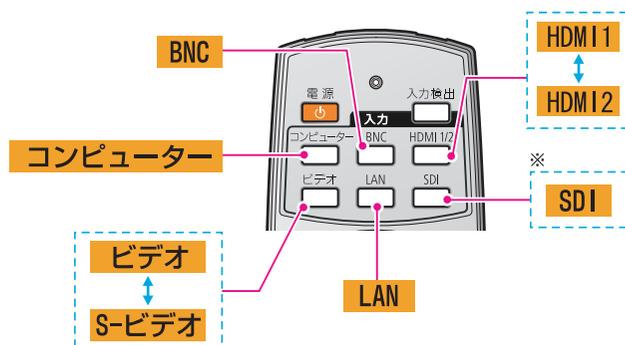


※EB-Z8455WU/Z8450WUのみ

リモコンで目的の映像に切り替える

以下のリモコンのボタンを押すと、目的の入力端子からの映像に直接切り替えることができます。☛「リモコン」 p.14

LANに切り替えると、ネットワークを介して接続しているコンピューターの映像が投写されます。



入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせてアスペクトモードを選択し、投写映像の[アスペクト比](#)を切り替えます。アスペクトモードの種類は以下のとおりです。投写している映像の種類により、設定できるアスペクトモードは異なります。

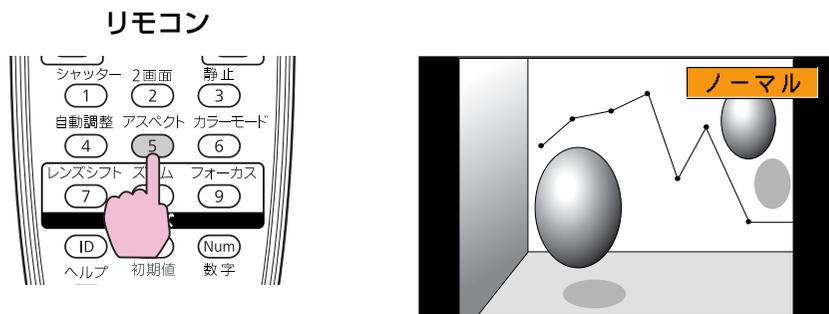
EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350Wの場合

アスペクトモード	説明
ノーマル	入力した映像のアスペクト比のまま投写サイズいっぱいになるように投写します。
オート	入力した信号の情報に基づき適切なアスペクト比で投写します。
16:9	16:9のアスペクト比で投写サイズいっぱいになるように投写します。
16:9(上)	16:9のアスペクト比で投写サイズいっぱいにし、スクリーン上側に投写します。
16:9(下)	16:9のアスペクト比で投写サイズいっぱいにし、スクリーン下側に投写します。
フル	投写サイズいっぱいになるように投写します。
ズーム	入力した映像のアスペクト比のまま横方向が投写サイズいっぱいになるように投写します。投写サイズをはみ出した分は投写されません。
リアル	入力した映像の解像度のまま投写サイズの中央に投写します。よりはっきり投写したいときに適しています。 映像の解像度が本機のパネル解像度(EB-Z8355W/Z8350W : 1280x800、EB-Z8455WU/Z8450WU : 1920x1200)を超えるときは、映像の周辺部分は投写されません。

EB-Z10005/Z10000/Z8150の場合

アスペクトモード	説明
ノーマル	入力した映像のアスペクト比のまま投写サイズいっぱいになるように投写します。
オート	入力した信号の情報に基づき適切なアスペクト比で投写します。
4:3	4:3のアスペクト比で投写サイズいっぱいになるように投写します。アスペクト比が5:4(1280x1024など)の映像を投写サイズいっぱいに投写したいときに適しています。
16:9	16:9のアスペクト比で投写します。16:9のスクリーン使用時に、スクリーンいっぱいに投写したいときに適しています。
16:9(上)	16:9のアスペクト比で投写サイズいっぱいにし、スクリーン上側に投写します。
16:9(下)	16:9のアスペクト比で投写サイズいっぱいにし、スクリーン下側に投写します。
リアル	入力した映像の解像度のまま投写サイズの中央に投写します。よりはっきり投写したいときに適しています。 映像の解像度が本機のパネル解像度(1024x768)を超えるときは、映像の周辺部分は投写されません。

操作



ボタンを押すと、画面上に現在のアスペクトモード名が表示されます。アスペクトモード名が画面上に表示されている間にボタンを押すと、次のアスペクトモードに切り替わります。



- 環境設定メニューの映像メニュー - アスペクトからも設定できます。 [p.53](#)
- 映像メニュー - 表示倍率変更をオンに設定し、表示倍率モードをフル表示に設定しているときは、アスペクトモードを切り替えることができません。

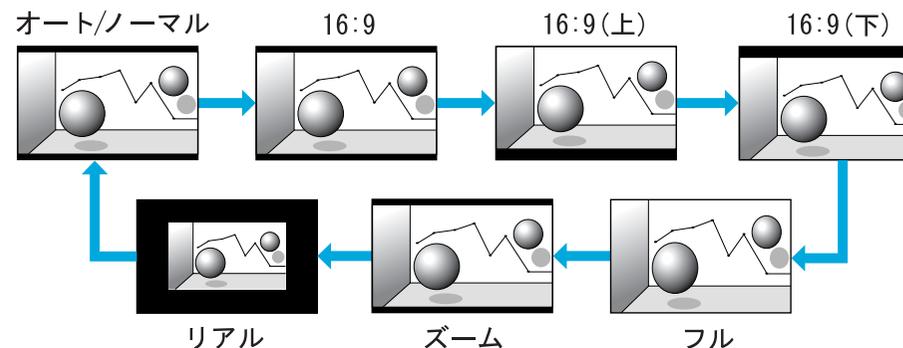
アスペクトモードを切り替える (EB-Z8455WU/Z8450WUの場合)

ビデオ機器、HDMI1/2、SDI端子からの映像を投写しているとき

リモコンの[アスペクト]ボタンを押すたびに、アスペクトモードが、オート(SDI入力端子からの映像を投写しているときはノーマル)、16:9、16:9(上)、16:9(下)、フル、ズーム、リアルの順で切り替わります。

[p.21](#)

例：720p信号入力時(解像度1280x720、アスペクト比16:9)



コンピューターの映像を投写しているとき

リモコンの[アスペクト]ボタンを押すたびに、アスペクトモードが、ノーマル、16:9、16:9(上)、16:9(下)、フル、ズーム、リアルの順で切り替わります。 [p.21](#)

各アスペクトモードに切り替えたときの投写例は以下のとおりです。

アスペクトモード	入力信号		
	XGA 1024X768(4:3)	WXGA 1280X800(16:10)	WUXGA 1920X1200(16:10)
ノーマル			
16:9			

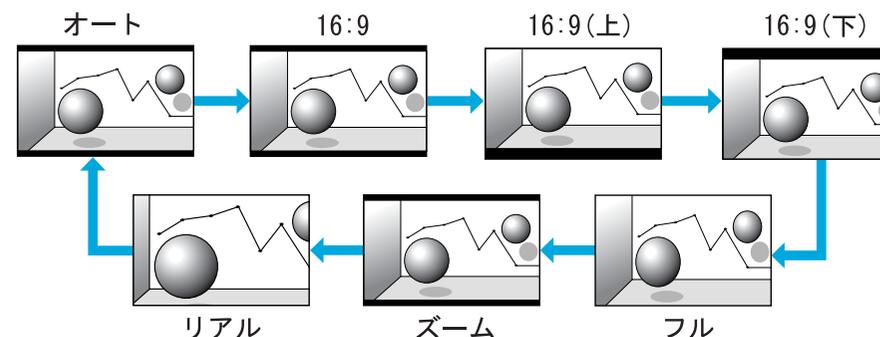
アスペクトモード	入力信号		
	XGA 1024X768(4:3)	WXGA 1280X800(16:10)	WUXGA 1920X1200(16:10)
16:9(上)			
16:9(下)			
フル			
ズーム			
リアル			

アスペクトモードを切り替える(EB-Z8355W/Z8350Wの場合)

ビデオ機器、HDMI1/2端子からの映像を投写しているとき

リモコンの[アスペクト]ボタンを押すたびに、アスペクトモードが、オート、16:9、16:9(上)、16:9(下)、フル、ズーム、リアルの順で切り替わります。 p.21

例：1080p信号入力時(解像度1920x1080、アスペクト比16:9)



コンピューターの映像を投写しているとき

リモコンの[アスペクト]ボタンを押すたびに、アスペクトモードが、ノーマル、16:9、16:9(上)、16:9(下)、フル、ズーム、リアルの順で切り替わります。 p.21



投写映像が欠けてすべてが投写できないときは、お使いのコンピューターのパネルサイズに合わせて環境設定メニューの**入力解像度**を**ワイド**または**ノーマル**に設定してください。 p.53

各アスペクトモードに切り替えたときの投写例は以下のとおりです。

アスペクトモード	入力信号		
	XGA 1024X768(4:3)	WXGA 1280X800(16:10)	SXGA 1280X1024(5:4)
ノーマル			
16:9			
16:9(上)			
16:9(下)			
フル			
ズーム			
リアル			



投写映像が欠けてすべてが投写できないときは、お使いのコンピューターのパネルサイズに合わせて環境設定メニューの**入力解像度**を**ワイド**または**ノーマル**に設定してください。 [p.53](#)

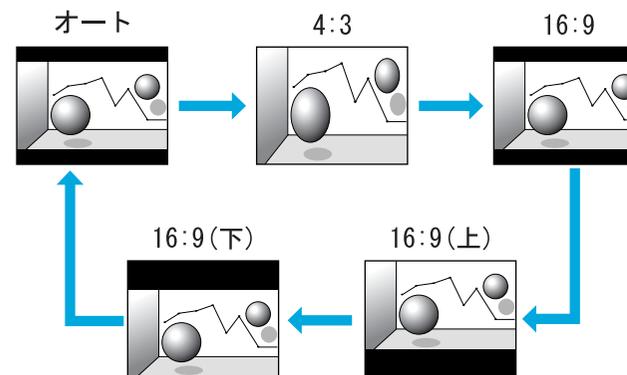
アスペクトモードを切り替える(EB-Z10005/Z10000/Z8150の場合)

ビデオ機器の映像を投写しているとき

リモコンの[アスペクト]ボタンを押すたびに、アスペクトモードが、**オート**、**4:3**、**16:9**、**16:9(上)**、**16:9(下)**の順で切り替わります。 [p.21](#)

720p/1080i/1080p信号入力時に**4:3**に設定すると、ズーム4:3表示(映像の左右をカットした表示)になります。

例：720p信号入力時(解像度1280X720、アスペクト比16:9)

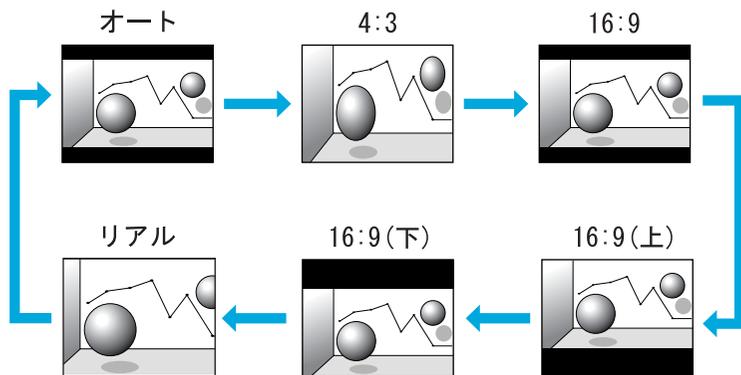


HDMI1/2入力端子からの映像を投写しているとき

リモコンの[アスペクト]ボタンを押すたびに、アスペクトモードが、**オート**、**4:3**、**16:9**、**16:9(上)**、**16:9(下)**、**リアル**の順で切り替わります。

☛ p.21

例：1080p信号入力時(解像度1920X1080、アスペクト比16：9)

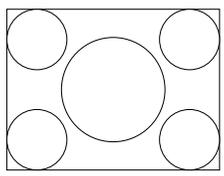
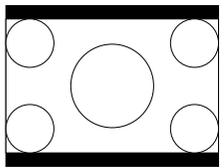
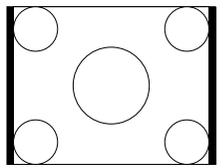
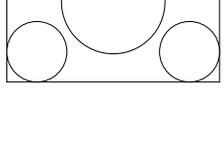
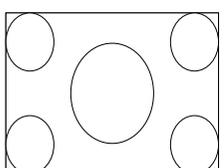
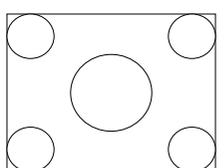
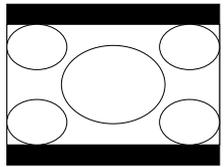
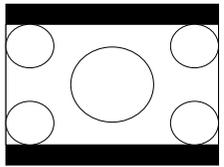
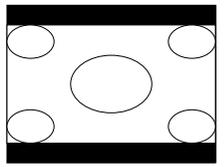
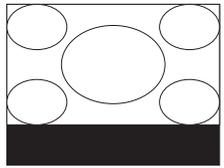
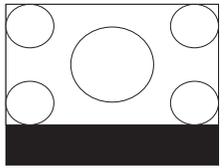
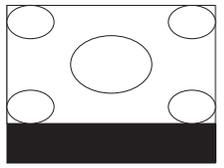
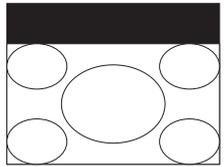
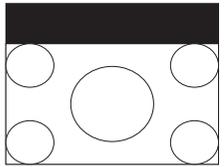
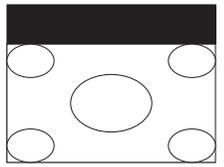
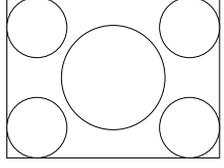
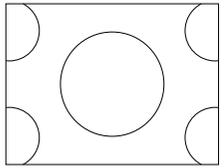
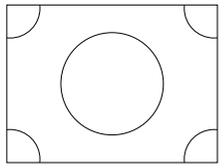


コンピューターの映像を投写しているとき

リモコンの[アスペクト]ボタンを押すたびに、アスペクトモードが、**ノーマル**、**4:3**、**16:9**、**16:9(上)**、**16:9(下)**、**リアル**の順で切り替わります。

☛ p.21

各アスペクトモードに切り替えたときの投写例は以下のとおりです。

アスペクトモード	入力信号		
	XGA 1024X768(4:3)	WXGA 1280X800(16:10)	SXGA 1280X1024(5:4)
ノーマル			
4:3			
16:9			
16:9(上)			
16:9(下)			
リアル			



投写映像が欠けてすべてが投写できないときは、お使いのコンピューターのパネルサイズに合わせて環境設定メニューの**入力解像度**を**ワイド**または**ノーマル**に設定してください。  [p.53](#)

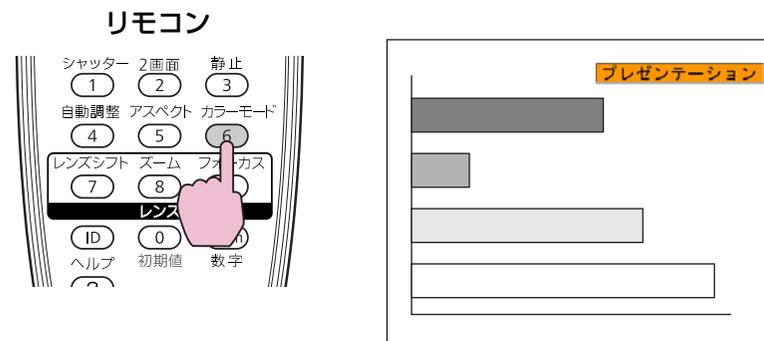
投写時の環境に応じて次の設定から選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

モード名	使い方
ダイナミック	明るい部屋での使用に最適です。一番明るいモードです。
プレゼンテーション	明るい部屋で、カラーの資料を使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。
シアター	暗い部屋で、映画を楽しむのに最適です。本来の映像ソースに迫る色表現になります。
フォト※1	明るい部屋で、写真などの静止画像を投写するのに最適です。鮮やかで、コントラストのある映像になります。
スポーツ※2	明るい部屋で、テレビ番組などを楽しむのに最適です。鮮やかで、臨場感のある映像になります。
sRGB	sRGB▶▶に準拠した映像になります。
DICOM SIM※1	エックス線写真などの医用画像を投写するのに最適です。陰影のくっきりした映像になります。 なお、本機は医療機器ではありませんので、医療診断の用途ではご利用いただけません。
マルチプロジェクション	複数のプロジェクターを利用して投写するのに最適です。各映像の色のトーンの違いを最小化します。

※1 RGB信号入力時と、入力ソースがLANのときに選択できます。

※2 コンポーネントビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポジットビデオ信号入力時に選択できます。

操作



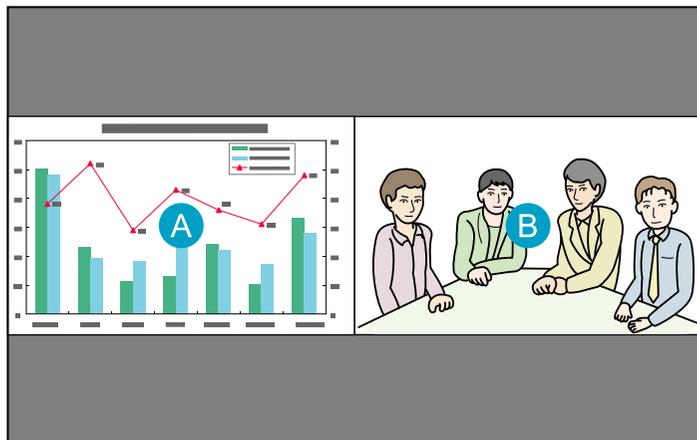
ボタンを押すと画面上に現在のカラーモード名が表示されます。

カラーモード名が画面上に表示されている間にボタンを押すと、次のカラーモードに切り替わります。



環境設定メニューの画質調整メニュー - カラーモードからも設定できます。▶▶ p.51

2画面では、画面を左画面(A)と右画面(B)に分割して2種類の映像信号を同時に投写することができます。



2画面で投写できる入力ソース

2画面で投写できる入力ソースの組み合わせは以下のとおりです。

左画面 ソース	右画面ソース							
	コ ン ピ ユ ー タ ー	BNC	S-ビ デ オ	ビ デ オ	HDMI1	HDMI2	LAN	SDI※
コ ン ピ ユ ー タ ー	-	-	✓	✓	✓	✓	✓	✓
BNC	-	-	✓	✓	✓	✓	✓	✓
S-ビ デ オ	✓	✓	-	-	✓	✓	✓	✓
ビ デ オ	✓	✓	-	-	✓	✓	✓	✓
HDMI1	✓	✓	✓	✓	-	-	✓	✓

左画面 ソース	右画面ソース							
	コ ン ピ ユ ー タ ー	BNC	S-ビ デ オ	ビ デ オ	HDMI1	HDMI2	LAN	SDI※
HDMI2	✓	✓	✓	✓	-	-	✓	✓
LAN	✓	✓	✓	✓	✓	✓	-	-
SDI※	✓	✓	✓	✓	✓	✓	-	-

※ EB-Z8455WU/Z8450WUのみ

操作方法

2画面で投写する

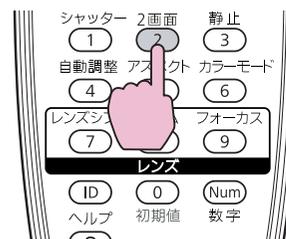
操作

1

本機で投写中にリモコンの[2画面]ボタンを押します。

2画面を開始するときを選択している入力ソースの映像が左画面に投写されます。

リモコン



環境設定メニューの2画面からも2画面を開始できます。 p.55

- 2 リモコンの[メニュー]ボタンまたは操作パネルの[Menu]ボタンを押します。

2画面設定が表示されます。



リモコンの[入力検出]ボタンまたは操作パネルの[Source Search]ボタンを押したときや、リモコンで各入力ソースのボタンを押したときも、2画面設定が表示されます。

- 3 「入力ソース」を選択して[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。

- 4 「左画面」、「右画面」でそれぞれ投写する入力ソースを選択します。



投写できる組み合わせの入力ソースのみ選択できます。☛ 「2画面で投写できる入力ソース」 p.28

- 5 「実行」を選択して[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。
2画面で投写中に各画面の投写映像を切り替えるときは、手順2の操作から始めます。



外部モニターに映像を表示するときは、左画面から出力されるアナログRGBが対象になります。☛ p.159

左画面/右画面を入れ替える

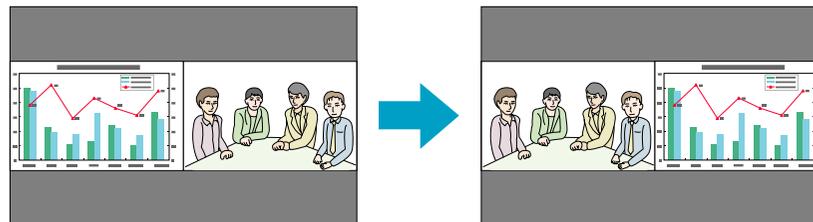
画面の左右を入れ替えるときは、以下の操作を行います。

操作

- 1 2画面で投写中にリモコンの[メニュー]ボタンまたは操作パネルの[Menu]ボタンを押します。

- 2 「左右画面入替」を選択して[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。

画面の左右が入れ替わります。



左画面/右画面の画面サイズを切り替える

操作

- 1 2画面で投写中にリモコンの[メニュー]ボタンまたは操作パネルの[Menu]ボタンを押します。
- 2 「画面サイズ」を選択して[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。
- 3 表示したい画面サイズを選択して[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。

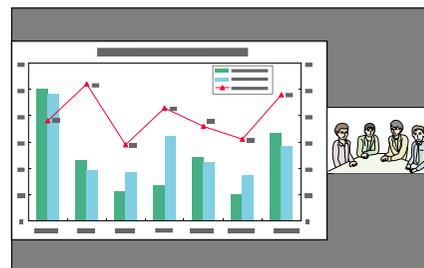


- 4 [メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押して設定を終了します。
画面サイズ設定後の投写イメージは以下のとおりです。

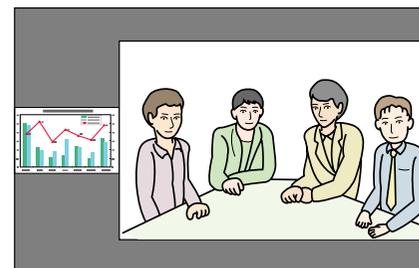
均等



左拡大



右拡大



- 左画面、右画面の両方を同時に拡大することはできません。
- 片方の画面を拡大したときは、もう片方の画面は縮小されます。
- 入力している映像信号によっては、**均等**に設定しても左右の画面が同じサイズに見えない場合があります。

2画面を終了する

操作

2画面を終了するときは、リモコンの[戻る]ボタンまたは操作パネルの[Esc]ボタンを押します。

以下の操作でも2画面を終了できます。

- リモコンの[2画面]ボタンを押す。
- **2画面設定で2画面終了**を選択して[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押す。

2画面で投写中の制限事項

操作に関する制限事項

2画面で投写中は、以下の操作はできません。

- 環境設定メニューの設定
- Eズーム
- アスペクトモードの切り替え(アスペクトモードは**ノーマル**が適用されます。)  [p.21](#)
- リモコンの[ユーザー]ボタンでの操作
- オートアイリス

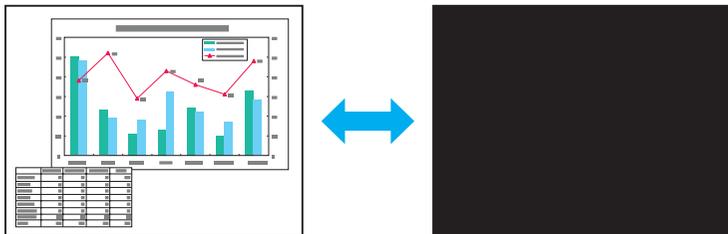
ヘルプを表示できるのは、映像信号が入力されていないとき、または異常・警告通知が表示されたときのみです。

映像に関する制限事項

- 右画面の映像には、**画質調整**メニューの初期値が適用されます。ただし、**カラーモード**、**絶対色温度**、**アドバンスト**、**超解像**、**フレーム補間**は、左画面で投写している映像の設定値が適用されます。
- 右画面の映像には、**プログレッシブ変換**、**ノイズリダクション**の設定値は**オフ**が適用されます。  [映像メニュー p.53](#)
- 映像信号が入力されていないときの表示画面は背景表示で設定されている色になります。**ロゴ**に設定されているときは**青**になります。
- シャッターを実行したときの表示画面は**黒**になります。

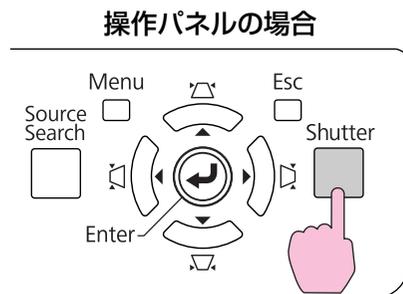
映像を一時的に遮断する(シャッター)

スクリーンの映像を消して聴衆を話しに集中させたいときや、ファイルの切り替え操作などを見せたくないときに使います。



拡張設定メニューの動作設定 - シャッターボタンが電動シャッターに設定されていることを確認してください。

操作



ボタンを押すたびに電動シャッターが閉/開します。

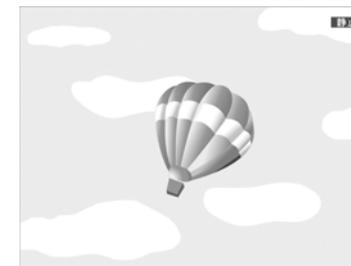
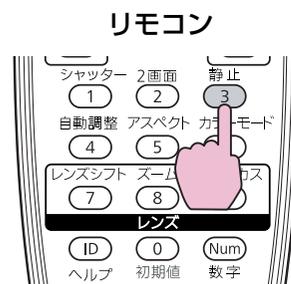


- シャッターを実行して、何も操作しない状態が約120分続くとスリープモードが働き、自動的に電源がオフになります。スリープモードを実行したくないときは**拡張設定メニュー - 動作設定 - シャッタータイマー**の設定を**オフ**に変更します。 [p.57](#)
- シャッターを閉じた状態で、[O]ボタンを押すと自動的にシャッターが開いて電源オフの確認メッセージが表示されます。
- シャッター実行中はLamp1/2インジケーターが緑色に点滅します。
- スケジュールで設定されたイベントが実行されると、シャッターは解除されます。

映像を停止させる(静止)

静止を実行したときの画面が投写されたままになりますので、動画の一場面を静止画で投写できます。また、ファイル切り替えの前に静止を実行すれば、操作内容を投写せずに操作できます。

操作



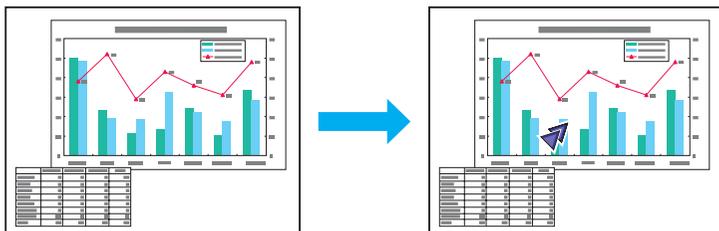
ボタンを押すたびに静止が実行/解除されます。



- 動画の場合は、静止を実行している間も映像は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。
- 環境設定メニューやヘルプを表示中に[静止]ボタンを押すと、表示中のメニュー・ヘルプは消去されます。
- Eズーム実行中も、静止を行えます。

説明箇所を指し示す (ポインター)

ポインターで映像を指し示し、どこを説明しているかを明確にしたり、注目させるときに使用します。



操作

- 1 ポインターを表示します。

リモコン

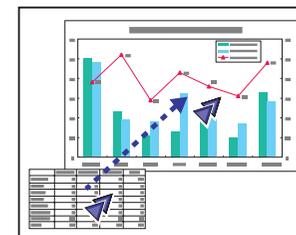
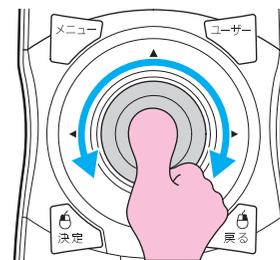


ボタンを押すたびに表示/非表示が切り替わります。



- 2 ポインターアイコン(ポインター)を移動します。

リモコン

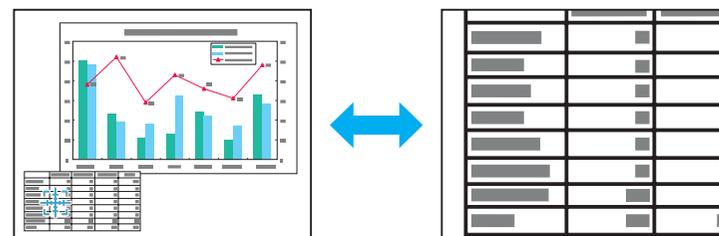


環境設定メニューの**設定メニュー** - **ポインター形状**でポインターアイコンの形状を3種類(ポインター・ポインター・ポインター)から設定できます。

☞ p.55

映像を部分的に拡大する (Eズーム)

グラフや表の細目などを拡大して見せたいときに便利です。



操作

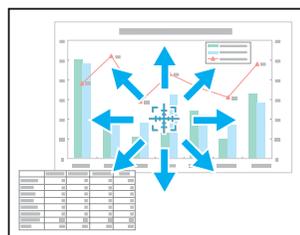
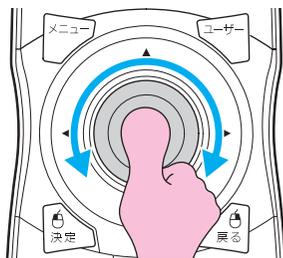
① Eズームを開始します。

リモコン



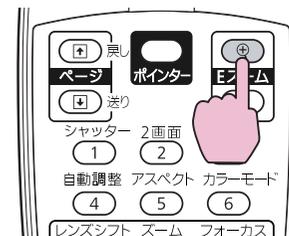
② 拡大表示したい部分にターゲットスコープ(📏)を移動させます。

リモコン



③ 拡大します。

リモコン



ボタンを押すたびに拡大されます。ボタンを押し続けると、すばやく拡大できます。

[Q]ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。

解除するには[戻る]ボタンを押します。



- 画面上に倍率が表示されます。1～4倍まで、25段階で拡大できます。
- 拡大後は[Q]ボタンで映像をスクロールできます。
- 台形補正や自動調整などの機能を使うとEズームは解除されます。
- 表示倍率変更の設定がオンになっているときはEズーム機能は使用できません。

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

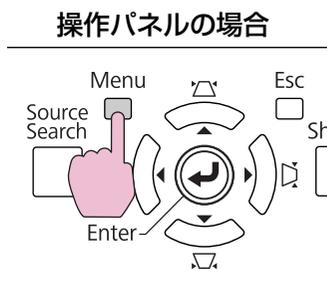
登録したユーザーロゴは、映像信号が入力されていないときやスタートアップスクリーンの表示画面として使用することができます。



ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

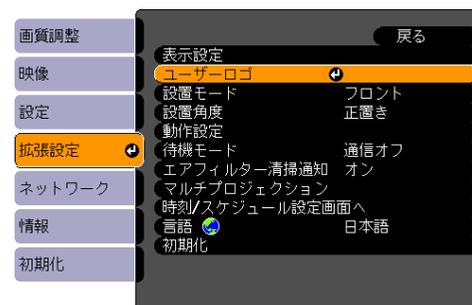
操作

- 1 ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、[メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押します。



- 2 環境設定メニューから拡張設定メニュー - 「ユーザーロゴ」を選びます。☛「環境設定メニューの操作」 p.47

使えるボタンと操作はメニューの下に表示されるガイドでご確認ください。



- パスワードプロテクトでユーザーロゴ保護をオンに設定しているときは、メッセージが表示され操作することはできません。ユーザーロゴ保護をオフにしてから操作してください。☛ p.37
- 台形補正、Eズーム、アスペクトを行っているときにユーザーロゴを選択すると、実行している機能は一時的に解除されます。



- 3 「現在投写されている映像の一部をユーザーロゴとして使いますか？」と表示されるので、「はい」を選択します。

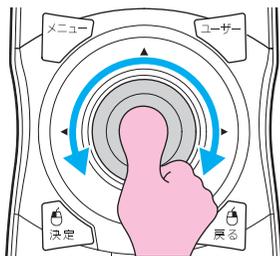


リモコンの[決定]ボタンまたは操作パネルの[Enter]ボタンを押すと、映像信号の実際の解像度に切り替わるため、信号によっては画面サイズが変わることがあります。

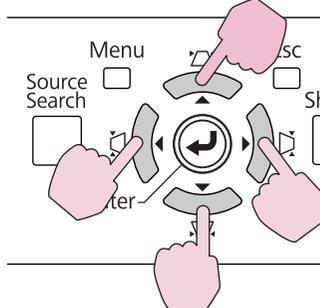
- 4 登録する映像と選択枠が表示されるので、ユーザーロゴとして使う位置を選択します。



リモコンの場合

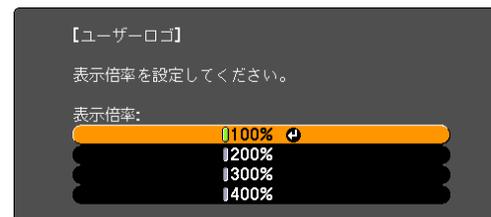


操作パネルの場合



登録できるサイズは400 × 300ドットです。

- 6 表示倍率設定画面で倍率を選択します。



400%が表示されるのはEB-Z8455WU/Z8450WUのみです。

- 7 「この映像を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、「はい」を選択します。

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。



- 登録したユーザーロゴを表示画面として使用するには、**拡張設定メニューの表示設定**で設定します。 [p.57](#)
- ユーザーロゴの登録を実行すると、先に登録されているユーザーロゴは消去されます。
- 保存にはしばらく時間がかかります(約15秒)。保存している間は、本機や接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。

- 5 「この映像を使用しますか？」と表示されるので、「はい」を選択します。

本機には、次の充実したセキュリティー機能が備わっています。

- **パスワードプロテクト**
本機を使用する人を制限・管理できます。
- **操作ボタンロック/レンズ操作ロック/リモコンボタンロック**
本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。
☞ p.39
- **盗難防止用ロック**
本機には機器そのものを持ち出されないように、多様な盗難防止の機構が備わっています。 ☞ p.42

利用者を管理する (パスワードプロテクト)

パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴ等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使用できないため、盗難等の防止につながります。ご購入時は、パスワードプロテクト機能は無効になっています。

パスワードプロテクトの種類

本機のパスワードプロテクトは利用シーンに応じて次の3種類の設定ができます。

1. 電源投入時

電源投入時をオンにすると、電源ケーブルで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたとき(ダイレクトパワーオンも同様)に、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。正しいパスワードを入力しないと、投写は開始しません。

2. ユーザーロゴ保護

せっかくプロジェクターの所有者を明示するためにユーザーロゴを登録していても、ロゴ表示を変更されては意味がありません。ユーザーロゴ保護をオンにすると、ユーザーロゴに関する次の設定変更を禁止できます。

- ユーザーロゴのキャプチャ
- 環境設定メニューの表示設定で背景表示、スタートアップスクリーンの設定変更

3. ネットワーク保護

ネットワーク保護をオンにすると、環境設定メニューのネットワークメニューの設定変更を禁止できます。

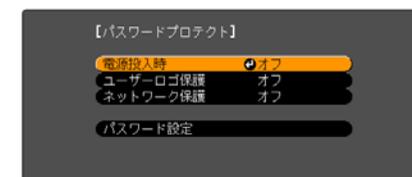
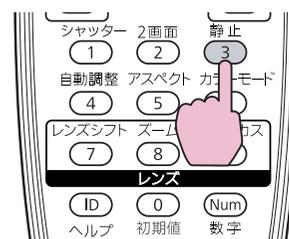
パスワードプロテクトの設定方法

パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。

操作

- 1 本機で投写中に[静止]ボタンを約5秒間押し続けます。パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。

リモコン





- すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードの入力が要求されます。パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。☛「パスワードの認証」 p.38
- パスワード設定をしたときは、盗難防止の効果をさらに高めるために製品同梱のパスワードプロテクトシールを本機のお好きな位置に貼ってください。

2 「電源投入時」を有効にします。

- (1) 電源投入時を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) オンを選択し、[決定]ボタンを押します。
- (3) [戻る]ボタンを押します。

3 「ユーザーロゴ保護」を有効にします。

- (1) ユーザーロゴ保護を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) オンを選択し、[決定]ボタンを押します。
- (3) [戻る]ボタンを押します。

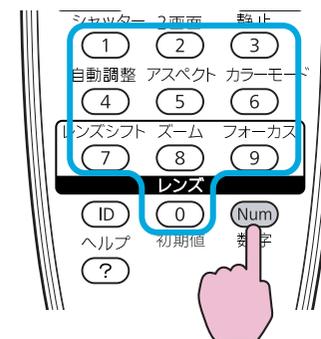
4 「ネットワーク保護」を有効にします。

- (1) ネットワーク保護を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) オンを選択し、[決定]ボタンを押します。
- (3) [戻る]ボタンを押します。

5 パスワードを設定します。

- (1) パスワード設定を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) 「パスワードを変更しますか?」と表示されるので、はいを選択し、[決定]ボタンを押します。初期設定でパスワードは0000に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。いいえを選択すると、手順1の画面に戻ります。
- (3) [数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンで4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面に切り替わります。

リモコン



- (4) 入力したパスワードを再度入力します。「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されずのでパスワード設定をやり直してください。

パスワードの認証

パスワードの入力画面が表示されたら設定してあるパスワードをリモコンの数字ボタンを使って入力します。

操作

[数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押してパスワードを入力します。

正しいパスワードを入力し終わると投写が開始されます。

注意

- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報+正式保証書発行カード』と照合しご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報+正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、「**プロジェクターの動作を停止します。**」と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いて差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
- 万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている「問い合わせコード: xxxxx」の番号を控えて、プロジェクターインフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。☎ [『お問い合わせ先』](#)
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて30回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。「**プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。**」☎ [『お問い合わせ先』](#)

操作ボタンロック

次のどちらかを選んで本機の操作パネルのボタンをロックできます。操作ボタンロックを行ってもリモコンからは通常どおりに操作できます。

- 全ロック
操作パネルのボタンをすべてロックします。操作パネルからは電源のオン/オフを含めまったく操作できなくなります。
- 操作ロック
操作パネルの[⏏]ボタンを除くすべてのボタンをロックします。

ボタン操作を制限する

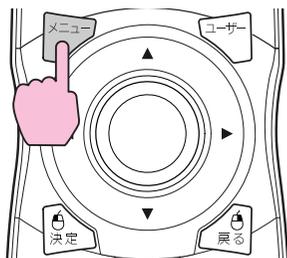
本機には、次の3種類の操作制限機能が装備されています。

- 操作ボタンロック
イベントやショーなどで投写中に本機を操作できないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利な機能です。
- レンズ操作ロック
本機を設置後に誤って操作することがないように、リモコンのレンズ操作用のボタンを操作できなくする機能です。
- リモコンボタンロック
リモコンを誤って操作することがないように、リモコンの基本操作に必要な主要なボタン以外の操作をできなくする機能です。

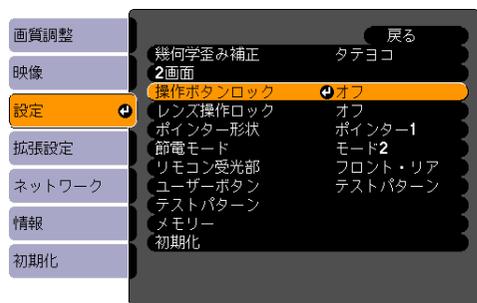
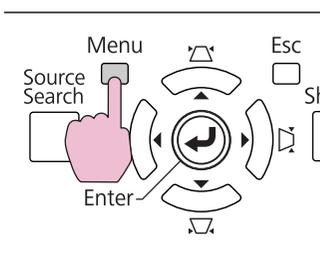
操作

- 1 本機で投写中に[メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押して、環境設定メニューから設定メニュー - 「操作ボタンロック」を選びます。☛「環境設定メニューの操作」 p.47

リモコンの場合



操作パネルの場合



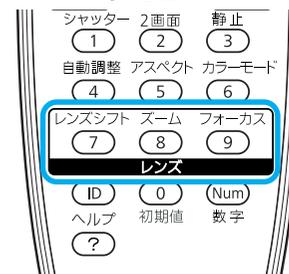
操作パネルのボタンロックを解除するには、次の2通りの方法があります。

- リモコンを使って、環境設定メニューの設定メニュー - 操作ボタンロックをオフに設定します。☛ p.55
- 操作パネルの[Enter]ボタンを約7秒間押し続けると、メッセージが表示され、ロックが解除されます。

レンズ操作ロック

リモコンの以下のレンズ操作ボタンをロックできます。

リモコン



- 2 目的に応じて、「全ロック」または「操作ロック」を選択します。

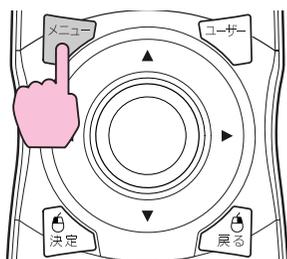


- 3 確認のメッセージが表示されるので、「はい」を選択します。設定に従い、操作パネルのボタンがロックされます。

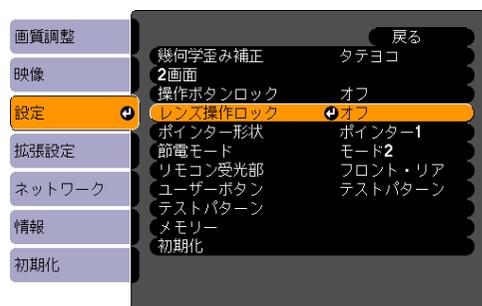
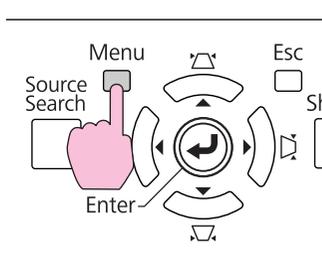
操作

- ① 本機で投写中に[メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押して、環境設定メニューから設定メニュー - 「レンズ操作ロック」を選びます。☛「環境設定メニューの操作」p.47

リモコンの場合



操作パネルの場合



- ② 「オン」を選択します。

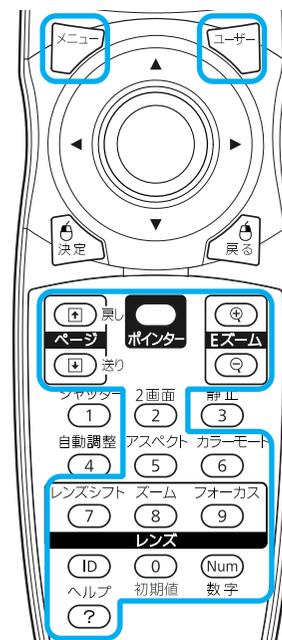


設定に従い、レンズ操作に関わるボタンがロックされます。

リモコンボタンロック

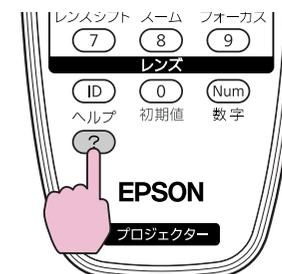
リモコンの以下のボタンをロックできます。

リモコン



操作

リモコン

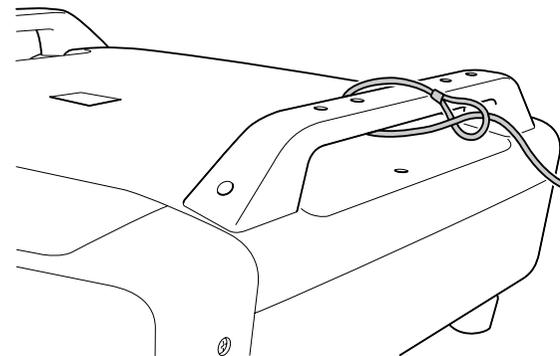


[ヘルプ]ボタンを約5秒間押し続けるたびにロック/解除されます。



リモコンボタンロックが設定されていても、以下の操作は可能です。

- リモコン受光部の設定の初期化
- [数字]ボタンとテンキーによる数字の入力



盗難防止用ロック

本機は無人になる部屋に天吊りなど固定設置されることが多いため、機器そのものを持ち出されないように次の機構があります。

- セキュリティスロット
Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。マイクロサーバーセキュリティシステムの詳細は、Kensington のホームページ <http://www.kensington.com/>でご確認ください。
- ハンドル
市販の盗難防止用ワイヤロックなどを通して、机や柱などに固定できます。

ワイヤロックの取り付け方

ハンドルに盗難防止用ワイヤロックのワイヤを通します。

ワイヤロックの施錠方法は、ワイヤロックに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

本機には、環境設定メニューの映像に関する設定をメモリーとして登録し、必要なときにその設定を呼び出すことができる機能が備わっています。最大で10種類のメモリーを登録できます。

登録できる機能

メモリーとして登録される環境設定メニューの設定項目は以下のとおりです。

トップメニュー	サブメニュー
画質調整	全ての設定項目
映像	プログレッシブ変換 フレーム補間※1 超解像 ノイズリダクション モスキートNR HDMIビデオレベル SDIビデオレベル※1 表示倍率変更 オーバースキャン
設定	節電モード※2
拡張設定	明るさレベル※2 エッジレンディング マルチスクリーン

※1 EB-Z8455WU/Z8450WUのみ

※2 EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350W/Z10005/Z10000のみ

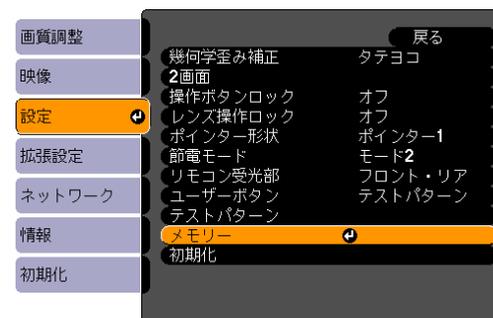
メモリーの登録／呼び出し／削除

メモリーの登録

メモリーの登録は、下記の手順で行います。

操作

- 1 本機で投写中にリモコンの[メニュー]ボタンまたは操作パネルの[Menu]ボタンを押して、環境設定メニューから設定メニュー-[メモリー]を選びます。☞「環境設定メニューの操作」p.47



- 2 「メモリー登録」を選び、[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。



- 3 設定を登録するメモリー名を選び、[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。

現在の設定がメモリーに登録されます。



メモリー名の左のマークが緑色のときは登録済みです。登録済みのメモリー名を選択したときは、上書きを確認するメッセージが表示されます。**はい**を選択すると、以前の内容を消去し、現在の設定を登録します。

メモリーの呼び出し

操作

- 1 本機で投写中にリモコンの[メニュー]ボタンまたは操作パネルの[Menu]ボタンを押して、環境設定メニューから設定メニュー -「メモリー」を選びます。
- 2 「メモリー呼出」を選び、[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。
- 3 目的のメモリー名を選び、[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。
メモリーに登録されている設定に変更されます。

メモリーの削除

操作

- 1 リモコンの[メニュー]ボタンまたは操作パネルの[Menu]ボタンを押して、環境設定メニューから設定メニュー -「メモリー」を選びます。
- 2 「メモリー削除」を選択し、[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。
- 3 目的のメモリー名を選び、[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。
- 4 確認のメッセージが表示されるので、「はい」を選択します。
登録したメモリーが削除されます。

メモリー名の変更

操作

- 1 リモコンの[メニュー]ボタンまたは操作パネルの[Menu]ボタンを押して、環境設定メニューから設定メニュー -「メモリー」を選びます。
- 2 「メモリー名称変更」を選択し、[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。
- 3 目的のメモリー名を選び、[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。

4

ソフトキーボードでメモリー名を入力します。☛「ソフトキーボードの操作」[p.61](#)

[Finish]を押すとメモリー名が変更されます。



環境設定メニュー

ここでは、環境設定メニューの機能と操作方法について説明しています。

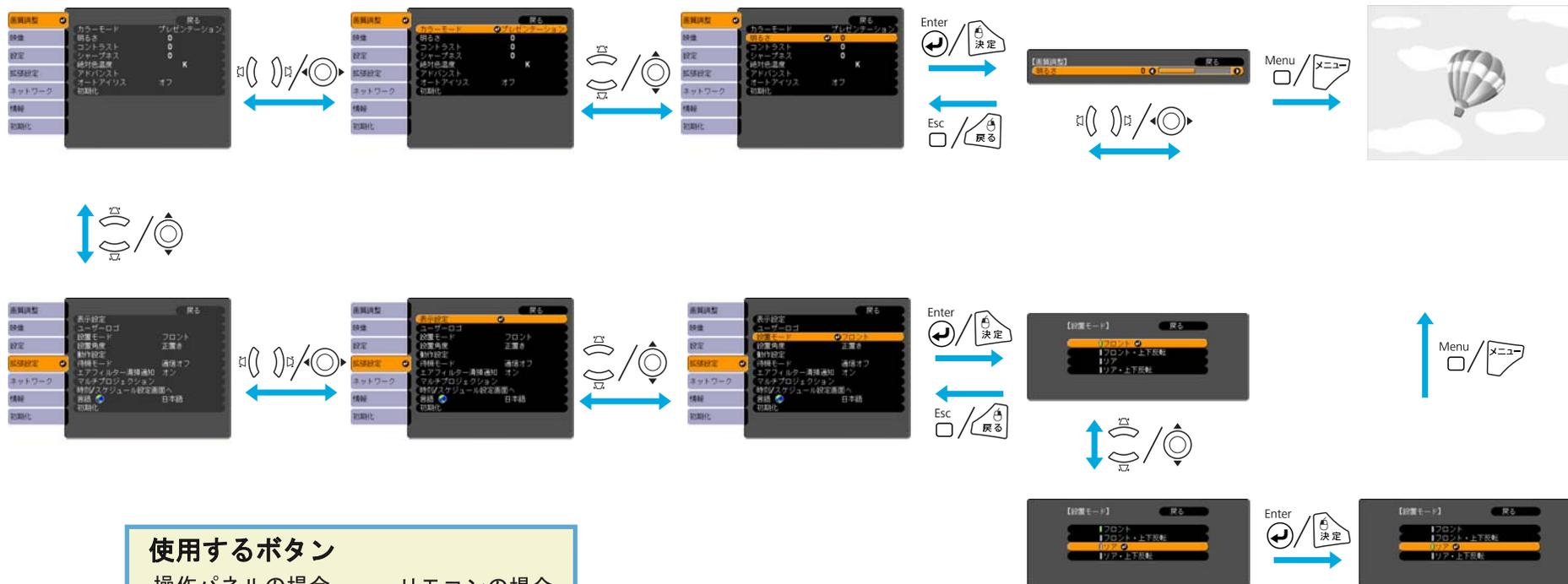
お使いの機種によっては、この章で使われている画面図と異なることがあります。

1 トップメニューの選択

2 サブメニューの選択

3 各項目の設定

4 終了



使用するボタン

操作パネルの場合

リモコンの場合

環境設定メニュー一覧

お使いの機種、現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
画質調整メニュー ☛ p.51	カラーモード	ダイナミック、プレゼンテーション、シアター、フォト、スポーツ、sRGB、DICOM SIM、マルチプロジェクション
	明るさ	-24~24
	コントラスト	-24~24
	色の濃さ	-32~32
	色合い	-32~32
	シャープネス	-5~5
	絶対色温度	5000K~10000K
	アドバンスト	ガンマ、RGB、RGBCMY
	オートアイリス	オン、オフ
映像メニュー ☛ p.53	自動調整	オン、オフ
	入力解像度	オート、ワイド、ノーマル、マニュアル
	トラッキング	-
	同期	-
	表示位置	-
	プログレッシブ変換	オフ、ビデオ、フィルム/オート
	フレーム補間※1	オフ、弱、標準、強
	超解像	0~3
	ノイズリダクション	オフ、NR1、NR2

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値	
	モスキートNR	オン、オフ	
	HDMIビデオレベル	オート、通常、拡張	
	SDIビデオレベル※1	通常、拡張	
	入力信号方式	オート、RGB、コンポジット	
	ビデオ信号方式	オート、NTSC、NTSC4.43、PAL、M-PAL、N-PAL、PAL60、SECAM	
	アスペクト	ノーマル、オート、4:3、16:9、16:9(上)、16:9(下)、フル、ズーム、リアル	
	表示倍率変更	-	
	オーバースキャン	オート、オフ、4%、8%	
	設定メニュー ☛ p.55	幾何学歪み補正	タテヨコ、Quick Corner、弓型補正、ポイント補正
		2画面	-
操作ボタンロック		全ロック、操作ロック、オフ	
レンズ操作ロック		オン、オフ	
ポインター形状		ポインター1、2、3	
節電モード※2		オフ、モード1、モード2	
リモコン受光部		フロント・リア、フロント、リア、オフ	

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	ユーザーボタン	節電モード※2、情報、プログレッシブ変換、テストパターン、マルチスクリーン、入力解像度、メモリー
	テストパターン	-
	メモリー	メモリー呼出、メモリー登録、メモリー削除、メモリー名称変更
拡張設定メニュー ☛ p.57	表示設定	メニュー表示位置、メッセージ表示、背景表示、スタートアップスクリーン
	ユーザーロゴ	-
	設置モード	フロント、フロント・上下反転、リア、リア・上下反転
	設置角度	正置き、上向き、下向き、上斜め、下斜め
	動作設定	ダイレクトパワーオン、スリープモード、スリープモード時間、シャッターボタン、シャッタータイマー、高地モード、BNC同期終端、リモコン種類、確認音
	待機モード	通信オン、通信オフ
	エアフィルター清掃通知	オン、オフ

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	マルチプロジェクション	明るさレベル※2、エッジブレンディング、マルチスクリーン、プロジェクターID
	時刻/スケジュール設定画面へ	-
	言語	27言語
情報メニュー ☛ p.77	ランプ点灯時間	-
	ランプ状態	-
	入力ソース	-
	入力信号	-
	入力解像度	-
	ビデオ信号方式	-
	リフレッシュレート	-
	同期情報	-
	ステータス	-
	シリアル番号	-
	Event ID	-
初期化メニュー ☛ p.79	全初期化	-
	メモリー初期化	-

※1 EB-Z8455WU/Z8450WUのみ

※2 EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350W/Z10005/Z10000のみ

ネットワークメニュー

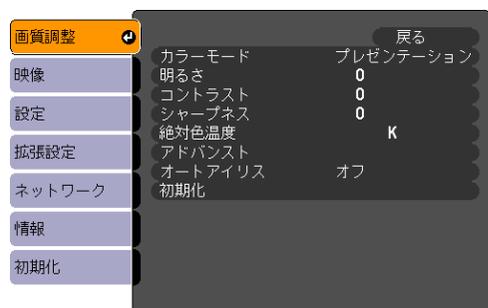
トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
基本設定メニュー ☛ p.62	プロジェクター名	-
	Web Remoteパスワード	-

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	プロジェクターキー ワード	オン、オフ
無線 LAN メニュー ☛ p.63	無線LAN電源	オン、オフ
	Wi-Fi Protected Setup	-
	無線LAN方式	802.11b/g/n、802.11b/g
	接続モード	かんたんモード、マ ニュアルモード
	自動SSID設定	オン、オフ
	SSID	-
	アクセスポイント検索	-
	チャンネル設定	1ch、6ch、11ch
	SSID表示	オン、オフ
	DHCP	オン、オフ
	IPアドレス	-
	サブネットマスク	-
	ゲートウェイアドレス	-
	IPアドレス表示	オン、オフ
地域コード	-	
セキュリティーメ ニュー ☛ p.66	セキュリティー	Open 、 WPA/WPA2- PSK、WPA/WPA2-EAP
有線 LAN メニュー ☛ p.70	DHCP	オン、オフ
	IPアドレス	-
	サブネットマスク	-
	ゲートウェイアドレス	-
	IPアドレス表示	オン、オフ
管理者設定メニュー ☛ p.71	管理者パスワード	-
	ネットワークホスト名	-

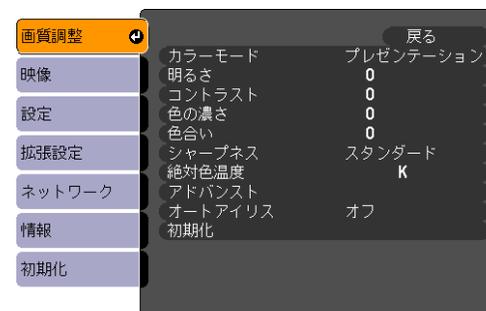
トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	PJLinkパスワード	-
	Web制御パスワード	-
	Monitor パスワード	-
	セキュアHTTP	オン、オフ
	メール通知機能	-
	証明書管理	-
	SNMP	-
	優先ゲートウェイ	有線、無線
	AMX Device Discovery	オン、オフ
	Crestron RoomView	オン、オフ
	Bonjour	オン、オフ
	EPSON Message Broadcasting	オン、オフ

現在投写している映像信号や入力ソースにより、設定できる項目が以下の画面図のとおり異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。

RGB信号/LAN



コンポーネントビデオ信号▶▶ / コンポジットビデオ信号▶▶/S-ビデオ信号▶▶



サブメニュー	機能
カラーモード	使用シーンに応じて、画質を選択できます。  p.27
明るさ	映像の明るさを調整します。
コントラスト▶▶	映像の明暗の差を調整します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
色合い	映像の色合いを調整します。
シャープネス	<p>スタンダード：映像のシャープ感を調整します。より細部の調整は、アドバンストを選択して行います。</p> <p>アドバンスト：以下の4項目で設定を行います。</p> <p>高域強調：+側に設定すると、髪の毛や衣服の模様などの細かい部分が強調されます。</p> <p>低域強調：+側に設定すると、被写体全体の輪郭や背景などの粗い部分が強調され、くっきりとした映像になります。</p> <p>水平シャープネス：+側に設定すると、水平方向で画像を強調します。</p> <p>垂直シャープネス：+側に設定すると、垂直方向で画像を強調します。</p>
絶対色温度	映像全体の色合いを調整します。5000K～10000Kの10段階で調整することができます。高い値を選択すると青みがかった映像になり、低い値を選択すると赤みを帯びた映像になります。
アドバンスト	<p>以下の項目を選んで調整できます。</p> <p>ガンマ：補正値を選んだり、映像やグラフを見ながら映像の発色を調整します。</p> <p>RGB：オフセット、ゲインをR(赤)、G(緑)、B(青)ごとに調整します。</p> <p>RGBCMY：R(赤)、G(緑)、B(青)、C(シアン)、M(マゼンダ)、Y(イエロー)ごとに色相、彩度、明度を調整します。</p>

サブメニュー	機能
オートアイリス※	(画質調整メニューのカラーモードをダイナミック、シアターのいずれかに設定しているときのみ設定可能) 映像に合わせて最適な光量に調整する(オン)/しない(オフ)を設定します。 設定値はカラーモードごとに保存されます。
初期化	画質調整メニューの調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは  p.79

※ エッジブレンドリングをオンに設定しているときは設定不可。

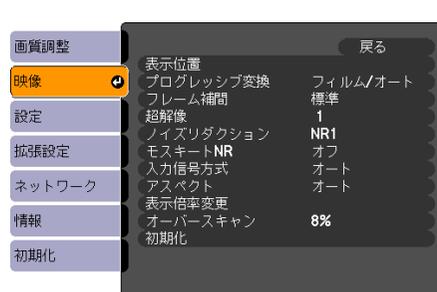
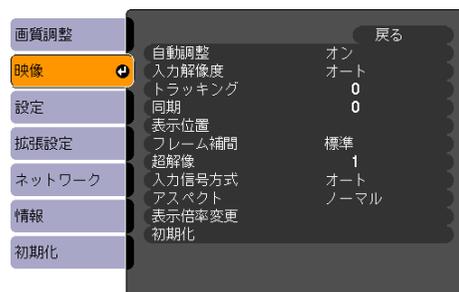
現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が以下の画面図のとおり異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。入力ソースがLANのときは表示倍率変更以外の映像メニューの設定は行えません。

RGB信号

コンポーネントビデオ信号▶

コンジットビデオ信号▶/S-ビデオ信号▶

HDMI/SDI※

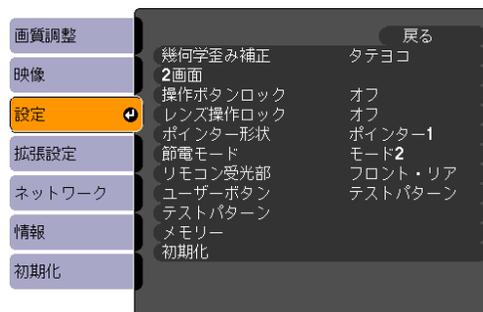


※EB-Z8455WU/Z8450WUのみ

サブメニュー	機能
自動調整	入力信号が切り替わったときに、映像を最適な状態に自動調整する(オン)/しない(オフ)を設定します。
入力解像度	オート：入力信号の解像度を自動で判別します。 ワイド、ノーマル：オートに設定して投写映像が欠けるときに設定します。接続しているコンピューターに応じて、ワイド画面はワイドに、4:3や5:4画面はノーマルに設定します。 マニュアル：特定の入力解像度に設定できます。接続するコンピューターが固定のときに適しています。
トラッキング▶	映像に縦の縞模様が出るときに調整します。
同期▶	映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。
表示位置	映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像がすべて投写されるように調整します。
プログレッシブ変換	オフ：IP変換を各フィールドの画面内で行います。動きの大きい映像をお楽しみいただくときに適しています。 ビデオ：一般のビデオ映像に適しています。 フィルム/オート：2-3プルダウンを行うことにより、映画フィルムやCG、アニメーション映像などの24/30フレームで記録された映像を最適なプログレッシブ信号に自動変換することで、映像が本来持っている自然な質感を再現します。
フレーム補間※	映像と映像の間に中間画像を生成し、動きの速い動画をなめらかに再生することができます。
超解像	映像信号の解像度を拡大して投写するとき発生するエッジ部分などのボケを低減し、よりはっきりとした映像で表示するように処理します。

サブメニュー	機能
ノイズリダクション	映像のざらつきを抑えます。モードを2つ用意しています。お好みの設定でご覧ください。DVDなど映像ソースにノイズが少ないときは オフ に設定してご覧ください。
モスキートNR	映像の色の変化が激しい輪郭部分に発生する波状のノイズを低減させます。
HDMIビデオレベル	本機のHDMI1/2入力端子とDVDプレーヤーなどを接続しているときに、DVDプレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。 オート に設定すると、入力信号のビデオレベルを自動判別し設定します。 オート に設定していて映像に黒つぶれや白とびが生じるときは、DVDプレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定してください。DVDプレーヤー側の設定では、Normal(通常)、Expand(拡張)となっていることがあります。
SDIビデオレベル※	本機のSDI入力端子と映像機器を接続しているときに、映像機器のビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。
入力信号方式	Computer入力端子、BNC入力端子からの入力信号を選択します。 オート にすると、接続機器に応じて自動的に入力信号を判別します。 オート に設定していて色が正しく表示されないときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。
ビデオ信号方式	Video入力端子、S-Video入力端子からの入力信号を選択します。 オート にすると、ビデオ信号を自動認識します。 オート に設定していて、映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きるときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。
アスペクト	映像のアスペクト比▶▶を設定します。👉 p.21
表示倍率変更	拡張設定メニューの エッジブレンディング の設定をするときに、各映像を拡大したり、表示範囲を変更することで重なり合う範囲の調整ができます。 フル表示 ：映像投写範囲のアスペクトおよび位置を更新しながら調整します。 ズーム表示 ：映像投写範囲のアスペクトおよび位置を固定した状態で調整します。
オーバースキャン	出画率(投写する映像の範囲)を変更します。トリミングする範囲の設定を、 オフ 、 4% 、 8% のいずれかに変更できます。入力ソースが HDMI1/2 のときは オート が選択できるようになります。 オート を選択すると入力信号に応じて自動的に オフ あるいは 8% に切り替わります。
初期化	映像メニューのうち、 入力信号方式 を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは👉 p.79

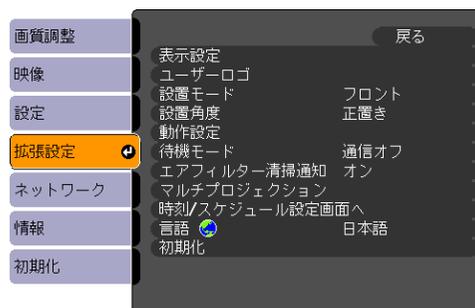
※ EB-Z8455WU/Z8450WUのみ



サブメニュー	機能
幾何学歪み補正	<p>ゆがんだ画面を補正します。</p> <p>タテヨコ：縦・横方向のゆがみ補正を行います。タテ補正、ヨコ補正から選択します。  p.140</p> <p>タテ補正、ヨコ補正は操作パネルの[▽/▲] [△/▼] [◀/▶] [↶/↷]ボタンで補正すると同様の補正ができます。</p> <p>Quick Corner：投写映像の4つの角を選んで補正します。  p.138</p> <p>弓型補正：スクリーンのたるみや縮みによる湾曲した映像のゆがみを微調整できます。  p.141</p> <p>ポイント補正：投写画像を格子で区切り、選択した格子の交点を上下左右に移動させることで投写画面のゆがみを補正することができます。  p.151</p>
2画面	2画面で投写します。  p.28
操作ボタンロック	本機操作パネルの操作制限を設定します。  p.39
レンズ操作ロック	リモコンのレンズ操作にかかわるボタンの操作制限をします。  p.40
ポインター形状	<p>ポインターの形状を選択します。  p.33</p> <p>ポインター1：  ポインター2：  ポインター3： </p>
節電モード※	<p>ランプの明るさをオフ、モード1、モード2の3段階で切り替えることができます。</p> <p>オフ：通常の明るさで投写します。</p> <p>拡張設定メニュー - マルチプロジェクション - 明るさレベルでランプの明るさを切り替えることができます。  p.57</p> <p>モード1：暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに投写する際に、投写映像が明るすぎる場合に選択します。モード1で使用すると、投写中の消費電力やファン回転音が低下し、ランプ寿命も長くなります。</p> <p>モード2：使用する環境に応じて明るさを自動的に切り替えます。</p>

サブメニュー	機能
リモコン受光部	リモコンからの操作信号の受信を制限します。 リモコンでの操作を禁止したいときやリモコン受光部の近くに蛍光灯が設置されていて、その影響でリモコンが誤動作してしまうときに影響を受けている受光部を使わないように設定できます。 リモコンの[メニュー]ボタンを15秒間押し続けると、初期設定に戻ります。
ユーザーボタン	リモコンの[ユーザー]ボタンに割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。[ユーザー]ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。[ユーザー]ボタンに割り当てることのできるのは以下の項目です。 節電モード※、情報、プログレッシブ変換、テストパターン、マルチスクリーン、入力解像度、メモリー
テストパターン	本機を設置する際に、機器を接続せずに投写状態を調整できるようにテストパターンを表示します。  p.135
メモリー	メモリー呼出 :メモリー登録で登録した設定値を呼び出します。  p.44 メモリー登録 で何も登録していないときは選択できません。 メモリー登録 :環境設定メニューの映像に関する設定をメモリーとして登録できます。  p.43 メモリー削除 :登録済みのメモリーで不要になったものを削除します。  p.44 メモリー名称変更 :登録済みのメモリーの名前を変更します。  p.44
初期化	設定メニューのうち ユーザーボタン、メモリー を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは  p.79

※ EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350W/Z10005/Z10000のみ



サブメニュー	機能
表示設定	本機の表示に関する設定を行います。 メニュー表示位置 ：投写画面でメニューを表示する位置を設定します。 メッセージ表示 ：オフに設定すると、次の表示がされなくなります。 入力ソースやカラーモード、アスペクトの切り替えと静止実行時の表示、映像信号が入力されていないときなどのメッセージの表示、高温警告など警告表示。 背景表示 ※1：映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を黒、青、ロゴのいずれかで設定します。 スタートアップスクリーン ※1：投写開始時にユーザーロゴを表示するときはオンに設定します。
ユーザーロゴ※1	背景表示、スタートアップスクリーン表示時に表示するユーザーロゴを変更します。  p.35
設定モード	本機の設置状態に合わせて設定します。  p.128
設定角度	本機の設置状態に合わせて設定します。  p.128

サブメニュー	機能
動作設定	<p>ダイレクトパワーオン：ダイレクトパワーオンさせる(オン)/させない(オフ)を設定します。オンに設定しているときは、停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると本機の電源がオンになりますので、注意してください。</p> <p>スリープモード：オンに設定すると、映像信号が未入力のまま、なにも操作しないときに自動で電源を切ります。</p> <p>スリープモード時間：スリープモードをオンにしたときに自動で電源を切るまでの時間を1～30分の範囲を1分単位で設定します。</p> <p>シャッターボタン：[シャッター]ボタンを押したときの動作を設定します。電動シャッターを選択すると、電動シャッターを開/閉します。  p.32 ブランクを選択すると映像を一時的に隠します。</p> <p>シャッタータイマー：オンに設定すると、電動シャッターを閉めてから約120分後に自動で電源を切ります。お買い上げ時にはシャッタータイマーはオンになっています。(シャッタータイマーとスリープモードを両方オンに設定した場合は、スリープモードが優先されます。)</p> <p>高地モード：標高約1500m以上でお使いの場合はオンにします。</p> <p>BNC同期終端：BNC入力端子からの信号の終端処理を設定します。通常はオフで使用します。スイッチャーなど、アナログ(75Ω) 終端が必要なときはオンに設定します。</p> <p>リモコン種類：本機を操作するリモコンの種類を標準/簡単から選択できます。本製品に同梱のリモコンで操作するときは標準に設定します。簡単に切り替えると、他のエプソンプロジェクターに添付のリモコンで本機を操作できます。これまで使い慣れているリモコンを共用したいときに便利です。(EB-G5xxxシリーズ、EB-Z80xxシリーズに添付のリモコンをお使いになるときは、標準に設定してください。) ただし、簡単に切り替えた以降は本製品に同梱のリモコンで操作することができなくなります。本機を天吊り設置しているときなどは標準に戻す操作が困難なこともありますので、よくご確認いただいてから切り替えてください。また、本機やお使いのリモコンに搭載されていない機能はご利用になれません。</p> <p>確認音：オンに設定すると、本機の電源のオン/オフ時や、電動シャッター開閉時、クールダウンの終了時を音でお知らせします。</p>
待機モード	<p>本機がスタンバイ状態のときも、ネットワーク経由で本機の状態を監視・制御する機能を働かせるときは、通信オンに設定します。</p>
エアフィルター清掃通知	<p>エアフィルターの清掃通知をする(オン)/しない(オフ)を設定します。オンに設定していると、エアフィルターの詰まりを感知した場合にメッセージを表示します。</p>
マルチプロジェクション	<p>本機を2台以上並べて投写する際に便利な機能の設定ができます。  p.148</p> <p>明るさレベル(EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350W/Z10005/Z10000のみ)：ランプの明るさを1～5のレベルで調整します。設定メニューの節電モードをオフに設定しているときのみ調整可能です。</p> <p>エッジブレンディング：各映像のつなぎ目を補正し、目立たなくします。  p.153</p> <p>マルチスクリーン：各映像の色合いや明るさの差を補正できます。  p.155</p> <p>プロジェクターID：1～9までのIDを設定します。オフはIDを設定していない状態です。  p.148</p>
時刻/スケジュール設定画面へ	<p>時刻やスケジュールを設定する画面を表示します。  p.157</p>
言語	<p>メッセージやメニューに表示する言語を設定します。</p>

サブメニュー	機能
初期化	拡張設定メニューのうち、表示設定※2、動作設定※3、エアフィルター清掃通知、マルチプロジェクション※4の調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは  p.79

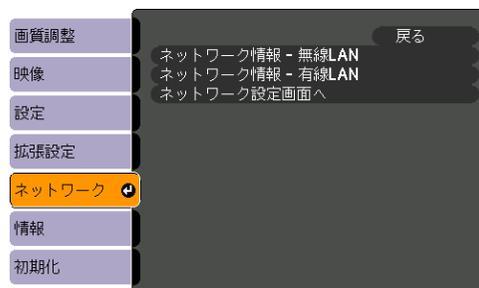
※1 パスワードプロテクトのユーザーロゴ保護をオンにしていると、ユーザーロゴに関する設定の変更はできません。ユーザーロゴ保護をオフにしてから設定を変更してください。  [p.37](#)

※2 ユーザーロゴに関する設定を除く

※3 高地モード、リモコン種類は除く。

※4 マルチスクリーン、プロジェクターIDは除く。

パスワードプロテクトでネットワーク保護をオンに設定していると、メッセージが表示され設定を変更することはできません。ネットワーク保護をオフにしてから操作してください。  [p.37](#)



サブメニュー	機能
ネットワーク情報 - 無線LAN ネットワーク情報 - 有線LAN	各ネットワークの設定情報が表示されます。
ネットワーク設定画面へ	ネットワークの設定を行う画面を表示します。  p.61



本機とネットワーク接続したコンピューターのWebブラウザを利用して、コンピューターから本機の設定や制御が行えます。この機能を「Web制御」と呼びます。「Web制御」はキーボードを使って設定内容を入力できるので、セキュリティーの設定など文字の入力を伴う設定も容易に行えます。  [p.107](#)

ネットワークメニュー操作上のご注意

トップメニューやサブメニューの選択、選択した項目を変更する操作は環境設定メニューと同様に行います。

ただし、終了するには必ず**設定完了**メニューを選択して、**はい**、**いいえ**、**キャンセル**のいずれかを選択します。**はい**あるいは**いいえ**を選択すると、環境設定メニューに戻ります。



- はい**： 設定を保存してネットワークメニューを終了します。
- いいえ**： 設定を保存しないでネットワークメニューを終了します。
- キャンセル**： ネットワークメニューを続けます。



はいを選択した場合でも、設定値に不正な値が含まれていると、設定が反映されない場合があります。

ソフトキーボードの操作

ネットワークメニューでは英数字を入力して設定する項目があります。その際には以下のようなソフトキーボードが表示されます。リモコンの

[⊙]ボタンまたは操作パネルの[▽/▲]、[□/▼]、[⏪/◀]、[⏩/▶]ボタン、で目的のキーにカーソルを移動し、[決定]ボタンを押して入力します。数字は、リモコンの[数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押して入力することもできます。入力後キーボードの[Finish]を選択すると入力が確定します。キーボードの[Cancel]を選択すると入力は取り消されます。



- [CAPS]を選択し[決定]ボタンを押すたびに、アルファベットキーの大文字/小文字が切り替わります。
- [SYM1/2]を選択し[決定]ボタンを押すたびに、枠で囲った部分の記号キーが切り替わります。

基本設定メニュー



サブメニュー	機能
プロジェクター名	ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を表示しています。 変更するときは、半角英数字16文字以内で入力します。
Web Remoteパスワード	Web Remoteを使用するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で最大8文字まで入力できます。Web Remoteはネットワークで接続しているコンピュータのWeb ブラウザーを利用して、コンピュータから本機のリモコン操作をする機能です。 👉 p.107
プロジェクターキーワード	オンに設定していると、本機とコンピュータをEasyMP Multi PC ProjectionやEasyMP Network Projectionを使って接続するとき、キーワードの入力が求められます。これにより予定外のコンピュータからの接続でプレゼンテーションが妨害されるのを防ぐことができます。 通常はオンに設定してお使いください。

無線LANメニュー

本機とコンピューターを無線LANで接続するときは、無線LANユニット(ELPAP07)を本機に取り付けてください。  p.163



サブメニュー	機能
無線LAN電源	本機とコンピューターを無線LANで接続して使用するときは オン に設定します。無線LANで接続しないときは、 オフ に設定しておく と他人からの不正なアクセス等を防ぐことができます。
Wi-Fi Protected Setup	WPS(Wi-Fi Protected Setup) ▶▶対応の無線LANアクセスポイントを経由してネットワークに参加するとき、本機とアクセスポイント間の 接続とセキュリティの設定を簡単に行うことができます。  p.123
無線LAN方式	無線LAN方式を設定します。通常は、 802.11b/g/n を選択してください。アクセスポイントの設定に応じて自動的に接続方式を選択し ます。 802.11nに対応していない地域では、 802.11b/g のみ表示されます。
接続モード	本機とコンピューターを無線LANで接続するときの接続モードを設定します。 かんたんモード を選択すると、プロジェクターとコンピューターによる小規模なネットワークを自動的に構成します。EasyMP Network Projectionと組み合わせて用います。 自動SSID設定がオン の場合は、プロジェクターが簡易なアクセスポイントとなり、 オフ の場合は アドホックモード ▶▶で構成されます。 マニュアルモード を選択すると、設置されているアクセスポイントと インフラストラクチャーモード ▶▶で接続します。
自動SSID設定	接続モード を かんたんモード に設定しているときは、 オン に設定すると複数のプロジェクターの中からより早く本機を検索するこ とができます。SSIDは自動的に設定されます。 かんたんモードで1台のコンピューターから複数のプロジェクターに接続するときは、 オフ に設定し、接続する全てのプロジェクター に同一のSSIDを設定してください。
SSID	SSIDを入力します。本機が参加する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを入力します。 半角英数字で最大32文字まで入力できます。SSIDを空欄またはANYに設定することでANY接続を行います。

サブメニュー	機能
アクセスポイント検索	接続モードをマニュアルモードに設定しているときは、周囲のアクセスポイントを検索し、その中から接続するSSIDを指定できます。アクセスポイントの設定によっては一覧に表示されない場合があります。セキュリティは別途設定が必要です。  p.65
チャンネル設定	かんたんモードで接続するとき使用するチャンネルを選択できます。他の電波の干渉を受けるときは、別のチャンネルに設定してください。
SSID表示	LAN待機画面上にSSIDを表示させないときは、オフに設定します。
DHCP	DHCP  を使用する(オン)/しない(オフ)を設定します ここでオンに設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。
IPアドレス	本機に割り当てるIPアドレス  を入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
サブネットマスク	本機のサブネットマスク  を入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
ゲートウェイアドレス	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレス  は使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
IPアドレス表示	LAN待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、オフに設定します。
地域コード	無線LANモジュールに固有の文字列です。

アクセスポイント検索画面

検出されたアクセスポイントが一覧で表示されます。

WEPが設定されているアクセスポイントも検出されますが、本機ではWEPを暗号方式としてはサポートしないため接続できません。



サブメニュー/アイコン	機能
更新	アクセスポイントの再検出を始めます。
	すでに設定済みのアクセスポイントを表します。
	セキュリティーが設定されているアクセスポイントを表します。 セキュリティーが設定されていないアクセスポイントを選択すると、無線LANメニューに移行します。 セキュリティーありのアクセスポイントを選択すると、セキュリティーメニューに移行します。アクセスポイントのセキュリティー設定に従い、セキュリティーの設定を行ってください。

セキュリティーメニュー (オプション品の無線LANユニット装着時に有効)

無線LANユニットを装着してお使いの際は、必ずセキュリティーの設定を行うことをお奨めします。



サブメニュー	機能
セキュリティー	<p>設定するセキュリティーの種類を選択します。</p> <p>かんたんモード時 Open: セキュリティーを設定しません。 WPA/WPA2-PSK (自動SSID設定がオンの場合のみ): WPA2によるセキュリティーを使って通信を行います。暗号化にはAES方式を使用します。コンピューターからプロジェクターに接続を行う際には、パスフレーズに設定した値を入力してください。</p> <p>マニュアルモード時 Open: セキュリティー設定を行っていないアクセスポイントに接続します。 WPA/WPA2-PSK: WPAパーソナルモードで接続を行います。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。アクセスポイントと共通のパスフレーズを設定します。 WPA/WPA2-EAP: WPAエンタープライズモードで接続を行います。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。LEAPを用いる場合もこの項目を選択します。</p>



本機はWEPを暗号化方式として設定することはできません。

WPA/WPA2-PSK選択時



サブメニュー	機能
パスワード	<p>パスワードを半角英数字で8文字以上、最大63文字まで入力できます。パスワードを入力し、[決定]ボタンで確定すると、設定値はアスタリスク(*)で表示されます。</p> <p>EasyMP Network Projectionと組み合わせて使う場合、初期状態のパスワードであればコンピューター側でのパスワード入力を省略することができます。</p> <p>セキュリティの為に、定期的に新しいパスワードに変更することをお勧めします。ネットワーク設定の初期化によって初期状態のパスワードに戻ります。  p.76</p> <p>環境設定メニューでは32文字を超える入力是不可能です。32文字を超える設定をしたいときはWeb制御から入力します。  p.107</p> <p>かんたんモード時には、初期状態でパスワードが設定されています。</p>

WPA/WPA2-EAP選択時

PEAP/EAP-Fast



PEAP-TLS/EAP-TLS



LEAP



サブメニュー	機能
EAP設定	認証用プロトコルを設定します。 PEAP: Windows Serverで広く使われている認証プロトコルです。 PEAP-TLS: Windows Serverで使われている認証プロトコルです。クライアント証明書を使用する場合に設定します。 EAP-TLS: 一般的に広く使われている、クライアント証明書を使用する認証プロトコルです。 EAP-Fast、LEAP: これらの認証プロトコルが使用されている場合に指定します。
ユーザー名	認証に使用するユーザー名を半角英数字で入力します(スペースは使用できません)。最大64文字まで入力できます。 PEAP-TLS、EAP-TLS選択時は、クライアント証明書から自動的に取得されたユーザー名が表示されます。認証サーバーの要求により、別のユーザー名を指定する必要がある場合は、変更することができます。 環境設定メニューでは32文字を超える入力是不可能です。32文字を超える設定をしたいときはWeb制御から入力します。 ● p.107 ドメイン名を含めて入力する必要がある場合は、ユーザー名の前にバックスラッシュで区切ってドメイン名を追加します。
パスワード	認証に使用するパスワードを半角英数字で入力します。最大64文字まで入力できます。パスワードを入力し、[決定]ボタンで確定すると、パスワードはアスタリスク(*)で表示されます。 環境設定メニューでは32文字を超える入力是不可能です。32文字を超える設定をしたいときはWeb制御から入力します。 ● p.107
クライアント証明書	発行先・発行者・有効期間 格納済みのクライアント証明書に設定された内容を表示します。証明書が設定されていない場合は空白となります。
サーバー証明書の検証	不正な認証サーバーに認証しないため、認証サーバーの証明書の検証を行うかどうかを指定します。 オン にする場合は、認証サーバーの証明書を検証できるCA証明書を設定する必要があります。 ● p.109

サブメニュー	機能
CA証明書	発行先・発行者・有効期間 格納済みのCA証明書に設定された内容を表示します。証明書が設定されていない場合は空白となります。
認証サーバー名の指定	サーバー証明書の検証時に、認証サーバー名の確認も行うかどうかを指定します。 オン にしてサーバー名を指定することで、不正な認証サーバーに接続を行うリスクを低減できます。
認証サーバー名	認証サーバーの名前を指定します。 半角英数字で最大32文字まで入力できます。
サーバー証明書の有効期限検証	サーバー証明書の検証時に、証明書の有効期限を確認するかどうかを指定します。 オン にした場合は、プロジェクターの内部時刻から認証サーバーの証明書の有効性を確認します。

有線LANメニュー



サブメニュー	機能
DHCP	DHCP▶▶を使用する(オン)/しない(オフ)を設定します。 ここで オン に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。
IPアドレス	本機に割り当てるIPアドレス▶▶を入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
サブネットマスク	本機のサブネットマスク▶▶を入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
ゲートウェイアドレス	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレス▶▶は使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
IPアドレス表示	LAN待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、 オフ に設定します。

管理者設定メニュー



サブメニュー	機能
管理者パスワード	ネットワーク設定の管理者設定メニューに対するパスワードです。 半角英数字で最大16文字まで入力できます。 管理者パスワードが設定されていない場合は、パスワードは空白のまま OK を押してください。
ネットワークホスト名	半角英数字で最大15文字まで入力できます。
PJLinkパスワード	PJLink対応アプリケーションソフトを使って本機にアクセスするときの認証用パスワードを設定します。  p.115 半角英数字で最大32文字まで入力できます。
Web制御パスワード	Web制御で本機を設定・制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で最大8文字まで入力できます。Web制御はネットワークで接続しているコンピューターのWebブラウザを利用して、コンピューターから本機を設定・制御する機能です。  p.107
Monitorパスワード	半角英数字で最大16文字まで入力できます。
セキュアHTTP	Web制御にセキュリティー(HTTPS)を適用します。セキュリティーの設定をWeb制御で行う場合は、 オン に設定することを推奨します。
メール通知機能	メール通知機能の設定メニューに移行します。  p.73
証明書管理	証明書管理の設定メニューに移行します。  p.74
SNMP	SNMPの設定メニューに移行します。  p.75
優先ゲートウェイ	優先ゲートウェイを 有線/無線 のどちらにするか選択します。
AMX Device Discovery	本機をネットワークに接続しているとき、 AMX Device Discovery  による本機の検出を有効にしたいときは オン に設定します。AMX社のコントローラーやAMX Device Discoveryで制御する環境に接続していないときは、 オフ に設定してください。

サブメニュー	機能
Crestron RoomView	<p>Crestron RoomView®を使用して、ネットワーク経由で本機の監視・制御を行うときのみオンに設定します。通常はオフに設定してください。☛「Crestron RoomView®について」p.116</p> <p>設定の変更は、本機を再起動したときに有効になります。</p> <p>オンに設定したときは、以下の機能はご利用になれません。</p> <ul style="list-style-type: none">• Web制御• Message Broadcasting (EasyMP Monitorのプラグイン)
Bonjour	<p>Bonjourによるネットワーク接続を行うときは オンに設定します。Bonjourサービスの詳しい説明については、Apple社のWebサイトをご覧ください。</p> <p>http://www.apple.com/</p>
EPSON Broadcasting Message	<p>EPSON Message Broadcasting機能の有効、無効を切り替えます。</p> <p>ソフトウェアおよび取扱説明書は、以下のWebサイトよりダウンロードしてください。</p> <p>http://www.epson.jp/download/</p>

メール通知機能メニュー

プロジェクターが異常／警告状態になったときに、ここで通知先を設定すると電子メールで通知されます。☛「異常通知メールの見方」 p.111



サブメニュー	機能
メール通知機能	メール通知を行う(オン)/行わない(オフ)を選択します。
SMTPサーバー	本機が使うSMTPサーバーのIPアドレス▶▶を入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
ポート番号	SMTPサーバーのポート番号を入力します。初期値は25です。1～65535までの有効な数値を入力できます。
メールアドレス1/メールアドレス2/メールアドレス3	通知メールの送信先のメールアドレスを入力します。送信先は最大3件まで登録できます。メールアドレスは最大64文字まで入力できます。環境設定メニューでは32文字を超える入力はできません。32文字を超える設定をしたいときはWeb制御から入力します。 ☛ p.107
通知イベントの指定	メールで通知する本機の異常/警告を選択します。選択した異常/警告が本機で起きたときに、メールアドレスで指定したメールアドレスに異常/警告が発生したことを通知します。表示されている項目より、複数選択できます。送信者はメールアドレス1です。

証明書管理メニュー



サブメニュー	機能
クライアント証明書	<p>発行先・発行者・有効期間 格納済みのクライアント証明書に設定された内容を表示します。証明書が設定されていない場合は空白となります。証明書の設定はPEAP-TLS、EAP-TLSを使用する場合は必須です。 削除を選択すると、格納された証明書を削除します。</p>
CA証明書	<p>発行先・発行者・有効期間 格納済みのCA証明書に設定された内容を表示します。証明書が設定されていない場合は空白となります。証明書の設定はEAPを使用する場合で、認証サーバーの証明書の認証を行う場合に必要です。 削除を選択すると、格納された証明書を削除します。</p>
自己署名証明書	<p>発行先・発行者・有効期間 セキュアHTTPをオンに設定しているとき、プロジェクターに内蔵されたサーバー機能が保持する証明書に関する情報を表示します。Webサーバー証明書が設定されている場合は表示されません。 更新を選択すると、自己署名証明書を更新します。</p>
Webサーバー証明書	<p>発行先・発行者・有効期間 セキュアHTTPをオンに設定しているときに必要な、プロジェクターに設定された証明書に関する情報を表示します。自己署名証明書が設定されている場合は表示されません。 削除を選択すると、格納された証明書を削除します。</p>



証明書の設定はWeb制御を使って行います。👉「証明書の設定をする」 p.109

SNMPメニュー

SNMPを使ってプロジェクトを監視するには、コンピューター側にSNMPマネージャプログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。



サブメニュー	機能
SNMP	SNMP▶▶を使ってプロジェクトを監視するときは オン に設定します。
トラップIPアドレス1/トラップIPアドレス2	SNMPを オン に設定したときは、SNMPのトラップ通知先のIPアドレスを2つまで登録できます。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。 ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
コミュニティ名	SNMPのコミュニティ名を設定します。半角英数字で最大32文字まで入力できます。

初期化メニュー

ネットワークの設定をすべて初期化します。



サブメニュー	機能
ネットワーク設定を初期化します。	ネットワーク設定をすべて初期化するときには はい を選択します。 初期化を実行すると、パスワードや管理者パスワード、証明書管理メニューの設定も初期値に戻り、証明書は削除されます。 初期化した後は、 基本設定 メニューに移行します。

投写している映像信号や本機の状態を確認できます。現在投写している映像信号や入力ソースにより表示される項目が以下の画面図のとおり異なります。

RGB信号/コンポーネントビデオ▶▶信号



コンポジットビデオ▶▶信号/S-ビデオ▶▶信号



LAN

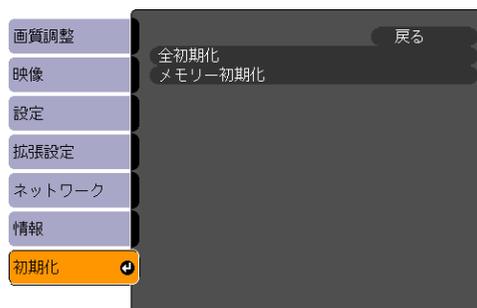


サブメニュー	機能
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間※1※2を表示しています。 ランプ寿命警告時間に達すると、文字が黄色に変わります。
ランプ状態	各ランプの状態を次のようにアイコンで表示しています。 : 点灯中 : 使用不可 が表示されているときはランプになんらかの異常が発生しています。「インジケータの見方」のランプ異常の箇所をご覧ください。 p.82
入力ソース	現在投写中の機器を接続している入力ソース名を表示しています。
入力信号	映像メニューの入力信号方式の設定内容を入力ソースに応じて表示しています。
入力解像度	入力解像度を表示しています。
ビデオ信号方式	映像メニューのビデオ信号方式の設定内容を表示しています。
リフレッシュレート	リフレッシュレート▶▶を表示しています。
同期情報	映像信号の情報を表示しています。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
ステータス	本機に発生した異常についての情報です。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。

サブメニュー	機能
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
Event ID	ネットワークを介して本機とコンピューターを接続しているときにトラブルが生じると、トラブルの内容が番号(Event ID)で表示されます。Event IDの見方は、次を参照してください。  p.94

※1 累積使用時間が0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、「11H」と1時間単位で表示されます。

※2 EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350W/Z10005/Z10000は通常の点灯時間と節電モードの点灯時間をそれぞれ表示します。



サブメニュー	機能
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 パスワードに関する項目、 入力信号方式 、 メモリー 、 ユーザーロゴ 、 マルチスクリーン 、 ネットワークメニュー の全項目、 ランプ点灯時間 、 言語 は初期値に戻りません。
メモリー初期化	設定メニューの メモリー の設定内容を初期化します。



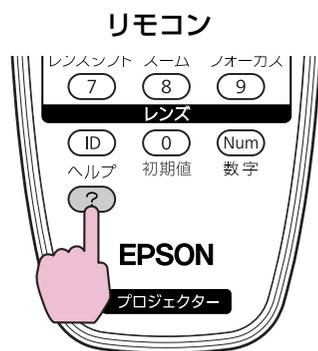
困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答えていくと適切な状態に設定することもできます。

操作

- 1 [ヘルプ]ボタンを押します。
ヘルプ画面が表示されます。

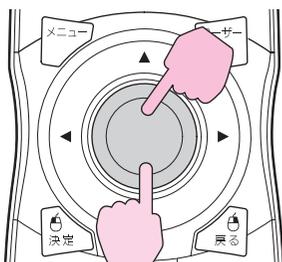


- 2 項目を選択します。

【ヘルプ】

映像が小さい。👉
映像がゆがんで表示される。
色合いがおかしい。
動画部分が表示されない。

リモコン



- 3 項目を決定します。

リモコン



以下の画面のように質問と対処法が表示されます。
【ヘルプ】ボタンを押すとヘルプは解除されます。

映像が小さい。

- ① ズームが最小になっていませんか？
・【ズーム】ボタンを押して、映像の大きさを変更してください。
- ② プロジェクターがスクリーンに近すぎませんか？
・プロジェクターをスクリーンから離してください。

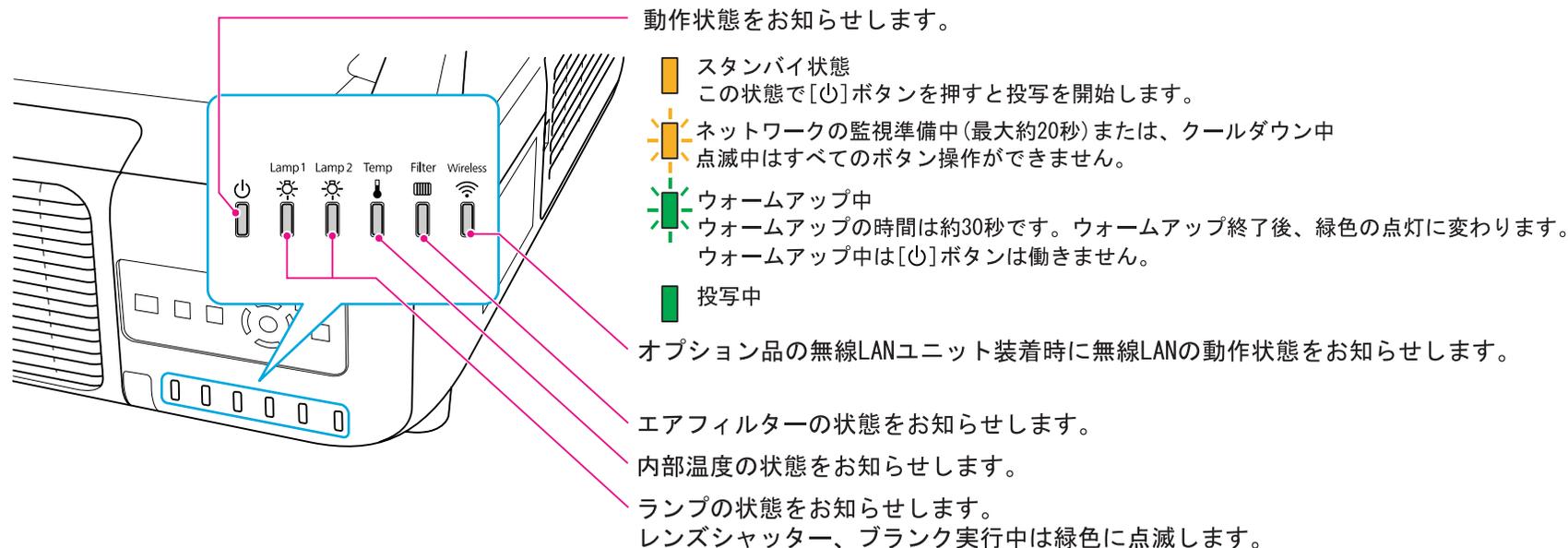


ヘルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」
p.82をご覧ください。

故障かな？と思ったら、まず本機のインジケーターをご覧になり下記の「インジケーターの見方」で本機の状態をご確認ください。
インジケーターをご覧になってもわからないときは、「インジケーターを見てもわからないとき」を確認してください。  p.86

インジケーターの見方

次の各インジケーターが本機の状態をお知らせします。



インジケーターの状態とその対処方法については、次の表を参照してください。

インジケーターがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。

電源ケーブルを抜いてもインジケーターがしばらく点灯したままになることがあります。故障ではありません。

④ インジケーターが赤色点灯/点滅時

 : 点灯  : 点滅  : 消灯

状態	原因	処置または状態
         	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛『 お問い合わせ先 』
         	ファン異常 センサー異常 冷却システム異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛『 お問い合わせ先 』
         	内部高温異常 (オーバーヒート)	<p>ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態待ちます。約5分後、スタンバイ状態になりますので、次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換をします。☛ p.96, p.102 <p>上記を確認後もエラーになるときはご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛『お問い合わせ先』</p> <p>標高1500m以上の場所でお使いのときは、高地モードをオンにしてください。☛ p.57</p> <p>本機を水平方向以外に向けて投写しているときは、設置角度を下向き、上向き、上斜め、下斜めの中から設定してください。☛ p.57</p>
         	ランプ異常 ランプ点灯失敗	<p>次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ランプを両方とも取り出してランプが割れていないか確認します。☛ p.99 エアフィルターを掃除します。☛ p.96 <p>割れていないとき：ランプを再セットして、電源を入れます。</p> <p>それでもエラーになるとき：新しいランプに交換してから電源を入れます。</p> <p>それでもエラーになるとき：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛『お問い合わせ先』</p> <p>割れているとき：お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先にご相談ください(ランプを交換しないと映像を投写することはできません)。☛『お問い合わせ先』</p> <p>標高1500m以上の場所でお使いのときは、高地モードをオンにしてください。☛ p.57</p> <p>本機を水平方向以外に向けて投写しているときは、設置角度を下向き、上向き、上斜め、下斜めの中から設定してください。☛ p.57</p>

状態	原因	処置または状態
		<p>割れているとき：お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先にご相談ください(1灯投写の状態です。なるべく早くランプを交換してください。)。☛『お問い合わせ先』</p> <p>標高1500m以上の場所でお使いのときは、高地モードをオンにしてください。☛ p.57</p> <p>本機を水平方向以外に向けて投写しているときは、設置角度を下向き、上向き、上斜め、下斜めの中から設定してください。☛ p.57</p>
         	エアフィルター未装着 エアフィルターセンサー故障	<p>エアフィルターが確実に取り付けられているか確認してください。☛ p.102</p> <p>本機はエアフィルター未装着を検出後、約1分が経過すると自動的に電源がオフになります。エアフィルターを取り付けてもエラーになるときは、エアフィルターセンサーが故障しています。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛『お問い合わせ先』</p>
         	エアフィルター風量低下	<p>(異常ではありません。ただし、さらに風量低下の状態になると投写を自動停止します。)</p> <p>「エアフィルターが目詰まりしています。エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」とメッセージも表示されます。以下の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換をします。☛ p.96, p.102 <p>エアフィルターを掃除しても頻繁にエアフィルター風力低下の状態になるときは新しいエアフィルターに交換してください。☛ p.102</p> <p>上記を確認後もエラーになるときは、ご使用をやめ電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛『お問い合わせ先』</p>
         	エアフィルター清掃通知	<p>「エアフィルターの清掃時期です。エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」とメッセージも表示されます。エアフィルターの掃除をしてください。☛ p.96</p> <p>エアフィルターがタバコのヤニなどで茶色く変色しているときは掃除をしてもきれいになりませんので、新しいエアフィルターに交換してください。</p> <p>エアフィルター清掃通知のインジケータやメッセージは、環境設定メニューの拡張設定メニュー-エアフィルター清掃通知をオンに設定しているときに限り表示されます。☛ p.57</p>



- インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、「インジケータを見てもわからないとき」をご覧ください。☛ p.86
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛『お問い合わせ先』

インジケータを見てもわからないとき

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

- 「映像が表示されない」  p.87
投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...
- 「動画が表示されない(動画の部分だけが黒くなる)」  p.87
コンピューターで再生する動画が黒くなり映像が投写されない。
- 「自動的に投写が消える」  p.87
- 「「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される」  p.88
- 「映像信号が入力されていません。」と表示される」  p.88
- 「ぼやける、ピントが合わない」  p.88
- 「ノイズが入る、乱れる」  p.89
- 「映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクトが合っていない」  p.89
映像の一部しか投写されない、映像の縦横の比率が正しくないなど...
- 「色合いが違う」  p.90
全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど... (コンピューターのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、プロジェクターでの投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
- 「暗い」  p.90

投写開始時のトラブル

- 「電源が入らない」  p.91

その他のトラブル

- 「リモコンで操作できない」  p.92

- 「外部モニターに表示されない」  p.92
- 「メッセージやメニューの言語を変更したい」  p.93
- 「プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない」  p.93
- 「「時刻を保持する電池残量が低下しています。」と表示される」  p.93

Event IDの見方

-  p.94

映像に関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
[Ⓞ]ボタンを押しましたか？	[Ⓞ]ボタンを押して電源を入れます。
インジケーターがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。本機に電源ケーブルを正しく接続してください。☛『かんたん操作ガイド』 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
シャッターが実行されていませんか？	リモコンの[シャッター]ボタンを押してシャッターを解除します。☛ p.32
環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか？	全初期化してみてください。☛ 初期化メニュー - 全初期化 p.79
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ コンピューター投写時のみ	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ 映像メニュー - ビデオ信号方式 p.53

動画が表示されない(動画の部分だけが黒くなる)

確認	対処法
コンピューター映像信号が外部と液晶画面の両方に出力されていませんか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ	映像信号を外部のみの出力に切り替えます。☛ コンピューターに添付の『取扱説明書』、あるいはお使いのコンピューターのメーカーにお問い合わせください。

自動的に投写が消える

確認	対処法
スリープモードをオンにしていませんか？	[Ⓞ]ボタンを押して電源を入れます。スリープモードを働かせないときは設定をオフにしてください。☛ 拡張設定メニュー - 動作設定 - スリープモード p.57
エアフィルターを取り付けていますか？	エアフィルターが確実に取り付けられているか確認してください。☛ p.102 本機はエアフィルター未装着を検出後、約1分が経過すると自動的に電源がオフになります。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ 映像メニュー - ビデオ信号方式 p.53
映像信号の解像度やリフレッシュレートが対応するモードですか？ コンピューター投写時のみ	コンピューターから出力されている映像信号の解像度・リフレッシュレートの変更は、コンピューターの『取扱説明書』などでご確認ください。☛ 「対応解像度一覧」 p.173

「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.130, p.132
接続した入力端子を正しく選択していますか？	リモコンの[入力検出]ボタンまたは操作パネルの[Source Search]ボタンを押して映像を切り替えます。 ☛ p.19
接続されたコンピューターやビデオ機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ	映像信号がコンピューターの液晶モニターや付属モニターにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターや付属モニターに映像が出せないモデルもあります。☛ p.131 本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn(ファンクションキー)が働かないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。

ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
ピントは正しく調整されていますか？	映像を投写し始めてから30分以上たっていることを確認し、リモコンの[フォーカス]ボタンでピントを合わせます。☛ 『かんたん操作ガイド』, p.14
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲を外れていませんか？ 推奨範囲内で設置してください。☛ p.169
台形補正の調整値を大きくしていませんか？	投写角度を小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。☛ p.140

確認	対処法
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に使用する部屋に本機を設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ 映像メニュー - ビデオ信号方式 p.53
ケーブル類は正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.130, p.132
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを接続して確認してください。
解像度の選択は正しいですか？ コンピューター投写時のみ	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☛ 「対応解像度一覧」 p.173 ☛ コンピューターの『取扱説明書』など
「同期▶▶・トラッキング▶▶」は正しく調整されていますか？ コンピューターのアナログRGB信号投写時のみ	リモコンの[自動調整]ボタンまたは操作パネルの[Enter]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューの同期、トラッキングで調整することもできます。 ☛ 映像メニュー - トラッキング、同期 p.53
入力解像度をマニュアルに設定していますか？ 2画面投写時のみ	環境設定メニューの入力解像度で設定している解像度と、投写している映像の入力解像度が異なるときは、映像が乱れることがあります。 映像が乱れるときは入力解像度をオートに設定してください。☛ 映像メニュー - 入力解像度 p.53

映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクトが合っていない

確認	対処法
アスペクトは正しく設定されていますか？	リモコンの[アスペクト]ボタンを押して入力信号に合ったアスペクトを選択してください。☛ p.21
ワイドパネルのコンピューター映像を投写していますか？ コンピューター投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ 映像メニュー - 入力解像度 p.53
Eズームで拡大したままになっていませんか？	リモコンの[戻る]ボタンを押してEズーム機能を解除します。☛ p.33
表示倍率変更をオンに設定していませんか？	環境設定メニューの表示倍率変更をオフにしてください。☛ 映像メニュー - 表示倍率変更 p.53

確認	対処法
表示位置は正しく調整されていますか？	<p>コンピューターのアナログRGB信号投写時は、リモコンの[自動調整]ボタンまたは操作パネルの[Enter]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューの表示位置で調整することもできます。</p> <p>アナログRGB信号以外の信号を投写時は、環境設定メニューの表示位置で調整します。☛ 映像メニュー - 表示位置 p.53</p>
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ コンピューター投写時のみ	<p>接続しているコンピューターのコントロールパネルの「画面のプロパティ」でデュアルディスプレイの設定をしていると、コンピューター画面の映像が半分くらいしか投写されません。コンピューター画面の映像をすべて投写するときは、デュアルディスプレイの設定を解除します。☛ コンピューターのビデオドライバの『取扱説明書』</p>
解像度の選択は正しいですか？ コンピューター投写時のみ	<p>本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。</p> <p>☛ 「対応解像度一覧」 p.173 ☛ コンピューターの『取扱説明書』など</p>

色合いが違う

確認	対処法
入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？	<p>接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ 映像メニュー - 入力信号方式、ビデオ信号方式 p.53</p>
映像の明るさは正しく調整されていますか？	<p>環境設定メニューの明るさを調整してください。☛ 画質調整メニュー - 明るさ p.51</p>
ケーブル類が正しく接続されていますか？	<p>投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.130, p.132</p>
コントラスト ▶▶は正しく調整されていますか？	<p>環境設定メニューのコントラストを調整してください。☛ 画質調整メニュー - コントラスト p.51</p>
適切なカラー調整に設定されていますか？	<p>環境設定メニューのアドバンストを調整してください。☛ 画質調整メニュー - アドバンスト p.51</p>
色の濃さ、色合い は正しく調整されていますか？ ビデオ機器投写時のみ	<p>環境設定メニューの色の濃さ、色合いを調整してください。☛ 画質調整メニュー - 色の濃さ、色合い p.51</p>

暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されていますか？	<p>環境設定メニューの明るさや節電モードを設定してください。</p> <p>☛ 画質調整メニュー - 明るさ p.51 ☛ 設定メニュー - 節電モード p.55</p>

確認	対処法
コントラスト▶▶は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの コントラスト を調整してください。 ☛ 画質調整メニュー - コントラスト p.51
ランプの交換時期ではありませんか？	ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。☛ p.99
マルチプロジェクションがオンになっていませんか？	マルチプロジェクションの明るさレベルや明るさ補正 が設定されている場合があります。本機を複数台並べて投写しない場合は、 マルチプロジェクションをオフ に設定してください。☛ 拡張設定メニュー - マルチプロジェクション p.57

投写開始時のトラブル

電源が入らない

確認	対処法
[ON]ボタンを押しましたか？	[ON]ボタンを押して電源を入れます。
インジケーターがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていないか、電気が供給されていません。電源ケーブルを抜いて差し直してください。☛ 『かんたん操作ガイド』 または、電気が供給されるようにブレーカーを確認してください。
電源ケーブルを触ると、インジケーターが点いたり消えたりしませんか？	電源ケーブルが接触不良を起こしているか、電源ケーブルが故障している可能性があります。電源ケーブルを差し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先にご相談ください。☛ 『お問い合わせ先』
操作ボタンロックが 全ロック になっていませんか？	リモコンの[ON]ボタンを押します。操作ボタンロックを働かせないときは設定を オフ にしてください。☛ 設定メニュー - 操作ボタンロック p.55
リモコン受光部の設定は正しいですか？	環境設定メニューの リモコン受光部 の設定を確認してください。☛ 設定メニュー - リモコン受光部 p.55
ダイレクトパワーオフをした直後に電源ケーブルのプラグを挿し直したかブレーカーをオンにしていますか？	ダイレクトパワーオンをオン に設定しているときに左記の操作をすると電源が入らないことがあります。[ON]ボタンを押すと電源が入ります。
リモコン側面のIDスイッチがOnになっていませんか？	OnになっているとIDが一致するプロジェクターだけが操作対象になります。IDスイッチを Off にしてください。☛ p.150
ランプカバーやランプは正しく装着されていますか？	本機は、ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源が入りません。装着の状態を確認してください。☛ p.99

その他のトラブル

リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部を本機のリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。☛ p.17
本機から離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約15mです。☛ p.17
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部に当たる場所を避けて設置してください。または、環境設定メニューの リモコン受光部 で光の影響を受けている方の受光部を オフ にしてください。☛ 設定メニュー-リモコン受光部 p.55
リモコン受光部の設定は正しいですか？	環境設定メニューの リモコン受光部 の設定を確認してください。☛ 設定メニュー-リモコン受光部 p.55
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きにセットします。☛ p.16
リモコンIDはプロジェクターIDと一致していますか？	操作したいプロジェクターのIDとリモコンのIDを一致させてください。IDの設定に関わらずすべてのプロジェクターをリモコンで操作できるようにするには、リモコン側面のIDスイッチをOffにします。☛ p.148
リモコン種類 の設定と使用しているリモコンは一致していますか？	環境設定メニューの リモコン種類 の設定を確認してください。☛ 拡張設定メニュー-動作設定-リモコン種類 p.57
リモコン、または本機のRemote端子にオプションのリモコンケーブルを接続していませんか？	リモコンケーブルが差し込まれているとリモコン発光部や本機のリモコン受光部が働かなくなります。リモコンケーブルセットを使用しないときは、リモコンケーブルをリモコンやRemote端子から取り外してください。
リモコンボタンロックが設定されていませんか？	リモコンボタンロックが設定されていると、基本操作に必要なボタン以外は無効になります。リモコンの [ヘルプ] ボタンを長押しして、リモコンボタンロックを解除してください。☛ p.41

外部モニターに表示されない

確認	対処法
Computer入力端子、BNC入力端子以外から入力している映像を表示させようとしていませんか？	外部モニターに表示できる映像はComputer入力端子、BNC入力端子からのRGB信号のみです。
2画面で投写していますか？	外部モニターに表示できる映像は、左画面で投写しているComputer入力端子、BNC入力端子からのRGB信号のみです。☛ p.28

メッセージやメニューの言語を変更したい

確認	対処法
言語の設定を変更します。	環境設定メニューの 言語 で目的の言語を選択してください。☛ 拡張設定メニュー - 言語 p.57

無線LANの認証設定ができない

確認	対処法
時刻は正しく設定されていますか？	無線LANが正しく設定されているにもかかわらず、認証設定ができないときは、時刻の設定が正しくない場合があります。正しく設定されているか確認してください。☛ 拡張設定メニュー - 時刻/スケジュール設定画面へ p.57

プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない

確認	対処法
待機モードを 通信オン に設定していますか？	本機がスタンバイ状態のときもメール通知機能を使うためには、環境設定メニューの 待機モード を 通信オン に設定します。☛ 拡張設定メニュー - 待機モード p.57
致命的な異常が発生し、プロジェクターが瞬時に起動停止状態になっていませんか？	瞬時に起動停止したときはメール送信できません。 プロジェクターを確認しても異常状態が復帰しないときは、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』
プロジェクターに電源が供給されていますか？	プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。
環境設定メニューで メール通知機能 が正しく設定されていますか？	異常通知のメールは環境設定メニューの メール通知機能 メニューの設定に従って発信されます。正しく設定されているか確認してください。 ☛ ネットワークメニュー - メール通知機能メニュー p.73

「時刻を保持する電池残量が低下しています。」と表示される

原因	対処法
時刻を保持する内部電源の残量が低下している。	お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼して下さい。☛ 『お問い合わせ先』

Event IDの見方

番号を確認して以下のとおり対処してください。問題が解決しない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、次に記載の連絡先にお問い合わせください。☛『お問い合わせ先』

Event ID	要因	対処法
0432 0435	EasyMP Network Projectionの起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してください。
0433	転送された画像を再生できません。	EasyMP Network Projectionを再起動してください。
0484	コンピューターから通信が切断されました。	
04FE	EasyMP Network Projectionが予期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認して、プロジェクターを再起動してください。
04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。	コンピューターやアクセスポイントとプロジェクターを同じSSIDに設定してください。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。	無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。☛ネットワークメニュー-セキュリティメニュー p.66
0893	WEP/TKIP/AESの暗号化方式が一致しません。	
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。	ネットワーク管理者に確認して指示に従ってください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。	DHCPサーバーが正しく動作しているか、またはLANケーブルが正しく接続されているか確認してください。DHCPを使用しないときは、DHCPの設定をオフにしてください。 ☛ネットワークメニュー-無線LANメニュー p.63、有線LANメニュー p.70
0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはEasyMP Network Projectionを再起動しても問題が解決しない場合は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。☛『お問い合わせ先』
089A	EAP認証タイプが不一致です。	無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインポートされているか確認してください。☛ネットワークメニュー-セキュリティメニュー p.66
089B	EAPのサーバー認証が失敗しました。	
089C	EAPのクライアント認証が失敗しました。	
089D	鍵交換が失敗しました。	



メンテナンス

ここでは、本機を今後も長くお使いいただくためのメンテナンス方法について説明しています。

本機が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

警告

本機のレンズやエアフィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

本機の掃除

本機の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。

レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアフィルターの掃除

下記のメッセージが表示されたり、Filterインジケーターが緑点減するときは、エアフィルターの掃除をしてください。

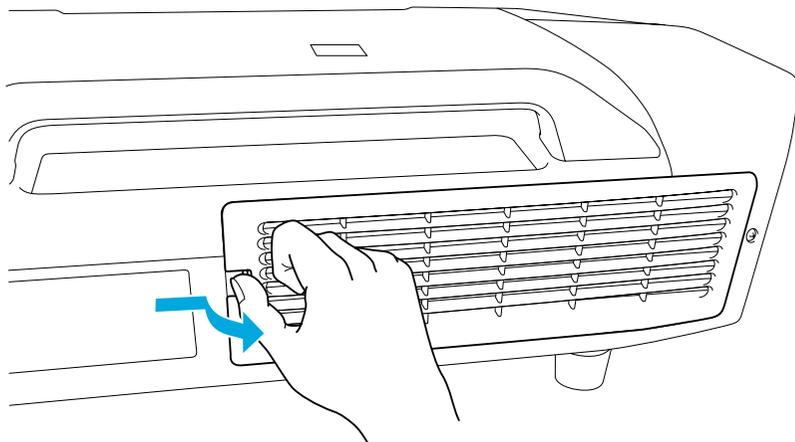
エアフィルターの清掃時期です。
エアフィルターの掃除、または交換をしてください。

注意

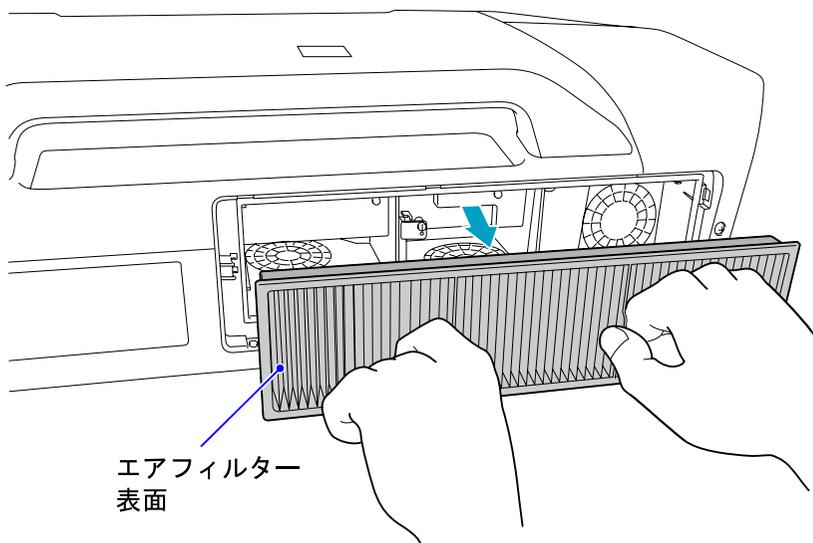
- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。
- エアフィルターがタバコのヤニなどで茶色く変色しているときは、掃除をしてもエアフィルターはきれいになりません。この場合は新しいエアフィルターに交換してください。  p.102
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- 掃除にブラシを使用するときは、毛先の長い柔らかいものを使用し、軽くなでるように掃除をしてください。強くこするとホコリがエアフィルター内部に入ってしまう取れなくなります。

操作

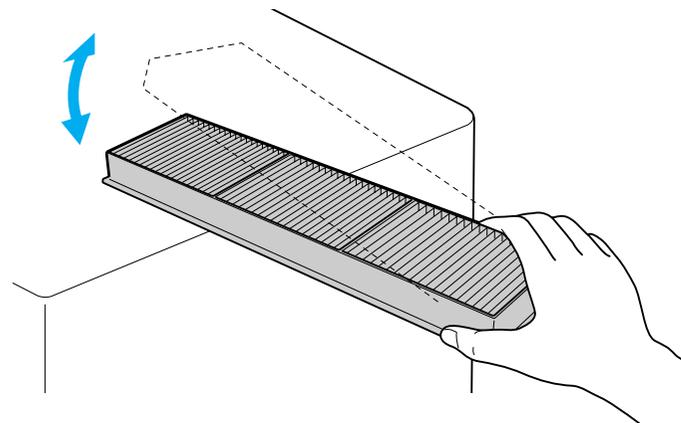
- ① 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。
- ② エアフィルターカバーを取り出します。
エアフィルターカバーのタブに指をかけ、タブを押したままカバーを起こして取り外します。



- ③ エアフィルターを取り出します。



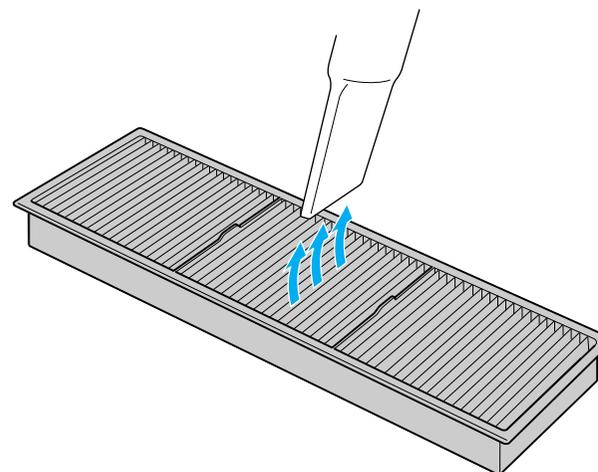
- ④ エアフィルターの表側(取り出し用のツマミのある面)を下にして、4~5回たたいてホコリを落とします。
持ち替えて手で持っていた方も同様にたたいてホコリを落とします。



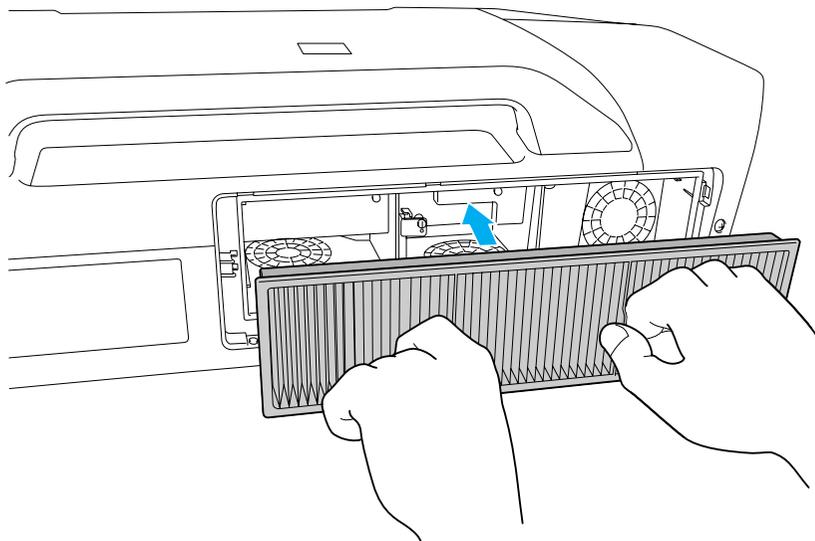
注意

エアフィルターを強くたたきすぎると、変形したり割れたりして使用できなくなります。

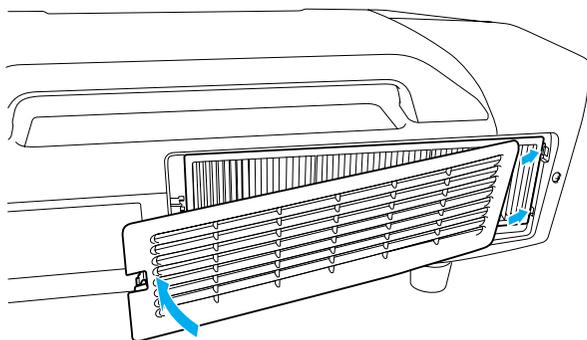
- ⑤ 掃除機でエアフィルターに残ったホコリを表側から吸い取ります。



- ⑥ エアフィルターを取り付けます。



- 7** エアフィルターカバーを取り付けます。
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



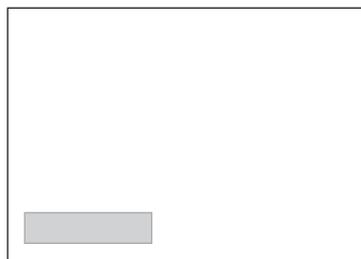
掃除をしても頻繁にメッセージが表示される時は交換時期です。
新しいエアフィルターに交換してください。  p.102

ランプの交換

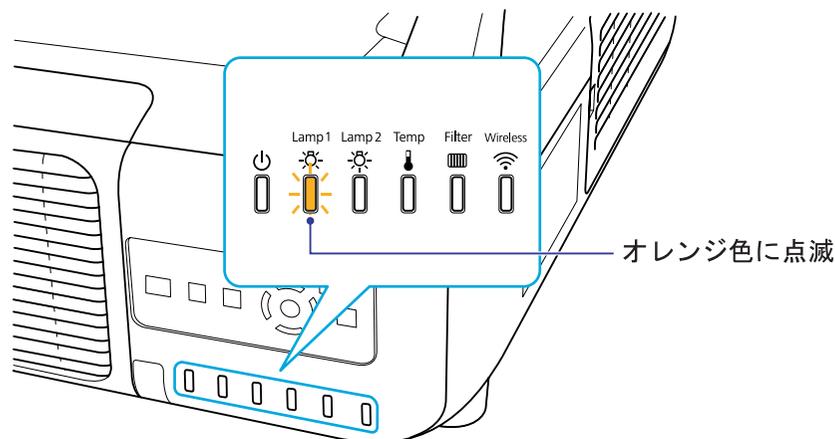
ランプの交換時期

次の場合は、ランプを交換してください。

- 投写を開始したときに下図のように投写画面の左下に「投写ランプを交換してください。」とメッセージが表示されたとき



- Lampインジケータがオレンジ色に点滅したとき
Lamp1/2インジケータのうち、点滅している方のランプを交換します。



- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

注意

- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示されます。
EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350W/Z10005/Z10000
節電モードをオフで使い続けた場合：約2400時間
節電モードをモード1で使い続けた場合：約3400時間
EB-Z8150の場合：約2400時間
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをおすすめします。



ランプを交換するときに、エアフィルターの掃除をおすすめします。

☛ p.96

エアフィルターが変色していたり、掃除をしてもメッセージが頻繁に表示される場合は、エアフィルターを交換してください。

☛ p.102

ランプの交換方法

本機は天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

警告

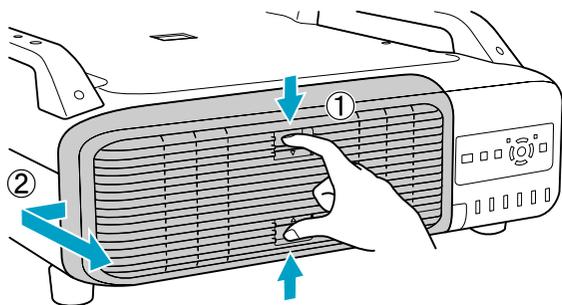
- ランプが点灯しなくなり交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊り設置していてランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定しランプカバーの真下に立たずに横から作業してください。また、ランプカバーをそっと取り外してください。
- ランプの分解・改造は、絶対にしないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

注意

ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。

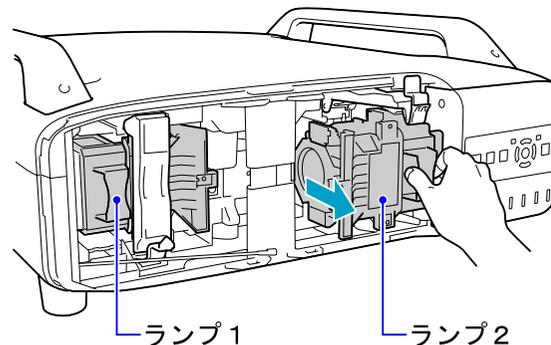
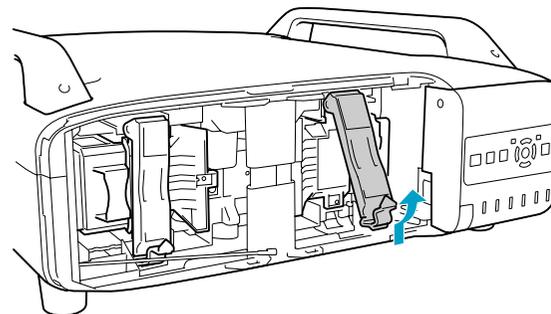
操作

- ① 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。
- ② ランプが十分冷えてから、本機背面のランプカバーを外します。ランプカバー開ツマミをつまむとカバーのロックが外れます。ロックが外れたら手前に引いて取り外します。

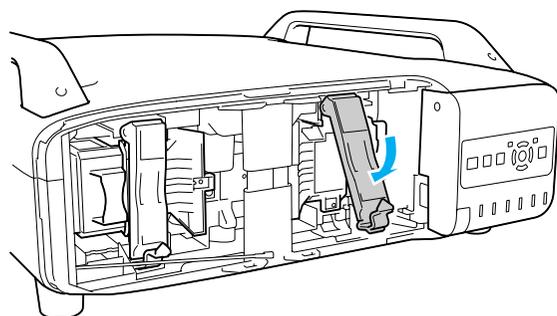
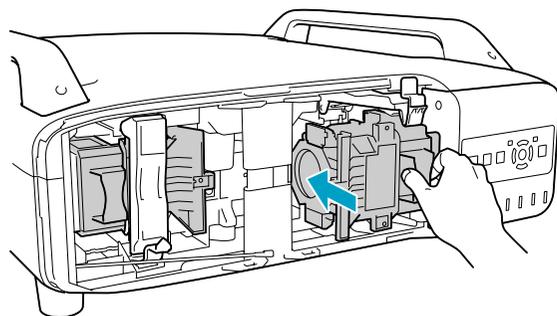


- ③ 交換するランプのロックレバーを引き上げてランプをまっすぐに引き抜きます。

ランプが割れているときは、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先にご相談ください。☎『お問い合わせ先』

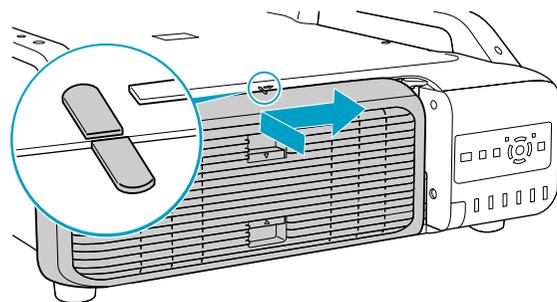


- ④ 新しいランプを取り付けます。ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込みます。ロックカバーを引き下げて、カチッと音がするまで押します。



5 ランプカバーを取り付けます。

カバーを本体に密着させて、カチッと音がするまで右にスライドさせます。



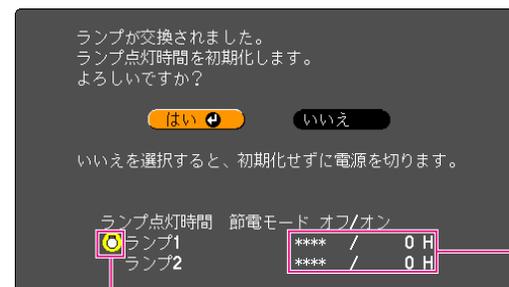
注意

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと点灯しません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

ランプ点灯時間の初期化

本機はランプの点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケータでお知らせします。ランプを交換後、本機の電源を入れるとスクリーンに次のメッセージが投写され、ランプ点灯時間を初期化できます。

はいを選択して[決定]または[Enter]ボタンを押します。



各ランプの累積点灯時間を表示しています。はいを選択して初期化を実行するとランプ1の累積点灯時間が0Hに戻ります。

ランプ1が交換されたことを示しています。

エアフィルターの交換

エアフィルターの交換時期

次の場合はエアフィルターを交換してください。

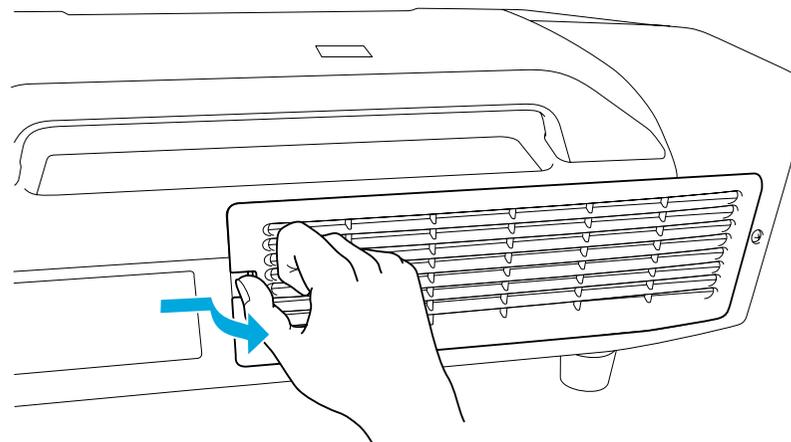
- エアフィルターが変色しているとき。
- エアフィルターの掃除をしても頻繁にメッセージが表示される時。

エアフィルターの交換方法

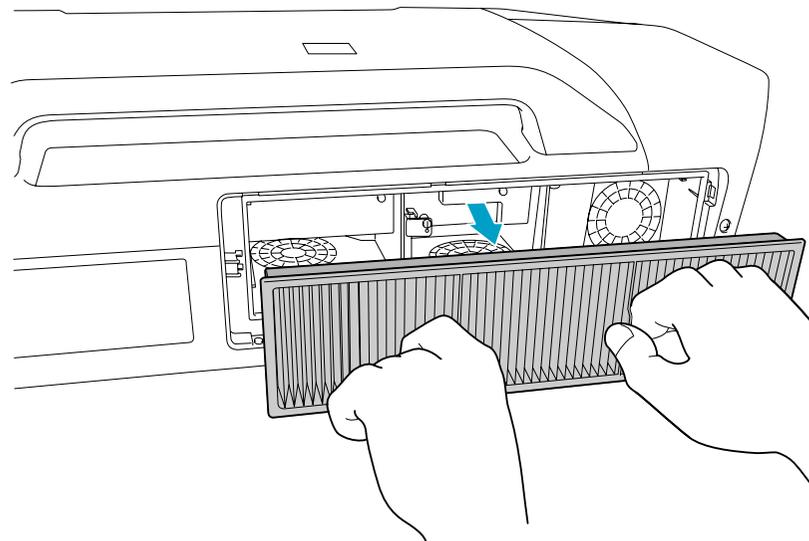
本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

操作

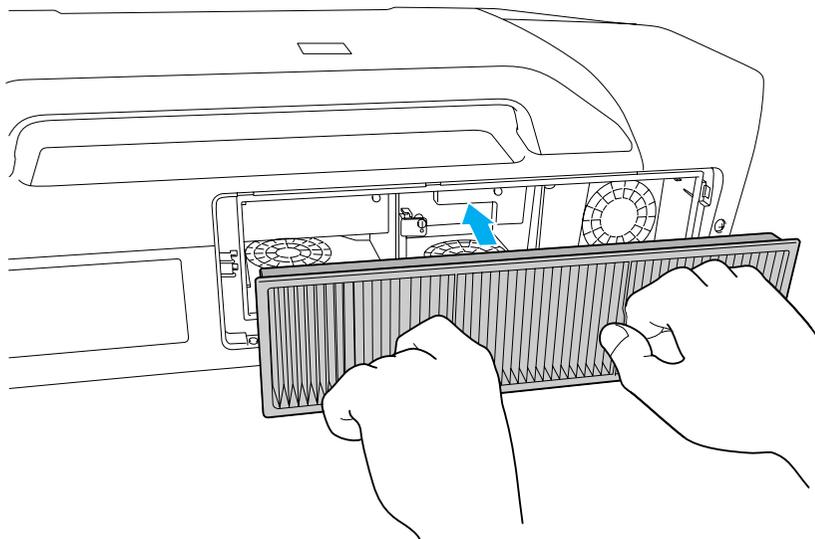
- 1 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。
- 2 エアフィルターカバーを取り出します。
エアフィルターカバーのタブに指をかけ、タブを押したままカバーを起こして取り外します。



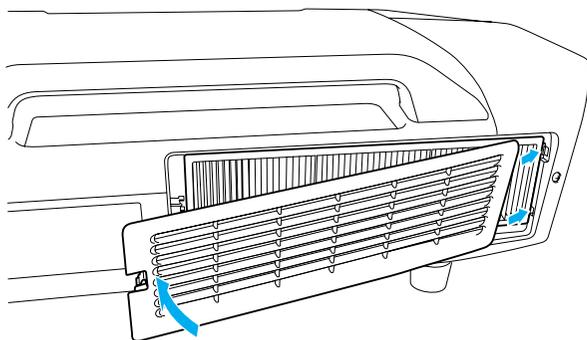
- 3 エアフィルターを取り出します。



- 4 新しいエアフィルターを取り付けます。



- 5** エアフィルターカバーを取り付けます。
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

枠部分の材質：ポリプロピレン

フィルター部分の材質：ポリプロピレン

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。

近くへの移動

以下の点を確認して、ハンドルを持って静かに移動してください。

- 本機の電源を切り、すべての配線を外してください。
- レンズにカバーを取り付けてください。

注意

本機は重いので、1人で運ばないでください。
開梱や移動の際は2人以上で運んでください。

輸送する場合

梱包の準備

上記の「近くへの移動」の確認点に加えて、以下の準備を行ってから梱包してください。

- 標準ズームレンズ以外のオプションレンズを装着しているときは、レンズユニットを取り外してください。レンズ付きモデルの場合は、標準ズームレンズを取り付けてください。レンズなしモデルの場合は、購入時に本機のレンズ装着部に付いていたカバーを取り付けてください。
- レンズシフトを上下、左右とも中央に設定してください。
- 購入時にセットされていたレンズ保護パッドを装着してください。

梱包と輸送の注意

運送業者(宅配業者他)にご相談のうえ、本機に衝撃が伝わらないように本機の周囲を保護し、堅固なダンボール箱に入れ、精密機器であることを告げて輸送を依頼してください。



監視と制御

ここでは、本機を監視・制御するための機能について説明しています。

EasyMP Monitorを使うと、ネットワーク上の複数のエプソンプロジェクターの状態をコンピューターのモニターに表示して確認したり、コンピューターから制御したりできます。

EasyMP Monitorは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/download/>

EasyMP Monitorでできる監視・制御の概要は次のとおりです。

● 監視・制御するプロジェクターの登録

ネットワーク上のプロジェクターを自動検索し、検出された中から登録するプロジェクターを選ぶことができます。

目的のプロジェクターのIPアドレスを入力し登録できます。

● 登録したプロジェクターのうち、一括して監視・制御するものをまとめてグループ登録できます。

● 登録したプロジェクターの状態監視

プロジェクターの電源の状態(オン/オフ)や異常・警告などの対処が必要な状態になっていないかなどをアイコンで視覚的に確認できます。気になるグループまたは特定のプロジェクターを選択して、ランプの累積点灯時間や選択されている入力ソース、異常・警告の内容などの詳細情報を確認できます。

● 登録したプロジェクターの制御

グループ単位で一括して、あるいは特定のプロジェクターだけを選んで電源の状態(オン/オフ)を切り替えたり、入力ソースを切り替えたりできます。

Web制御機能を使いプロジェクターの環境設定メニューの設定を変更できます。

タイマー設定で決まった日時に定例の制御を行えます。

● メール通知機能の設定

登録したプロジェクターに異常などの対処が必要な状態が発生した場合に、それらの状態がメールで通知されるようにメールアドレスなどの設定ができます。

● 登録したプロジェクターへのメッセージ送信

EasyMP MonitorのプラグインMessage Broadcastingを使って、登録したプロジェクターへJPEGファイルを同時に送信できます。 ● p.120

プロジェクターとネットワーク接続したコンピューターのWebブラウザを利用して、プロジェクターの環境設定メニューと同様の設定や制御が行えます。この機能を使えば、プロジェクターから離れた場所から、設定や制御の操作ができます。また、キーボードを使って設定内容を入力できるので、証明書の設定など文字の入力を伴う設定も容易にできます。

Webブラウザは、Microsoft Internet Explorer6.0以降を使用してください。Mac OSをお使いの場合は、SafariやFirefoxを使用してください。



- 無線LANで接続するときは、マニュアルモードで接続してください。☞ p.63
- プロジェクターの環境設定メニューの**拡張設定 - 待機モードを通信オン**に設定しておくこと、プロジェクターがスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、Webブラウザを使った設定や制御ができます。☞ p.57

Web制御を表示する

以下の手順で、Web制御を表示します。



- ご使用のWebブラウザで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、Web制御を表示できません。表示したい場合は、プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。
- セキュリティ設定をWeb制御で使うときは、セキュアHTTPをオンに設定することを推奨します。☞ p.71、「[セキュアHTTPについての注意](#)」

操作

- 1 コンピューターでWebブラウザを起動します。

2

Webブラウザのアドレス入力部に、プロジェクターのIPアドレスを入力し、コンピューターのキーボードの「Enter」キーを押します。

Web制御が表示されます。

プロジェクターの環境設定メニューのネットワークメニューでWeb制御パスワードを設定しているときは、パスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名には**EPSONWEB**と入力してください。パスワードにはWeb制御パスワードで設定した文字を入力してください。パスワードの初期値は**admin**です。

Web Remoteを表示する

Web Remote機能では、プロジェクターのリモコンと同様の操作をWebブラウザで行うことができます。

操作

1

Web制御を表示します。☞ 「[Web制御を表示する](#)」 p.107

2

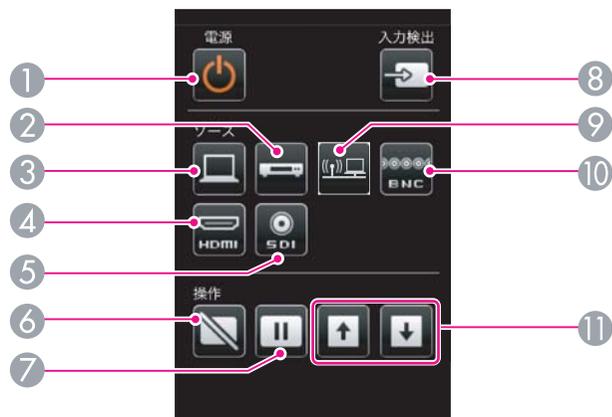
Web Remoteをクリックします。

例: コンピューターのWebブラウザ



3

Web Remote画面が表示されます。



名称	働き
① [⏻]ボタン	本機の電源をオン/オフします。
② [ビデオ]ボタン	クリックするたびに入力ソースが ビデオ 、 s-ビデオ に切り替わります。
③ [コンピューター]ボタン	入力ソースが コンピューター に切り替わります。
④ [HDMI]ボタン	クリックするたびに入力ソースが HDMI1 、 HDMI2 に切り替わります。
⑤ [SDI]ボタン	入力ソースが SDI に切り替わります。(EB-Z8455WU/Z8450WUのみ)
⑥ [シャッター]ボタン	映像を一時的に消去/解除します。☞ p.32
⑦ [静止]ボタン	映像を一時停止/解除します。☞ p.32
⑧ [入力検出]ボタン	次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えます。☞ p.19
⑨ [LAN]ボタン	入力ソースが LAN に切り替わります。
⑩ [BNC]ボタン	入力ソースが BNC に切り替わります。
⑪ [ページ]ボタン [↑][↓]	ネットワークを介して本機と接続しているコンピューターからの映像を投写しているときに、Page UP/Page Downの操作ができます。

Lens Controlを表示する

Lens Control機能では、プロジェクターのレンズ操作をWebブラウザーで行うことができます。

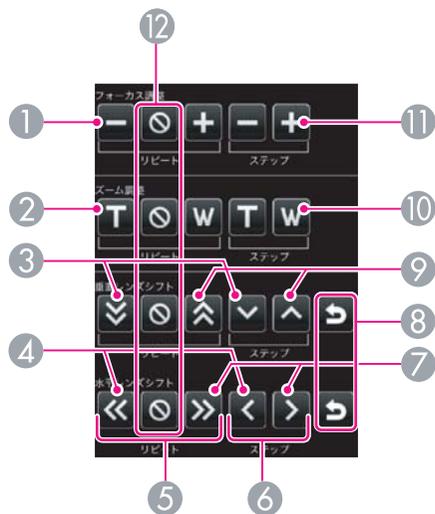
操作

- 1 Web制御を表示します。☞ 「Web制御を表示する」 p.107
- 2 Lens Controlをクリックします。

例: コンピューターのWebブラウザー



- 3 Lens Control画面が表示されます。



名称	働き
① [縮小]ボタン	ピントを調整します。
② [テレ]ボタン	投写サイズを変えずに映像を縮小します。
③ [下]ボタン	レンズを下方方向にシフトします。
④ [左]ボタン	レンズを左方向にシフトします。
⑤ [リピート]ボタン	ボタンを押すと、[停止]ボタンを押すまで調整し続けます。
⑥ [ステップ]ボタン	ボタンを押すごとに1段階ずつ調整できます。
⑦ [右]ボタン	レンズを右方向にシフトします。
⑧ [シフト初期化]E{E^E}	レンズシフトを初期の状態に戻します。
⑨ [上]ボタン	レンズを上方向にシフトします。
⑩ [ワイド]ボタン	投写サイズを変えずに映像を拡大します。
⑪ [拡大]ボタン	ピントを調整します。
⑫ [停止]ボタン	調整を停止します。

証明書の設定をする

無線ネットワークの認証に使用する証明書の設定をWebブラウザで設定します。

無線LANのセキュリティー設定に用いるクライアント証明書、CA証明書や、セキュアHTTP機能のWebサーバー証明書をプロジェクターにインストールします。

操作

- ① Web制御を表示します。☛「Web制御を表示する」 p.107
- ② ネットワークメニュー - 管理者設定 - 証明書管理をクリックします。
- ③ 証明書管理画面が表示されます。

サブメニュー名	項目または設定値
クライアント証明書	更新/削除
	発行先
	発行者
	有効期限
CA証明書	更新/削除
	発行先
	発行者
	有効期限
自己署名証明書	更新/削除
	発行先
	発行者

サブメニュー名	項目または設定値
	有効期限
WEBサーバー証明書	更新/削除
	発行先
	発行者
	有効期限



証明書をインストールするときは、本機に対応した形式であることを確認してください。 ● 「サポートする証明書の仕様一覧」
p.175

セキュアHTTPについての注意

セキュアHTTPをオンにした場合は、プロジェクターとネットワーク接続したコンピューターのWebブラウザの間に、HTTPSプロトコルを用いたセキュリティーを自動的に適用します。この機能を用いることで、プロジェクターとWebブラウザとの間の通信をセキュアに保つことができます。

HTTPSプロトコルを用いた通信では、サーバー側の信頼性を証明する為に証明書を用います。プロジェクターは、自己署名証明書を内部で自動作成して通信します。この自己署名証明書は、コンピューターのWebブラウザから信頼性の検証が行えないため、Webブラウザからアクセスした時にサーバーの信頼性に関する警告が表示されますが、この警告は無視して下さい。

コンピューターのWebブラウザから検証可能なサーバー証明書を別途作成してプロジェクターにインストールすることで、この警告を抑止する事ができます。 ● 「サポートする証明書の仕様一覧」 p.175

プロジェクターの環境設定メニューで**メール通知機能**の設定をしておくと、プロジェクターが異常/警告状態になったとき、設定したメールアドレスに異常状態が電子メールで通知されます。これにより、離れた場所においてもプロジェクターの異常を知ることができます。☛ ネットワークメニュー - 管理者設定 - メール通知機能 [p.73](#)



- 送信先(宛先)は最大3つまで記憶でき、一括して送ることができます。
- プロジェクターに致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になった場合などは、メール送信できないことがあります。
- プロジェクターの環境設定メニューで**拡張設定 - 待機モードを通信オン**に設定しておくと、プロジェクターがスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、監視ができます。☛ [p.57](#)

異常通知メールの見方

メール通知機能を**オン**に設定していて本機が異常/警告状態になったときには、次のメールが送付されます。

差出人：メールアドレス1

メールタイトル：EPSON Projector

1行目：異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名

2行目：異常が生じたプロジェクターに設定されているIPアドレス

3行目以降：異常の内容

異常の内容は、1行に1つずつ記載されています。メッセージの示す内容は次表のとおりです。異常/警告の対処方法は「インジケータの見方」をご確認ください。☛ [p.82](#)

メッセージ	原因(異常/警告)
Clean Air Filter	エアフィルター清掃通知
Fan related error	ファン異常
High-speed cooling in progress	高温警告

メッセージ	原因(異常/警告)
Internal error	内部異常
Internal temperature error	内部高温異常 (オーバーヒート)
Lamp cover is open.	ランプカバー開放状態
Lamp out	ランプ異常
Lamp replacement notification	ランプ交換勧告
Lamp timer failure	ランプ点灯失敗
Low Air Flow	エアフィルター風量低下
Low Air Flow Error	フィルター風量低下異常
No-signal	ノーシグナル 本機に映像信号が入力されていません。 接続状態や、接続している機器の電源が入っているかを確認してください。
Power Err. (Ballast)	電源系異常(バラスト)
Sensor error	センサー異常

メッセージの最初に(+)や(-)が付きます。

(+)：本機に異常が発生した場合

(-)：本機の異常が対処された場合

プロジェクターの環境設定メニューで**SNMP**の設定をしておくと、プロジェクターが異常/警告状態になったとき、設定したコンピューターに異常状態が通知されます。これにより、離れた場所で集中管理している状態でもプロジェクターの異常を知ることができます。☛ [p.71](#)



- SNMPによる管理は、必ず、ネットワーク管理者などネットワークに詳しい人が行ってください。
- SNMP機能を使ってプロジェクターを監視するには、コンピューター側にSNMPマネージャープログラムがインストールされている必要があります。
- SNMPを使った管理機能は、無線LANのかんたんモードでは使用できません。
- 通知先のIPアドレスは2つまで登録できます。

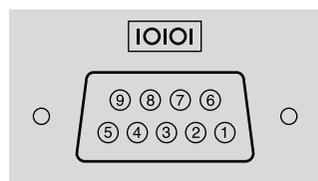
シリアル接続

- コネクタ形状：D-Sub 9pin(オス)
- プロジェクター入力端子名：RS-232C

<プロジェクター側>



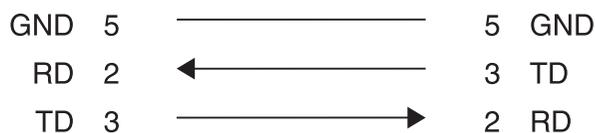
<コンピューター側>



<プロジェクター側>

(PCシリアルケーブル)

<コンピューター側>



信号名	機能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ

通信プロトコル

- ボーレート基準速度：9600bps

- データ長：8bit
- パリティ：なし
- ストップビット：1bit
- フロー制御：なし

コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。本機は電源オンの状態になったときにコロン ‘:’ (3Ah) を返信します。

このように本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後 ‘:’ を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に ‘:’ を返信しません。

項 目		コマンド	
電源のオン/オフ	オン	PWR ON	
	オフ	PWR OFF	
信号切り替え	コンピューター	オート	SOURCE 1F
		RGB	SOURCE 11
		コンポーネント	SOURCE 14
	BNC	オート	SOURCE BF
		RGB	SOURCE B1
		コンポーネント	SOURCE B4
HDMI1		SOURCE 30	
HDMI2		SOURCE A0	
SDI (EB-Z8455WU/Z8450WUのみ)		SOURCE 60	
ビデオ		SOURCE 45	

項 目		コマンド	
	S-ビデオ	SOURCE 42	
	LAN	SOURCE 53	
シャッターボタン	電動シャッター/ブランク	オン	MUTE ON
		オフ	MUTE OFF

各コマンドの最後に、復帰(CR)コード(0Dh)を追加して送信してください。

JBMIA(社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会)によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLink Class1が策定されました。

本機は、JBMIA が策定したPJLink Class1の規格に適合しています。

PJLink Class1で定義されているコマンドのうち、以下の内容を除く全コマンドに対応しており、PJLink 規格適合性検証で適合を確認しています。

URL : <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

● 非対応コマンド

機 能	PJLinkコマンド
映像ミュート設定	AVMT 11

● PJLinkで定義している入力名と本機の入カソースの対応

入力ソース	PJLinkコマンド
コンピューター	INPT 11
BNC	INPT 13
ビデオ	INPT 23
S-ビデオ	INPT 22
HDMI1	INPT 32
HDMI2	INPT 33
SDI (EB-Z8455WU/Z8450WUのみ)	INPT 34
LAN	INPT 52

- 「メーカー名問合せ」で表示するメーカー名
EPSON

- 「機種情報問合せ」で表示する機種名

EB-Z8450WU/Z8455WU/Z9750WU/B1575WU/PL Pro Z8450WU/Z8455WU

EB-Z8350W/Z8355W/Z9850W/B1585W/PL Pro Z8350W/Z8355W

EB-Z10000/Z10005/Z9900/B1500/PL Pro Z8250/Z8255

EB-Z8150/Z9800/PL Pro Z8150

Crestron RoomView®はCrestron®社が提供する統合コントロールシステムです。ネットワークで接続された複数の機器を一括して監視・制御できます。

本機はその制御用プロトコルに対応していますので、Crestron RoomView®で構築されたシステム環境下でご利用いただけます。

Crestron RoomView®の詳細は、Crestron®社のWebページを参照してください。(英語のみの表示となります。)

<http://www.crestron.com>

Crestron RoomView®の概要は次のとおりです。

● Webブラウザを利用した遠隔操作

コンピューターの画面上でリモコンと同様にプロジェクターを操作できます。

● アプリケーションソフトを利用した監視・制御

Crestron®社が提供するアプリケーションソフトCrestron RoomView® Express/Crestron RoomView® Server Editionでシステム内の機器の監視、ヘルプデスクとの通信、緊急時のメッセージ送信を行えます。詳細は以下のWebページを参照してください。

<http://www.crestron.com/getroomview>

本書では、Webブラウザを利用してコンピューターの画面上で本機を操作する方法を説明します。



- 文字入力に使用できるのは半角英数字と記号のみです。
- Crestron RoomView®使用中は、以下の機能はご利用になれません。
Web制御  p.107
Message Broadcasting (EasyMP Monitorのプラグイン)
- プロジェクターの環境設定メニューで**拡張設定 - 待機モードを通信オン**に設定しておく、プロジェクターがスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、制御ができます。  p.57

コンピューターの画面上でプロジェクターを操作する

操作画面を表示する

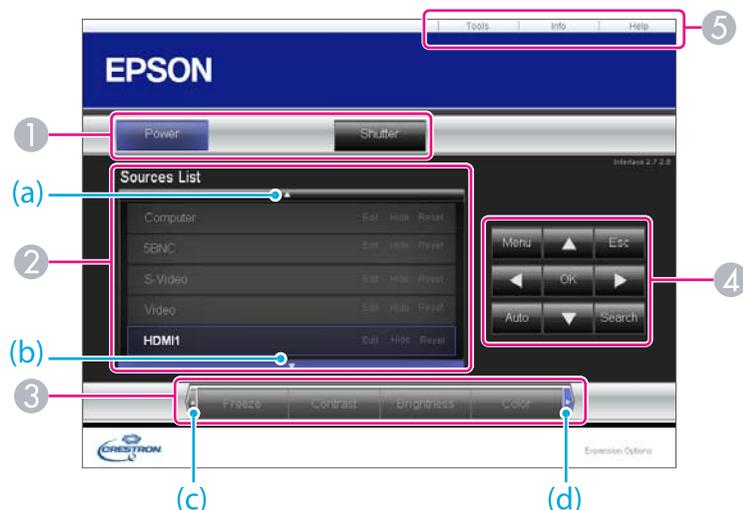
操作の前に以下の点をご確認ください。

- コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。無線LANで接続するときは、マニュアルモードで接続してください。  p.63
- ネットワークメニューの**管理者設定**メニューで**Crestron RoomView**を**オン**に設定しておきます。設定の変更は、本機を再起動したときに有効になります。  p.71

操作

- ① コンピューターでWebブラウザを起動します
- ② Webブラウザのアドレス入力部に、プロジェクターのIPアドレスを入力して、キーボードの[ENTER]キーを押します。
操作画面が表示されます。

操作画面の使い方



- ① 各ボタンをクリックすると、以下の操作を行えます。

ボタン	機能
Power	電源をオン/オフします。
Shutter	スクリーンの映像を消して聴衆を話しに集中させたいときや、ファイルの切り替え操作などを見せたくないときに使います。☛ p.32

- ② クリックした入力ソースの映像に切り替わります。画面に表示されていない入力ソースは(a)、(b)をクリックして上下にスクロールすると表示されます。ソース名は任意で変更できます。
- ③ 各ボタンをクリックすると、以下の操作を行えます。画面に表示されていないボタンは(c)、(d)をクリックして左右にスクロールすると表示されます。

ボタン	機能
Freeze	映像を一時停止/解除します。☛ p.32
Contrast	映像の明暗の差を調整します。
Brightness	映像の明るさを調整します。
Color	映像の色の濃さを調整します。
Sharpness	映像のシャープ感を調整します。
Zoom	[Q]ボタンをクリックすると、投写サイズを変えずに映像を拡大します。[Q]ボタンをクリックすると、[Q]ボタンで拡大した結果を縮小します。[▲][▼][◀][▶]ボタンで拡大表示する位置を移動します。☛ p.33

- ④ [▲][▼][◀][▶]ボタンをクリックするとリモコンの[◉]ボタンと同様の操作を行えます。その他のボタンをクリックすると以下の操作を行えます。

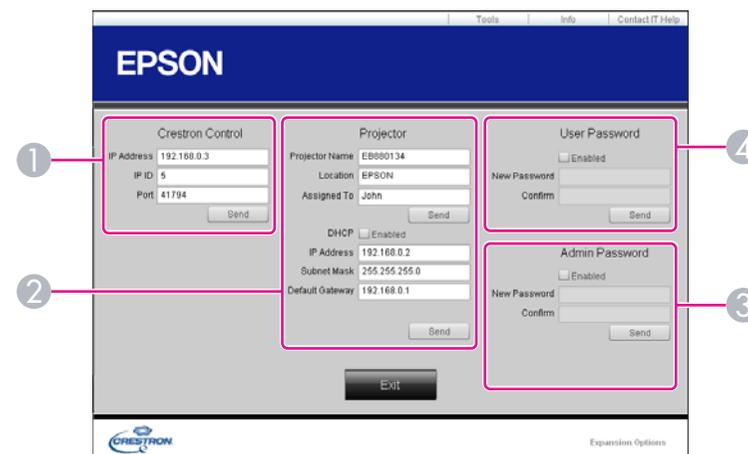
ボタン	機能
OK	リモコンの[決定]ボタンと同じ操作を行えます。☛ p.14
Menu	環境設定メニューを表示/終了します。
Auto	コンピューターのアナログRGB信号を投写しているときにクリックすると、最適に映るようにトラッキング・同期・表示位置が自動調整されます。
Search	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。☛ p.19
Esc	リモコンの[戻る]ボタンと同じ操作を行えます。☛ p.14

- ⑤ 各タブをクリックすると以下の操作を行えます。

タブ	機能
Contact IT Help	Help Deskウィンドウが表示されます。Crestron RoomView®Expressを利用する管理者に対して、メッセージの送受信を行えます。
Info	現在接続しているプロジェクターの情報を表示します。
Tools	現在接続しているプロジェクターに対して設定の変更を行います。次項を参照してください。

Tools画面の使い方

操作画面で**Tools**タブをクリックすると以下の画面が表示されます。現在接続しているプロジェクターに対して設定の変更を行えます。



- 1 Crestron Control**
 Crestron® の集中制御コントローラーに対する各設定を行います。
- 2 Projector**
 以下の項目を設定できます。

項目名	機能
Projector Name	現在接続しているプロジェクターを、ネットワーク上で識別するための個別の名前を任意に入力します。(半角英数字15文字以内)
Location	現在接続しているプロジェクターの設置場所名を任意で入力します。(半角英数字記号32文字以内)
Assigned To	プロジェクターの利用者名を任意で入力します。(半角英数字記号32文字以内)
DHCP	DHCPを使用するときは、 Enable にチェックを入れます。チェックを入れると以降のアドレスの設定はできなくなります。
IP Address	現在接続しているプロジェクターに割り当てるIPアドレスを入力します。

項目名	機能
Subnet Mask	現在接続しているプロジェクターのサブネットマスクを入力します。
Default Gateway	現在接続しているプロジェクターのゲートウェイアドレスを入力します。
Send	Projector で変更した内容を確定するときにクリックします。

項目名	機能
Confirm	New Password で入力したパスワードを入力します。一致しないときは、エラーが表示されます。
Send	User Password で変更した内容を確定するときにクリックします。

③ Admin Password

Tools画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは、**Enable**にチェックを入れます。
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
New Password	Tools画面を開くときに入力するパスワードを変更するときは、新しいパスワードを入力します。(半角英数字26文字以内)
Confirm	New Password で入力したパスワードを入力します。一致しないときは、エラーが表示されます。
Send	Admin Password で変更した内容を確定するときにクリックします。

④ User Password

コンピューター上で操作画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは、**Enable**にチェックを入れます。
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
New Password	操作画面を開くときに入力するパスワードを変更するときは、新しいパスワードを入力します。(半角英数字26文字以内)

Message BroadcastingはEasyMP Monitor用のプラグインソフトです。

Message Broadcastingを使うと、ネットワーク接続されたすべてのエプソンプロジェクター、または指定したプロジェクターにメッセージ(JPEGファイル)を送信し、投写することができます。

データは手動で送信したり、EasyMP Monitorのタイマー機能を使って自動的に送信することができます。

Message Broadcastingは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

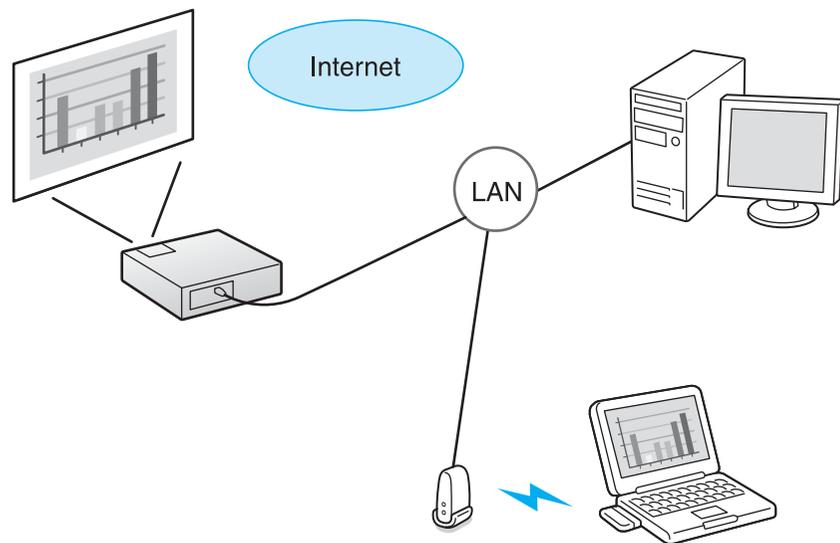
<http://www.epson.jp/download/>



ネットワーク関連機能

ここでは、ネットワークに関する補足的な機能について説明しています。

「ネットワークプロジェクターへの接続」はWindows Vista/Windows 7に標準搭載の機能です。特別なアプリケーションソフトをインストールしなくてもOSが持つ機能だけでネットワーク上のプロジェクターを検出してコンピューター画面の映像を投写できます。



対応OS

Windows Vista: Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate
Windows 7: Professional/Ultimate

ここでは、「ネットワークプロジェクターへの接続」の使い方を簡単に説明します。

本機とコンピューターがネットワークに接続されていることを確認して、以下の操作を行います。

操作

- 1 本機の電源を入れ、入力ソースをLANに切り替えます。☛「投写映像を切り替える」 p.19
- 2 コンピューターでWindowsを起動し、「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「ネットワークプロジェクターへの接続」の順に選択します。
接続設定画面が表示されます。
自動でプロジェクターを検出する方法と、IPアドレスを入力して検出する方法があります。
- 3 検出結果から目的のプロジェクターを選択して「接続」をクリックします。
プロジェクターのパスワードを問い合わせる画面が表示されたときは、本機のLAN待機画面の下に表示されているキーワードを入力してください。



- 1台のコンピューターから接続できるプロジェクターは1台のみです。
- Windowsミーティング スペースのオプションからネットワークプロジェクターを実行するときは、お使いのコンピューターの画面の色を最高(32ビット)に設定してください。32ビットになっていないとメッセージが表示され接続することができません。

WPSの設定には以下の2通りの方式があります。

- **プッシュボタン方式**
本機操作パネルの[Enter]ボタンとアクセスポイント機器に搭載されている専用ボタンを押せば、SSIDとセキュリティの設定が自動的に行われます。プロジェクターとアクセスポイントが近くにあるときはこの方式が向いています。
- **PINコード方式**
プロジェクターにあらかじめ割り振られている8桁の数字をコンピューターを介してアクセスポイント機器へ入力することで、SSIDとセキュリティの設定が自動的に行われます。コンピューターとアクセスポイント間は、事前に接続設定しておきます。接続方法はアクセスポイント機器の取扱説明書でご確認ください。プロジェクターを天吊り設置しているときは、この方式が向いています。



WPS以外の接続方法は、アクセスポイント機器の取扱説明書、ならびに次を参照してください。☞「無線LANメニュー」 p.63



ネットワーク設定画面が表示されます。



「無線LAN」 - 「設定ウィザードへ」を選びます。



以下の画面が表示されます。

接続設定の方法

操作

- 1 本機で投写中に[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから「ネットワーク」 - 「ネットワーク設定画面へ」を選びます。



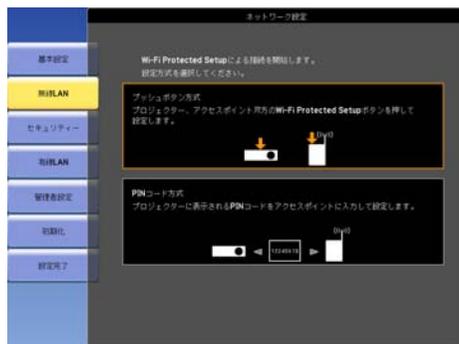
プッシュボタン方式で接続するときは、続く手順に従って操作してください。

PINコード方式で接続するときは、「PINコード方式で接続する」に進んでください。  p.125

プッシュボタン方式で接続する

操作

① 「プッシュボタン方式」を選びます。



「プッシュボタン方式」画面が表示されます。

② 画面の指示に従って本機操作パネルの[Enter]ボタンを押します。



引き続き「プッシュボタン方式」画面が表示されます。

③ 画面の指示に従ってアクセスポイント機器のボタンを押します。



設定が完了します。

④ [決定]ボタンまたは[戻る]ボタンを押します。
無線LANメニューの画面に戻ります。

⑤ 「設定完了」 - 「はい」を選びます。



以上でプロジェクターとアクセスポイント間の接続が完了しました。[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。



「PINコード方式」画面が表示されます。

PINコード方式で接続する



PINコード方式で接続する前に、コンピューターとアクセスポイント機器の接続設定をしておきます。

操作

1

「PINコード方式」を選びます。

2

「PINコード方式」画面に表示されているPINコードをコンピューターからアクセスポイント機器に入力し「設定スタート」を選びます。



進行状況が表示されます。



- ③ 「Wi-Fi Protected Setup による設定が完了しました。」と表示されたら[決定]ボタンまたは[戻る]ボタンを押します。
無線LANメニューの画面に戻ります。

- ④ 「設定完了」 - 「はい」を選びます。



以上でプロジェクターとアクセスポイント間の接続が完了しました。
[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。



設置と接続

ここでは、本機の設置方法や、他の機器との接続方法について説明しています。

本機は、次の例のように天井に取り付ける天吊り設置や机の上に設置して投写できます。また、斜め方向にも投写できますので、多様な場所に自由に投写できます。

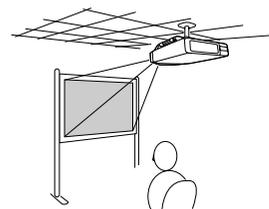
警告

- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下・転倒によりけがや事故の原因となります。お買い求めいただいた販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先にご相談ください。☞『[お問い合わせ先](#)』
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。
- 天吊り設置時は、必ずハンドル部分にワイヤを掛ける等の落下防止対策を行ってください。

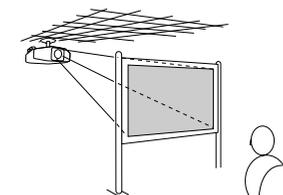
注意

- 天地逆さまにして底面を上に向けて投写することはできません。
- 設置する角度により環境設定メニューの設置角度を正しく設定してください。☞ [p.57](#)
- 決められた角度以外で設置をしたり、環境設定メニューの設定が正しくないと、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。

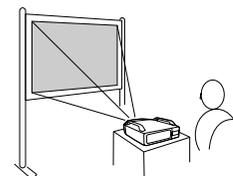
- 天吊りして正面から投写する



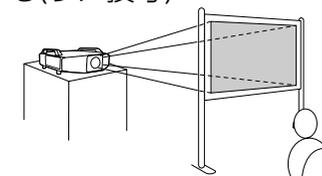
- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する



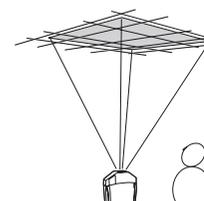
- 正面から投写する(フロント投写)



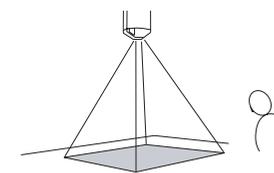
- リアスクリーンへ裏側から投写する(リア投写)



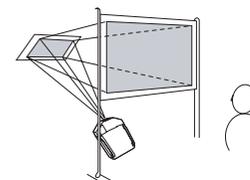
- 真上に投写する



- 真下に投写する



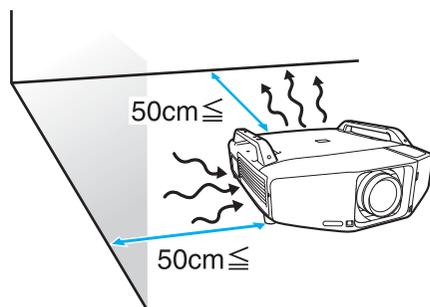
- 斜めに投写する





- 天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。
☛ 「オプション・消耗品一覧」 p.168
- 設置モードを変更するには環境設定メニューで行います。
☛ p.57

本機を設置する際は、排気口や吸気口を壁などから十分に離してお使いください。



本機に外部機器を接続するときは、以下の点にご注意ください。また、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。

注意

- 本機と接続機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。

外部機器の接続は、インターフェイスカバーを外してから行います。☞「インターフェイスカバーの取り付け、取り外し」 p.164

コンピューターとの接続

コンピューターと本機の接続例は以下のとおりです。コンピューターの端子名やケーブル名は、お使いのものと異なることがあります。

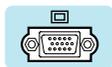
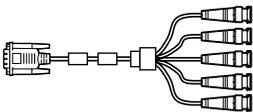
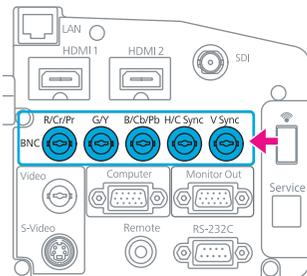


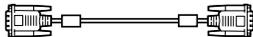
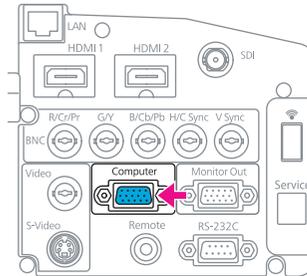
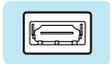
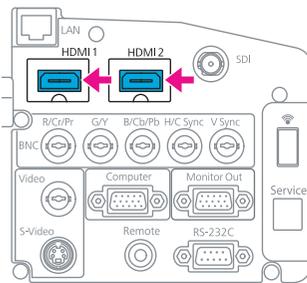
ネットワークを介して接続しているコンピューターの映像を投写するときは、次を参照してください。

本機に添付のアプリケーションソフトEasyMP Network Projectionで投写する ☞『EasyMP Network Projection操作ガイド』

本機に添付のアプリケーションソフトEasyMP Multi PC Projectionで投写する ☞『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』

Windows Vista/Windows 7に搭載の「ネットワークプロジェクターへの接続」を使って投写する ☞ p.122

	コンピューターの端子	接続ケーブル	プロジェクターの端子
接続1	モニター出力端子 	5BNCディスプレイケーブル(市販品) 	BNC入力端子 

	コンピューターの端子	接続ケーブル	プロジェクターの端子
接続2	モニター出力端子 	コンピューターケーブル(同梱品) 	Computer入力端子 
接続3	HDMI出力 	HDMIケーブル(市販品) 	HDMI1/2入力端子 



HDMIケーブルは、HDMI規格に適合しているものをお使いください。

ノート型コンピューターの映像出力切り替え

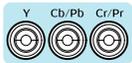
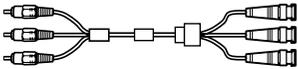
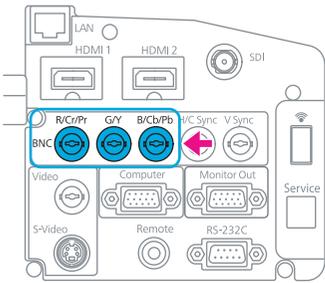
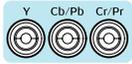
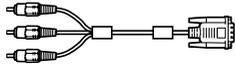
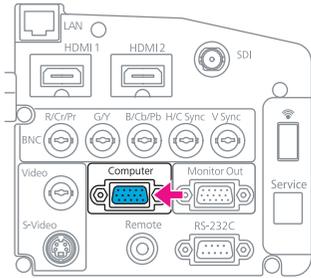
ノート型コンピューターをコンピューターケーブルで本機に接続して投写するときは、コンピューター側で映像信号の出力先を切り替えます。映像出力の切り替え方法は、お使いのコンピューターに添付の取扱説明書を参照してください。

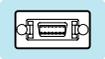
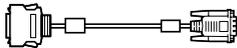
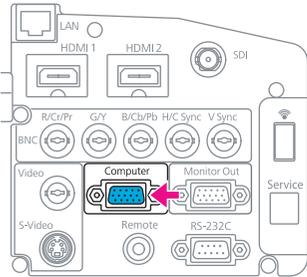
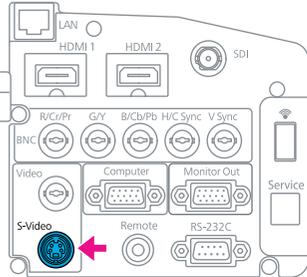
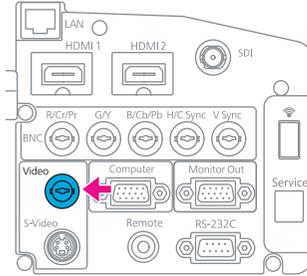
- 映像出力切り替えの例(Windows搭載のコンピューターの場合)

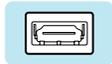
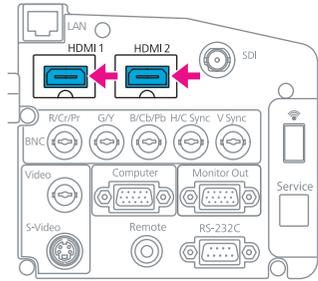
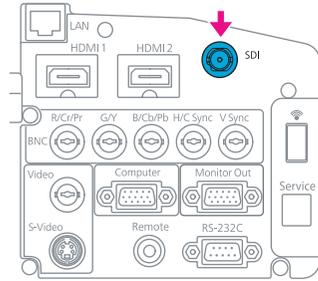
お使いのコンピューターの[Fn]キーを押したまま、CRT/LCDまたは 昌/□ などの表記のあるファンクションキーを押します。お使いのコンピューターのディスプレイに映像が表示されないときは、再び同じキー操作を行います。

ビデオ映像機器との接続

ビデオ映像機器と本機の接続例は以下のとおりです。映像機器の端子名やケーブル名は、お使いのものと異なることがあります。

	ビデオ映像機器の端子	接続ケーブル	プロジェクターの端子
接続1	コンポーネント出力 	コンポーネントビデオケーブル(RCA)(市販品)+BNC/RCAアダプター(市販品) 	BNC入力端子(R/Cr/Pr, G/Y, B/Cb/Pb) 
接続2	コンポーネント出力 	コンポーネントケーブル(D-sub/コンポーネント変換)(オプション品) 	Computer入力端子 

	ビデオ映像機器の端子	接続ケーブル	プロジェクターの端子
接続3	D1～D4出力 	D端子ケーブル(ミニD-Sub 15pin/D端子用) (オプション品) 	Computer入力端子 
接続4	S映像出力 	S-ビデオケーブル(市販品) 	S-Video入力端子 
接続5	映像出力 	BNCビデオケーブル(市販品) 	Video入力端子 

	ビデオ映像機器の端子	接続ケーブル	プロジェクターの端子
接続6	HDMI出力 	HDMIケーブル(市販品) 	HDMI1/2入力端子 
接続7※	SDI出力 	BNCビデオケーブル(市販品) 	SDI入力端子 

※ EB-Z8455WU/Z8450WUのみ



- 接続している機器の信号に応じて、映像メニューの入力信号方式またはビデオ信号方式を設定してください。  p.53
- HDMIケーブルは、HDMI規格に適合しているものをお使いください。

テストパターンを表示する

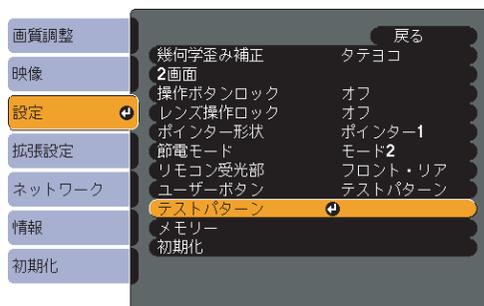
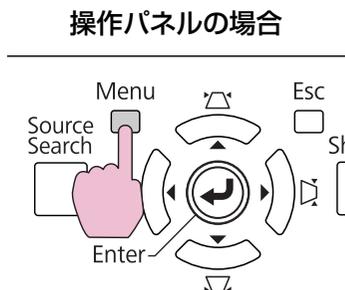
テストパターンを表示させると、映像機器を接続せずに投写状態を調整できます。プロジェクターを設置するときに便利です。



リモコンの[ユーザー]ボタンをテストパターンに設定しているときは、[ユーザー]ボタンを押すとテストパターンが表示されます。(初期値はテストパターンに設定されています。)

操作

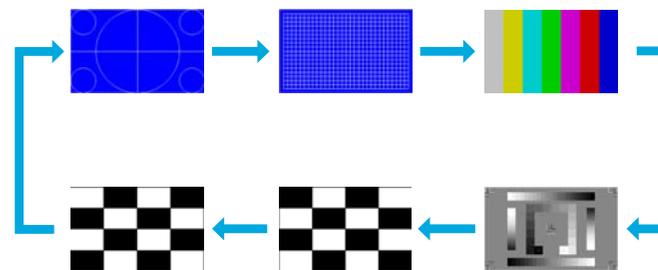
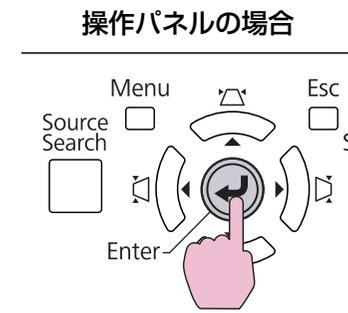
- 1 本機で投写中に[メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押します。設定メニュー - 「テストパターン」を選択して[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。



2

リモコンの[Enter]ボタンを[→]方向に押す、または操作パネルの[Enter]ボタンを押してテストパターンを切り替えます。

ひとつ前のテストパターンを表示するときは、リモコンの[Enter]ボタンを[←]方向に押します。



テストパターン表示中は、以下の調整を行えます。

トップメニュー名	サブメニュー名/項目	
画質調整メニュー	カラーモード p.27	
	絶対色温度	
	アドバンスト	
	- ガンマ※1 p.144	
	- RGB	
	- RGBCMY p.144	
	オートアイリス	
	初期化	

トップメニュー名	サブメニュー名/項目
映像メニュー	自動調整
設定メニュー	幾何学歪み補正 p.137
拡張設定メニュー	マルチプロジェクション - 明るさレベル*2 - エッジブレンディング p.153 - マルチスクリーン p.155

※1 カスタムガンマ設定は除く

※2 EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350W/Z10005/Z10000のみ



テストパターンを表示中に設定できないメニュー項目の設定や、投写映像の細かい調整は、接続機器からの映像を投写して行ってください。

3

[戻る]ボタンまたは[Esc]ボタンを押してテストパターンの表示を終了します。

投写映像の位置調整(レンズシフト)

スクリーンの正面に本機を設置できないときや、映像の位置を調整したいときは、レンズシフトを使い映像の位置を上下左右に移動できます。

操作

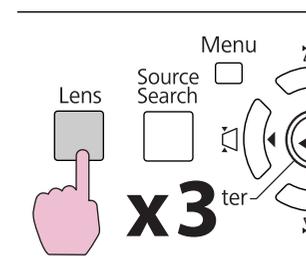
1

リモコンの[レンズシフト]ボタンを押します。本体の操作パネルを使用する場合は、[Lens]ボタンを3回押します。

リモコンの場合



操作パネルの場合



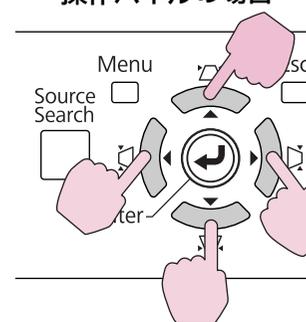
2

リモコンの[方向]ボタンまたは本体操作パネルの[△/▲] [▽/▼] [◀/◂] [▶/▸]ボタンで投写映像の位置を合わせます。

リモコンの場合



操作パネルの場合



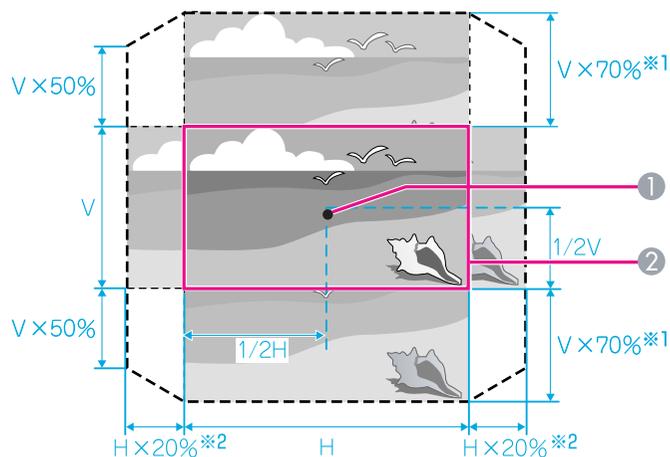
ボタンを押し続けると連続して移動します。

上下左右とも、レンズシフト位置が中央に来ると移動が止まります。さらにレンズシフトしたいときは、一旦指を離して、再びボタンを押します。



レンズシフトを上下、左右とも中央に合わせたときがもっとも鮮明な映像となります。

レンズシフトで映像を移動できる範囲は、以下のとおりです。



※1 EB-Z10005/Z10000/Z8150はVx56%

※2 EB-Z10005/Z10000/Z8150はHx6%

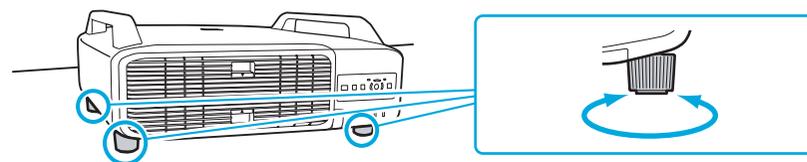
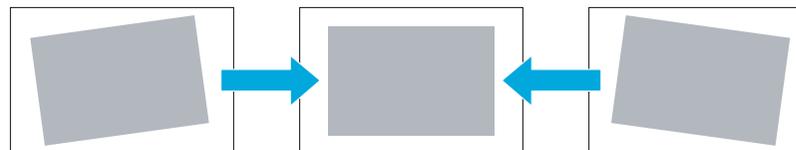
- ① レンズの中心
- ② レンズシフトを中央に設定したときの投写映像

映像の位置を上下、左右の両方とも最大値まで移動させることはできません。

例：映像を左または右いっぱいシフトしたときは、上下には画面の高さの50%まではシフトできます。映像を上または下いっぱいシフトしたときは、左右にはシフトできません。

投写映像の傾きを調整する

机上設置のときは、フロントおよびリアフットで本機の水平方向の傾きを調整します。



投写映像のゆがみを補正する

投写映像のゆがみを補正するには、以下の4通りの方法があります。

- Quick Corner
 スクリーンに合わせて投写映像の4つのコーナーを個別に補正します。
 「Quick Corner」 [p.138](#)
 正確に台形補正を行うときは、Quick Cornerで行うことをお勧めします。
- タテヨコ補正
 タテ方向の台形ゆがみ、ヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。
 タテヨコ補正は、本体操作パネルの[▽/▲] [□/▼] [⏪/⏩] [⏴/⏵]ボタンで簡単に補正できます。 「タテヨコ補正」 [p.140](#)

- 弓型補正
スクリーンのたるみや縮みによる湾曲した映像のゆがみを微調整できます。☞「弓型補正」 p.141
- ポイント補正
部分的に発生するわずかなゆがみを補正したり、本機を複数台並べて投写するとき映像の重なり合う部分の位置を調整します。☞「ポイント補正」 p.151

Quick Corner、タテヨコ補正、弓型補正、ポイント補正は併用できません。環境設定メニューの**幾何学歪み補正**で使用する補正方法を選択します。初期設定では**幾何学歪み補正**が**タテヨコ**に設定されているので[△/▲] [□/▼] [◀/▶] [↶/↷]ボタンを押すとタテヨコ補正が実行されます。

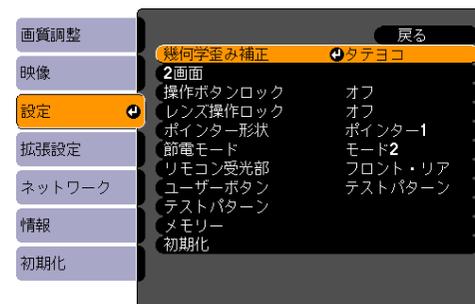
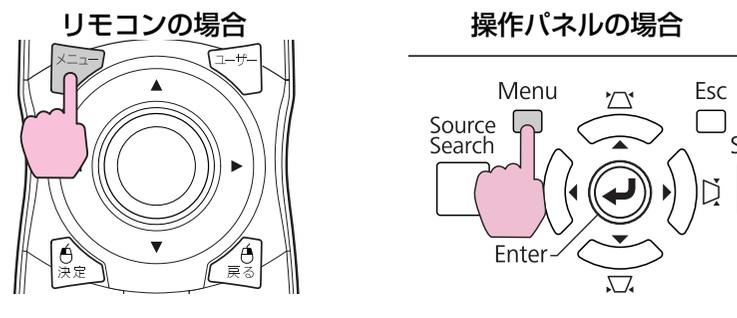
Quick Corner、タテヨコ、弓型補正、ポイント補正はテストパターン投写中にも実行できるので、準備作業にコンピューターなどの接続が不要です。

Quick Corner

操作

1

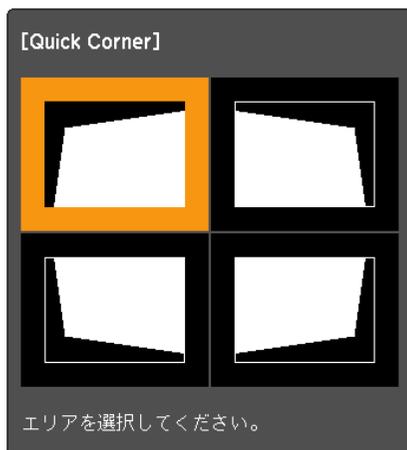
本機で投写中に[メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押します。設定メニュー - 「幾何学歪み補正」を選択し[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。☞「環境設定メニューの操作」 p.47



2

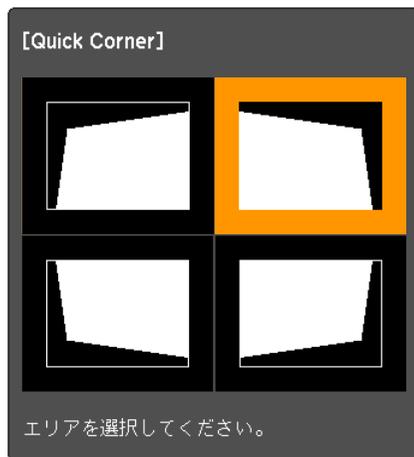
「Quick Corner」を選択し[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。

もう一度[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押すと、次の4つのコーナーを選択する画面が表示されます。

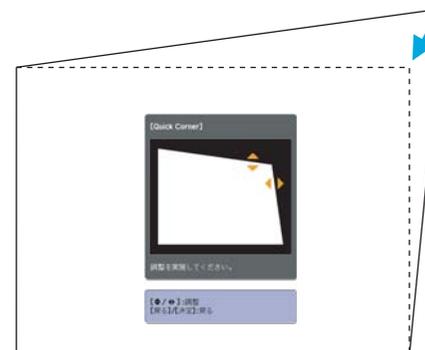


[◀/▶]: 選択
 [決定]: 決定
 [戻る]: 戻る(2秒間押下で初期化)

- ③ 補正するコーナーをリモコンの[◉]ボタンまたは操作パネルの[△/▲] [▽/▼] [◀/▶] [↶/↷]ボタンで選択して[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。



- ④ リモコンの[◉]ボタンまたは操作パネルの[△/▲] [▽/▼] [◀/▶] [↶/↷]ボタンでコーナーの位置を補正します。



補正中に以下の画面が表示されたときは、グレーの三角で示す部分が補正量の限界に達したことを示しています。



- ⑤ 手順3と4を繰り返して、補正が必要なコーナーすべてを補正します。

6 補正を終了するには、[戻る]ボタンまたは[Esc]ボタンを押します。環境設定メニューの**幾何学歪み補正**で補正方法を**Quick Corner**に変更したので、以降は操作パネルの[▽/▲] [□/▼] [◀/▶] [↶/↷]ボタンを押すと、手順2のコーナーを選択する画面が表示されます。操作パネルの[▽/▲] [□/▼] [◀/▶] [↶/↷]ボタンを押したときにタテヨコ補正したいときは、環境設定メニューの**幾何学歪み補正**を**タテヨコ**に変更してください。  p.55



Quick Cornerで補正中に[戻る]ボタンまたは[Esc]ボタンを約2秒間押し続けると、初期化実行確認画面が表示されます。

Quick Cornerで補正した結果を初期化する場合は「はい」を選択してください。

タテヨコ補正

操作

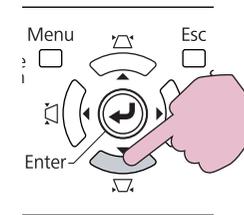
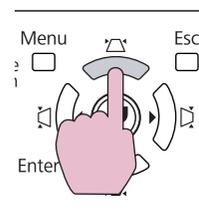
操作パネルの[▽/▲] [□/▼] [◀/▶] [↶/↷]ボタンを押して、タテ方向、ヨコ方向の台形補正をそれぞれ行います。



設定メニューの**幾何学歪み補正** - **タテヨコ**からも行えます。

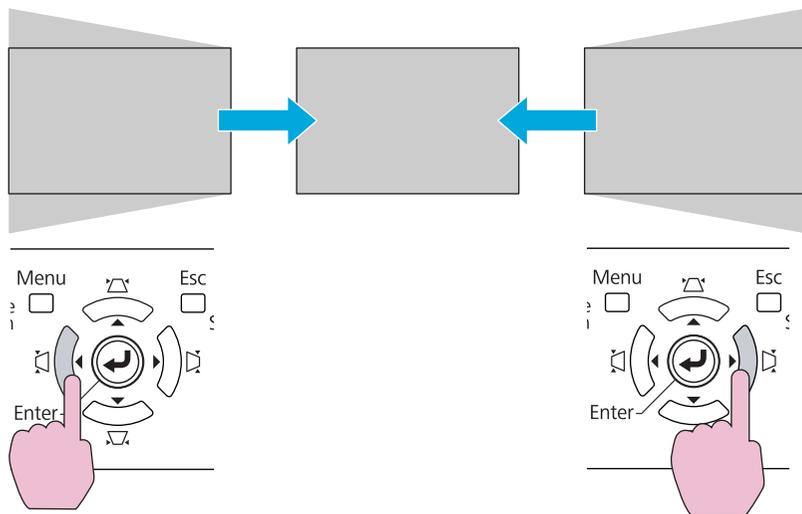
 p.55

- タテ方向の台形補正
スクリーンに対して本機の上下方向の傾斜角度が約30°までであれば補正できます。



[▽/▲] [□/▼]ボタンを同時に1秒以上押すと、初期状態に戻ります。

- ヨコ方向の台形補正
本機の左右方向の傾斜角度が約20°までであれば補正できます。



[Q/◀] [Q/▶]ボタンを同時に1秒以上押すと、初期状態に戻ります。



タテヨコ補正は、レンズシフト位置を以下の状態に行ってください。レンズシフト位置が以下と異なるときは正しく補正できません。☛「投写映像の位置調整(レンズシフト)」 p.136

- 左右レンズシフトを中央に合わせる。
- 上下レンズシフトを最上、または最下に合わせる。

ズームの調整値によっては正しく補正できないことがあります。また、補正を行うと投写画面サイズが小さくなる場合があります。設置の際は投写距離にご注意ください。

投写映像をスクリーンに正確に合わせたいときなど、細部の補正を行うときはQuick Cornerで補正します。☛「Quick Corner」 p.138

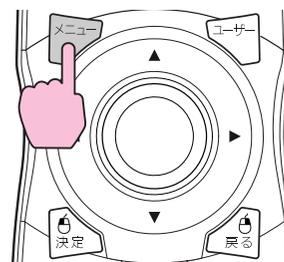
弓型補正

操作

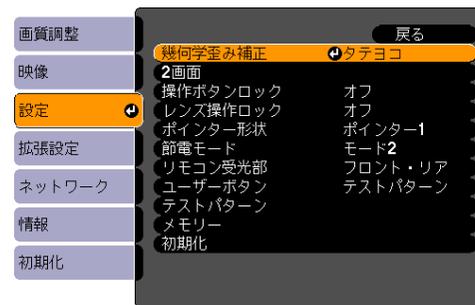
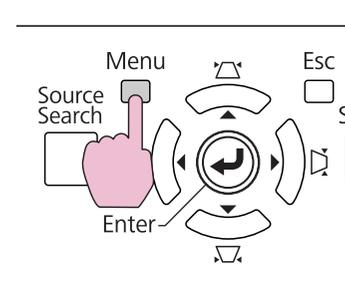
1

本機で投写中に[メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押します。設定メニュー - 「幾何学歪み補正」を選択し[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。☛「環境設定メニューの操作」 p.47

リモコンの場合



操作パネルの場合



2

「弓型補正」を選択し[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。もう一度[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押すと、次の8つの上下左右の辺と頂点を選択する画面が表示されます。



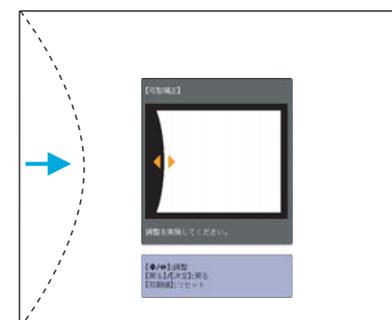
【◀/▶】: 選択
 【決定】: 決定
 【戻る】: 戻る(2秒間押下で初期化)

- 3 補正する箇所をリモコンの[⊙]ボタンまたは操作パネルの[△/▲] [▽/▼] [◀/▶] [↶/↷]ボタンで選択して[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。



頂点を選択すると、隣接する2つの辺を調整できます。

- 4 リモコンの[⊙]ボタンまたは操作パネルの[△/▲] [▽/▼] [◀/▶] [↶/↷]ボタンで辺の位置を補正します。



補正中に以下の画面が表示されたときは、グレーの三角で示す部分が補正量の限界に達したことを示しています。

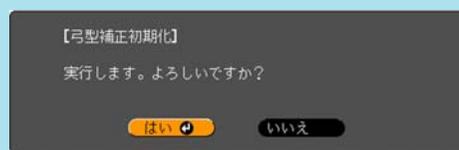


調整中に[初期値]ボタンを押すと、選択中の箇所が初期値に戻ります。

- 5 [戻る]ボタンまたは[Esc]ボタンを押して、前の画面に戻ります。
- 6 手順3～5を繰り返して、補正が必要な箇所すべてを補正します。
- 7 補正を終了するには、[戻る]ボタンまたは[Esc]ボタンを押します。



弓型補正で補正中に[戻る]ボタンまたは[Esc]ボタンを約2秒間押し続けると、初期化実行確認画面が表示されます。



弓型補正で補正した結果を初期化する場合は「はい」を選択してください。

色相・彩度・明度の調整

R(赤)G(緑)B(青)C(シアン)M(マゼンタ)Y(イエロー)の各色について、色相、彩度、明度を調整します。

次の順でメニューを表示します。

画質調整メニュー - アドバンスト - RGBCMY



色相	映像全体の色みを、青系～緑系～赤系へと調整します。
彩度	映像全体の鮮やかさを調整します。
明度	映像全体の色の明るさを調整します。



調整中に[初期値]ボタンを押すと、選択中の箇所が初期値に戻ります。

ガンマの調整

画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色を調整します。

設定方法は次の3つの方法があり、環境設定メニューで選択します。

設定方法	メニューの入り方
補正値を選んで調整する	画質 - アドバンスト - ガンマ
映像を見ながら調整する	画質 - アドバンスト - ガンマ - カスタム - 映像から調整する

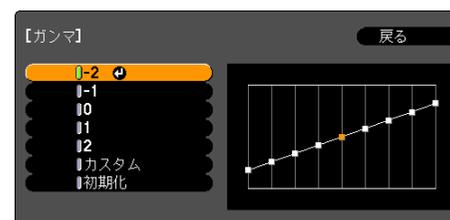
設定方法

ガンマ調整グラフで調整する

メニューの入り方

画質 - アドバンスト - ガンマ - カスタム - グラフから調整する

補正値を選んで調整する



数値が小さいほど、映像の暗い部分が明るくなりますが、明るい部分はつぶれぎみになります。数値が大きいと、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映像になります。



ガンマ調整グラフの横軸は入力信号レベルを、縦軸は出力信号レベルを表します。

画質調整メニューのカラーモードでDICOM SIMを選択したときは、150インチのスクリーンサイズを目安にお使いのスクリーンサイズに合わせて補正値を選択します。

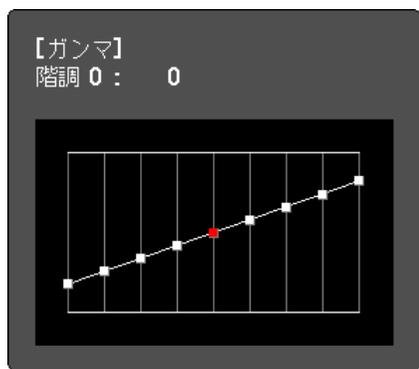
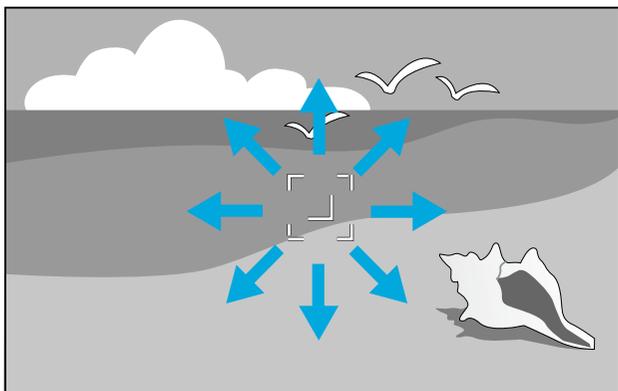
スクリーンサイズが150インチより小さいときは、大きい数値を選択します。逆にスクリーンサイズが150インチより大きいときは、小さい数値を選択します。



お使いの設置環境やスクリーンの仕様によっては、医用画像を正しく再現できない場合があります。

映像を見ながら調整する

投写中の映像に表示されるカーソルで明るさを変更したい場所を選んで調整します。



調整中に[初期値]ボタンを押すと、選択中の箇所が初期値に戻ります。

ガンマ調整グラフで調整する

ガンマ調整グラフを見ながら調整します。



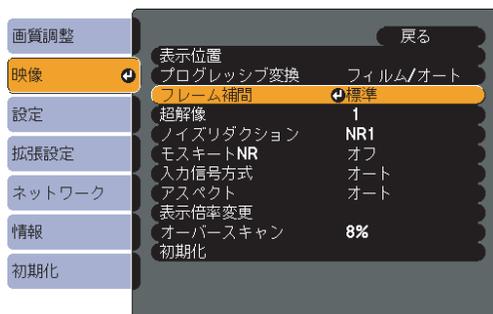
調整中に[初期値]ボタンを押すと、選択中の箇所が初期値に戻ります。

フレーム補間(EB-Z8455WU/Z8450WUのみ)

前後のコマから中間のコマを自動生成し補間することで、滑らかな映像にします。速い動きのある映像など、コマ飛びのような動きのぎこちなさが解消されます。

次の順でメニューを表示します。

映像メニュー - フレーム補間



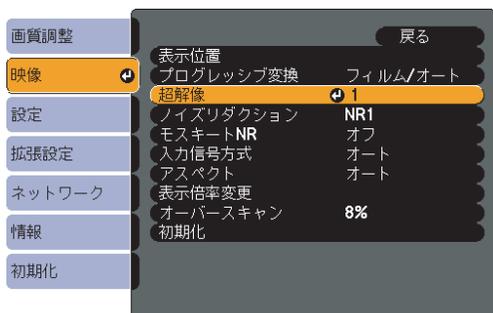
弱、標準、強で補間の加減を選択できます。設定変更後、ノイズなどが気になるときは、**オフ**に設定してください。

超解像

映像信号の解像度を拡大して投写するときに発生するエッジ部分などのボケを低減し、よりはっきりとした映像で表示するように処理します。

次の順でメニューを表示します。

映像メニュー - 超解像



映像によっては、エッジのノイズが強調されることがあります。ノイズなどが気になるときは、「0」に設定してください。



調整中に[初期値]ボタンを押すと、選択中の箇所が初期値に戻ります。

ノイズリダクション

ノイズリダクション機能には、以下の2種類があります。

- ノイズリダクション
- モスキートNR

ノイズリダクション

ノイズリダクション(映像のざらつきを抑える機能)に関する設定をします。

次の順でメニューを表示します。

映像メニュー - ノイズリダクション



DVDなど映像ソースにノイズが少ないときは**オフ**に設定してご覧ください。

モスキートNR

映像の色の変化が激しい輪郭部分に発生する波状のノイズを低減させます。

次の順でメニューを表示します。

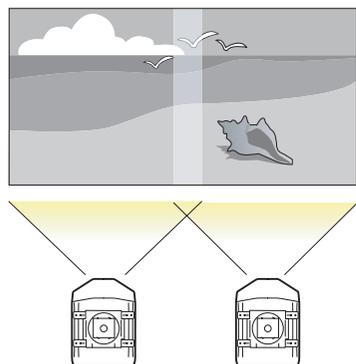
映像メニュー - モスキートNR



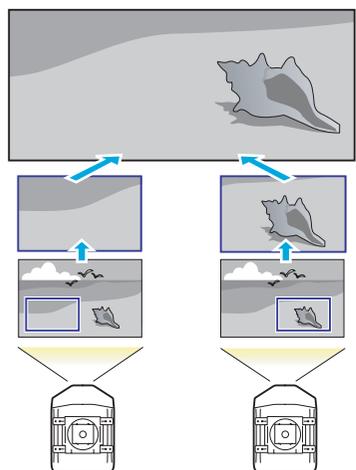
複数台のプロジェクターを並べてワイドな映像として投写するとき、プロジェクター間の明るさや色合いの個体差を調整したり、つなぎ目を目立たなくできます。

複数台のプロジェクターを並べて投写するには大きく分けて2種類の方法があります。

- Ⓐ それぞれのプロジェクターで、別々の画像を投写し、つなぎ目を目立たなくして投写する方法



- Ⓑ それぞれのプロジェクターで、同じ画を投写し、表示倍率変更機能を用いて大きな映像として投写する方法



準備の流れ

ここでは上記Ⓐを例にして説明を行います。(Ⓑのときも、基本の流れは同じですが、投写位置を合わせるときに表示倍率機能をつかいます。

☞ p.155)

1. プロジェクターID/リモコンIDの設定
2. 投写位置を合わせる
3. カラーモードの確認
4. エッジブレンディングを使う
5. 色合わせ(微調整)を行う

設定はプロジェクターの操作パネルでも行えますが、ここではリモコンを使った操作で説明します。

プロジェクターID/リモコンID

プロジェクターとリモコンにIDを設定するとIDが一致するプロジェクターだけをリモコンで操作できるようになり、本機を複数台並べて使用するとき便利です。

すべてのプロジェクターをリモコンで同時に操作するときには、リモコン側面のIDスイッチをOffにします。

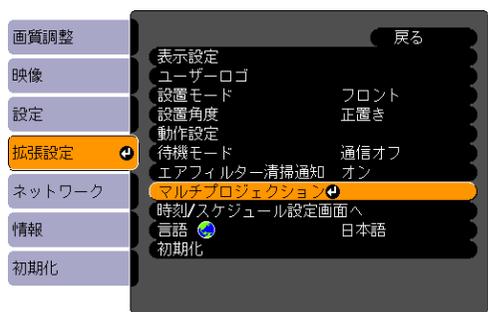
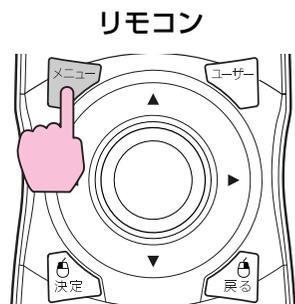


- リモコンの操作範囲内にあるプロジェクターのみ、リモコンで操作できます。☞「リモコンの操作範囲」p.17
- 環境設定メニューの動作設定でリモコン種類を簡単に設定しているときはリモコンIDは設定できません。☞ p.57
- プロジェクターIDがオフ、またはリモコンのIDが0のときは、IDは無効になります。

プロジェクターIDを設定する

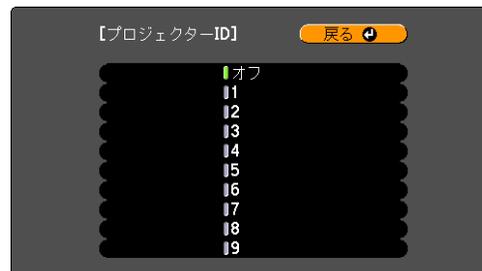
操作

- 1 本機で投写中に[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから拡張設定メニュー - 「マルチプロジェクション」を選びます。
 ☛ 「環境設定メニューの操作」 p.47



- 2 「プロジェクターID」を選択し、[決定]ボタンを押します。

- 3 IDとして使用する数字(1から9まで)を1つ選び、[決定]ボタンを押します。



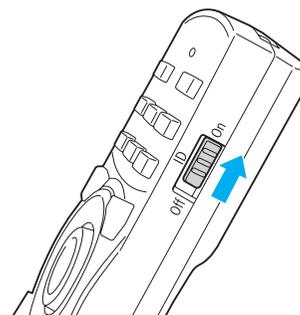
- 4 [メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

プロジェクターIDの確認方法

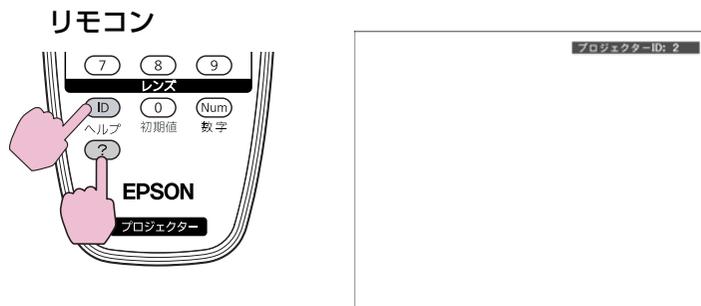
設定されているプロジェクターIDの確認は以下の操作で行います。

操作

- 1 リモコンのIDスイッチをOnに設定します。



- ② 本機で投写中に、[ID]ボタンを押したまま[ヘルプ]ボタンを押します。

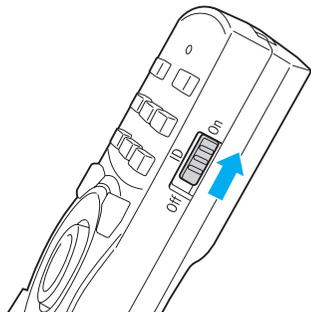


ボタンを押すと、投写画面上に現在のプロジェクターIDが表示されます。表示は約3秒で消えます。

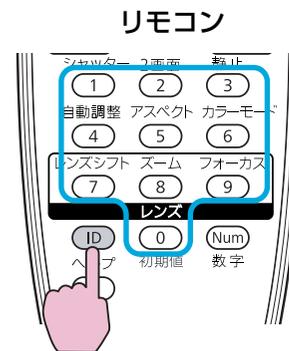
リモコンIDを設定する

操作

- ① リモコンのIDスイッチをOnに設定します。



- ② [ID]ボタンを押したまま、操作するプロジェクターのIDと同じ数字のボタンを押します。☞「プロジェクターIDの確認方法」p.149



設定が終了するとリモコンから操作できるプロジェクターが限定されます。



リモコンIDの設定はリモコンに記憶されます。記憶したID設定は、リモコンの電池交換などで、リモコンからいったん電池を外しても残ります。ただし、電池を取り外した状態で長期間放置すると初期値(ID0)に戻ります。

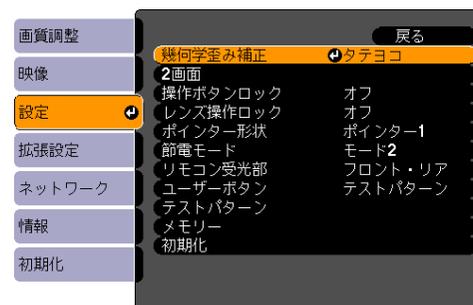
投写位置を合わせる

補正量の大きい順番に映像の投写位置を調整します。

1. 本体の位置(向き) ☞ p.128
2. レンズシフト/ズーム ☞ p.136
3. 幾何学歪み補正
 - Quick Corner ☞ p.138
 - ポイント補正 ☞ p.151



- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、フォーカス/ズーム/レンズシフトの設定は、映像を投写し始めてから30分以上たってから行うことをお勧めします。
- テストパターンを表示させると、映像機器を接続せずに投写状態を調整できます。 p.135
- 複数台並べて投写するときは、拡大・縮小などの処理を加えずにそのまま表示できるドットバイドットの画像を使うと補正作業を簡単に行えます。



ポイント補正

本機を複数台並べて投写するときに、部分的に発生するわずかなゆがみを補正したり、映像の重なり合う部分の位置を調整します。

投写画像を格子で区切り、格子の交点を上下左右に移動させることで投写画面のゆがみを補正することができます。

操作

- 1 本機で投写中に[メニュー]ボタンを押します。設定メニュー - 「幾何学歪み補正」を選択し[決定]ボタンを押します。 「環境設定メニューの操作」 p.47



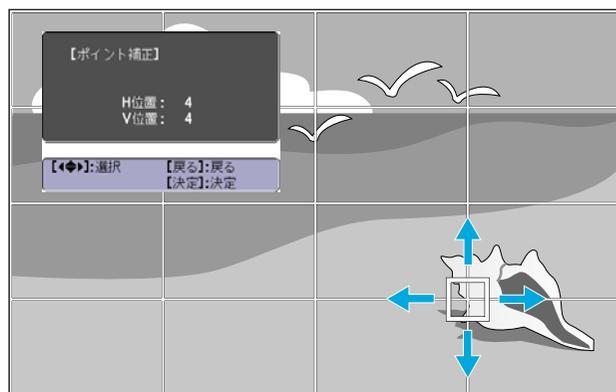
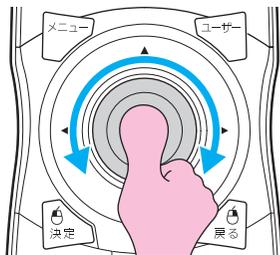
- 2 「ポイント補正」を選択し[決定]ボタンを押します。
- 3 「ポイント数」を選択し、[決定]ボタンを押します。
- 4 「3x3」、「5x5」、「9x9」のいずれかを選択し、[決定]ボタンを押します。
- 5 [戻る]ボタンを押して前の画面に戻ります。
- 6 「調整開始」を選択し、[決定]ボタンを押します。
ポイント数で選択した値に応じて、投写映像上にポイント選択画面が表示されます。



ガイドの色は、**パターン色**で変更できます。

- 7 リモコンの[◉]ボタンでガイドを補正したいポイントに合わせ、[決定]ボタンを押します。

リモコン

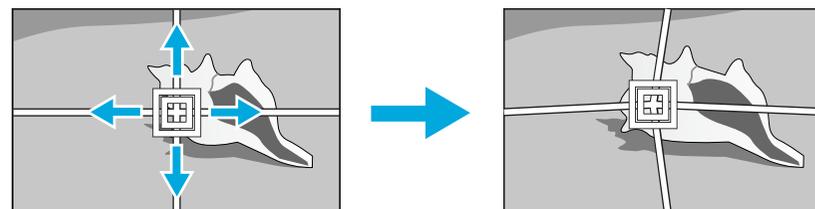
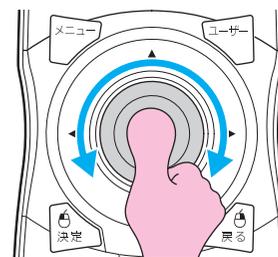


ポイントを選択中に[戻る]ボタンを約2秒間押し続けると、初期化実行確認画面が表示されます。

ポイント補正で補正した結果を初期化する場合は「はい」を選択してください。

- 8 リモコンの[◉]ボタンでゆがみを補正します。

リモコン



続けて他のポイントを修正する場合は、[戻る]ボタンを押して前の画面に戻り、手順7、8を行います。



調整中に[初期値]ボタンを押すと、選択中の箇所が初期値に戻ります。

- 9 補正を終了するには、[戻る]ボタンを押します。

カラーモードの確認

カラーモードの設定をマルチプロジェクションにします。  p.27

エッジブレンディングを使う

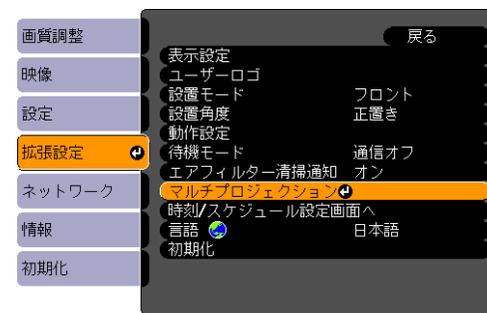
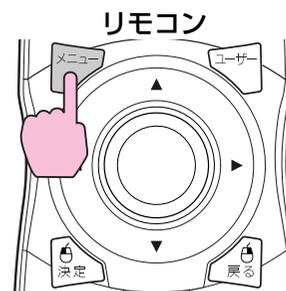
本機を複数台並べて投写するとき、映像のつなぎ目を目立たなくします。

エッジブレンディングメニューで以下の項目を設定して映像を補正します。

サブメニュー	機能
エッジブレンディング	オン に設定すると、本機のエッジブレンディング機能が有効になります。マルチスクリーンで投写しないときは、 オフ に設定します。
エッジ位置 (上)/(下)/(右)/(左)	ブレンディング ： オン に設定すると、設定中の方向に対してエッジブレンディング機能が有効になり、ブレンド範囲にグラデーションをかけます。 ブレンド範囲 ：グラデーションをかける範囲を調整します。1画素単位での調整が可能です。範囲の最大は解像度の45%です。
ブレンド曲線	グラデーションのかけ方を3通りの中から選択できます。
黒レベル調整	暗い映像を表示したときに重なり合う部分が明るくまってしまうのを映像が重なっていない部分を補正することで目立たなくします。 明るさ補正 ：グラデーションをかけていない範囲の明るさを調整します。 色補正(緑-赤) ：グラデーションをかけていない範囲の色味(緑～赤)を調整します。 色補正(青-黄) ：グラデーションをかけていない範囲の色味(青～黄)を調整します。
マーカー	オン に設定すると、エッジブレンディングの設定範囲にマーカーが表示されます。
マーカー色	マーカーの色の組み合わせを3通りの中から選択できます。

操作

- 1 [メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから拡張設定メニュー - 「マルチプロジェクション」を選びます。☛「環境設定メニューの操作」 p.47



- 2 「エッジブレンディング」を選択し、[決定]ボタンを押します。
- 3 「エッジブレンディング」を有効にします。
 - (1) エッジブレンディングを選択し、[決定]ボタンを押します。
 - (2) オンを選択し、[決定]ボタンを押します。
 - (3) [戻る]ボタンを押します。

4 マーカーを表示します。

- (1) マーカーを選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) オンを選択し、[決定]ボタンを押します。
- (3) [戻る]ボタンを押します。

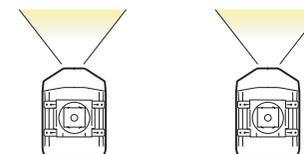
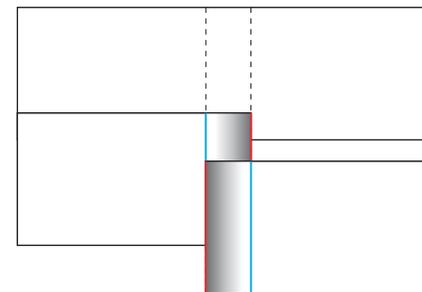


マーカーが見えにくいときは、**マーカー色**で色を変更できます。

5 「エッジ位置(上)/(下)/(右)/(左)」を設定します。

- (1) エッジブレンディングを設定するエッジ位置(上)/(下)/(右)/(左)を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) ブレンディングを選択し、[決定]ボタンを押します。
- (3) オンを選択し、[決定]ボタンを押します。
- (4) [戻る]ボタンを押します。

- (5) **ブレンド範囲**でグラデーションをかける範囲を調整します。映像の重なり合う範囲とマーカーの位置が等しくなる値が最適になります。



ブレンド範囲調整中に[初期値]ボタンを押すと、設定値を初期値に戻すことができます。

- (6) [戻る]ボタンを押します。

6 「ブレンド曲線」を設定します。

- (1) **ブレンド曲線**を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) グラデーションのかけ方を1~3から選び、[決定]ボタンを押します。
- (3) [戻る]ボタンを押します。

7 黒レベルを調整します。

- (1) **黒レベル調整**を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) **明るさ補正**で補正するレベルを調整します。
- (3) **色補正(緑-赤)**で補正するレベルを調整します。
- (4) **色補正(青-黄)**で補正するレベルを調整します。

(5) [戻る]ボタンを押します。



明るさ補正、色補正(緑-赤)、色補正(青-黄)を調整中に[初期値]ボタンを押すと、選択中の項目が初期値に戻ります。

マルチプロジェクションで色合わせ(微調整)を行う

本機を複数台並べて投写するとき、各投写映像の明るさと色合いの違いを手動で補正することができます。

補正を行ってもそれぞれの映像の明るさと色合いは完全に一致しないこともあります。

マルチプロジェクションメニューで以下の項目を設定して映像を補正します。

サブメニュー	機能
明るさレベル	個体の明るさが異なるときに調整します。
マルチスクリーン	<p>調整レベル：投写映像の調整レベルを変更します。</p> <p>明るさ補正：明るさを全白から全黒の間で色階調ごとに調整します。</p> <p>色補正(緑-赤)：色味(緑～赤)を調整します。</p> <p>色補正(青-黄)：色味(青～黄)を調整します。</p>



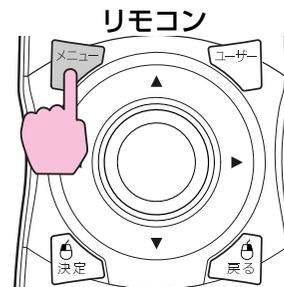
暗い映像で重なり合っている部分が気になるときは、黒レベル調整を再度調整します。

映像を部分的に拡大(表示倍率変更)して表示する

操作

1

本機で投写中に[メニュー]ボタンを押します。映像メニュー - 「表示倍率変更」を選択し、[決定]ボタンを押します。☛「環境設定メニューの操作」 p.47



2

「表示倍率変更」を選択し、「オン」を選びます。

3

「表示倍率モード」を選択し、表示倍率を選びます。

フル表示	リサイズ表示していないときは、アスペクトモードのノーマルと同じになります。
------	---------------------------------------

ズーム表示

アスペクトモードで設定された範囲で表示します。  [p.21](#)

4 「タテ倍率」、「ヨコ倍率」、「タテ/ヨコ倍率同時調整」のいずれかを選択し、表示倍率を調整します。

5 「映像表示範囲」を設定します。

画面を合わせるとき、上下2枚の画面、左右2枚の画面など、合わせる映像によって、切り出し座標位置や切り出しサイズが異なりますので、画面を見ながら調整します。

特定の日、あるいは毎週の決まった時間に電源のオン/オフを行ったり、入力ソースを切り替えるなど、スケジュールに登録したイベントを自動的に実行することができます。

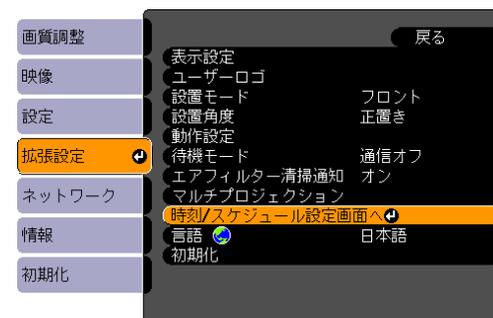
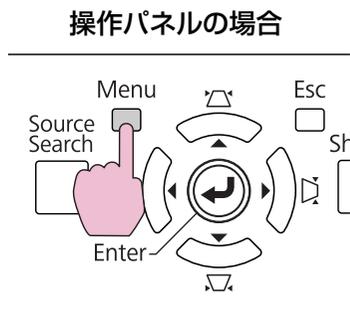
設定方法

Webリモートを使うと、コンピュータから設定することができます。

☞ p.107

操作

- 1 [メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押して、環境設定メニューから拡張設定メニュー - 「時刻/スケジュール設定画面へ」を選びます。☞「環境設定メニューの操作」 p.47



- 2 時刻やスケジュールを設定します。
トップメニューやサブメニューの選択、選択した項目を変更する操作は、環境設定メニューと同様に行います。



登録されているスケジュールを全て削除するにはスケジュール初期化メニューを選択してはいを選択します。

- 3 設定完了メニューを選択して、「はい」を選択します。
環境設定メニューに戻ります。

時刻設定

サブメニュー名	機能
日付	プロジェクターに今日の日付を設定します。
時刻	プロジェクターに現在の時刻を設定します。
時差(UTC)	協定世界時からの時差を設定します。
夏時間設定画面へ	夏時間の設定を行う画面を表示します。
インターネット時刻	オンに設定するとインターネット時刻サーバーへ接続し、時刻を自動的に更新します。
インターネット時刻サーバー	インターネット時刻サーバーのIPアドレスを入力します。

夏時間設定画面

サブメニュー名	機能
夏時間	夏時間を有効にする(オン)/しない(オフ)を設定します。
夏時間開始	夏時間を開始する日時を設定します。
夏時間終了	夏時間を終了する日時を設定します。
夏時間調整(分)	標準時間と夏時間の差を調整します。

スケジュール

登録されているスケジュールを一覧表示します。

新規イベントを選択するか、登録済みのスケジュールから編集を選択すると時刻/スケジュール設定画面が表示されます。

イベントは最大30イベントまで登録できます。

時刻/スケジュール設定画面

サブメニュー名	機能
イベント設定	イベント実行時のプロジェクターの動作を設定します。
日付/時刻設定	イベントを実行する日時を設定します。

LANケーブルの接続

市販の100BASE-TXまたは10BASE-TタイプのLANケーブルで接続します。

接続機器	接続ケーブル	プロジェクターの端子
(ネットワークハブの)LAN端子	LANケーブル(市販品)	LAN端子  LAN

注意

LANケーブルは誤動作防止のために、カテゴリ5のシールド付をお使いください。



- 外部モニターに表示できるのは、Computer入力端子、BNC入力端子に接続したコンピュータのアナログRGB信号のみです。その他の端子に接続した機器の映像や、コンポーネントビデオ信号は表示できません。
- プロジェクターがスタンバイ状態のときは、外部モニターに映像を表示できません。
- 台形補正などの設定ゲージや環境設定メニュー・ヘルプは外部モニターに出力されません。

外部モニターとの接続

コンピュータの映像を、本機に接続した外部モニターとスクリーンに同時に表示できます。スクリーンから離れた位置でプレゼンテーションを行うときでも、外部モニターで映像を確認しながら行えます。接続は外部モニターに付属のケーブルで行います。

接続機器	接続ケーブル	プロジェクターの端子
モニター	モニターに付属のケーブル	Monitor Out端子 

あらかじめ、#2の+ドライバーをご用意ください。

投写レンズユニットの取り外しと取り付け

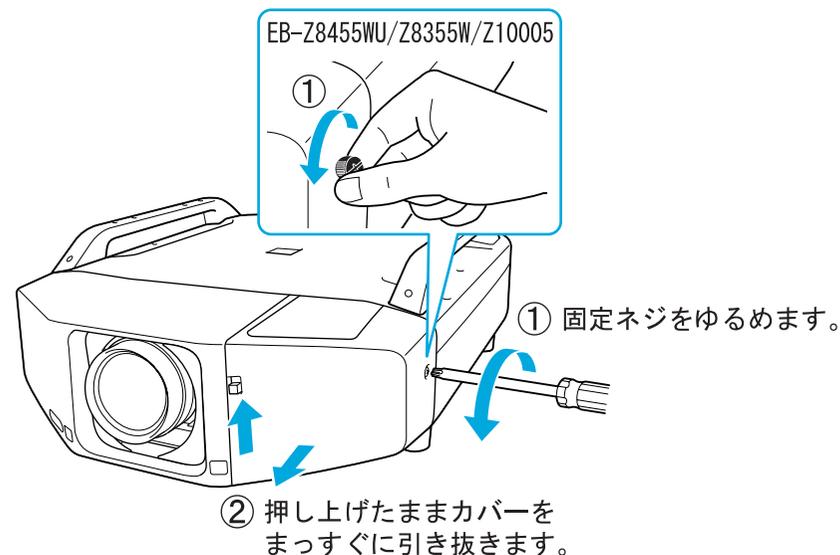
取り外し方

注意

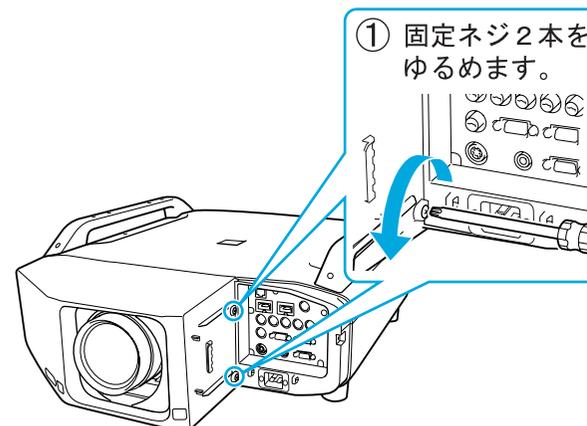
- レンズユニットは必要がないときは取り外さないでください。本機内部にホコリやゴミが入りこむと投写品質の劣化や故障の原因となります。
- レンズ部分に手や指が触れないように作業してください。レンズ面に指紋や皮脂が付くと投写品質が劣化します。
- レンズシフトを行っているときは、事前にシフト位置を中央に合わせてからレンズユニットを交換してください。 p.136

操作

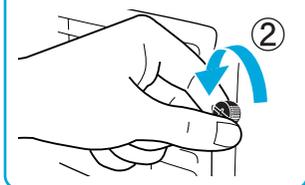
- ① インターフェイスカバーを取り外します。



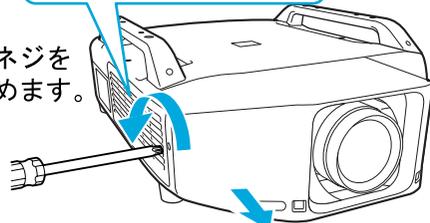
- ② フロントカバーを取り外します。



EB-Z8455WU/Z8355W/Z10005

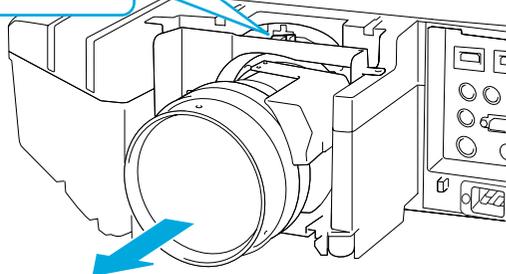
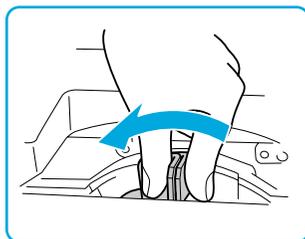


② 固定ネジをゆるめます。



③ カバーをまっすぐに引き抜きます。

③ レンズユニットロックレバーをつまんだまま、反時計回りに回します。



④ レンズユニットが外れますので、まっすぐに引き抜きます。

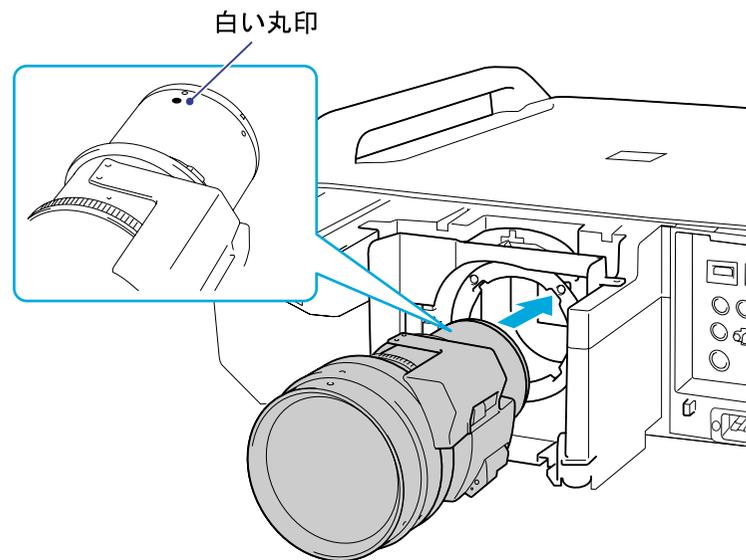
取り付け方

注意

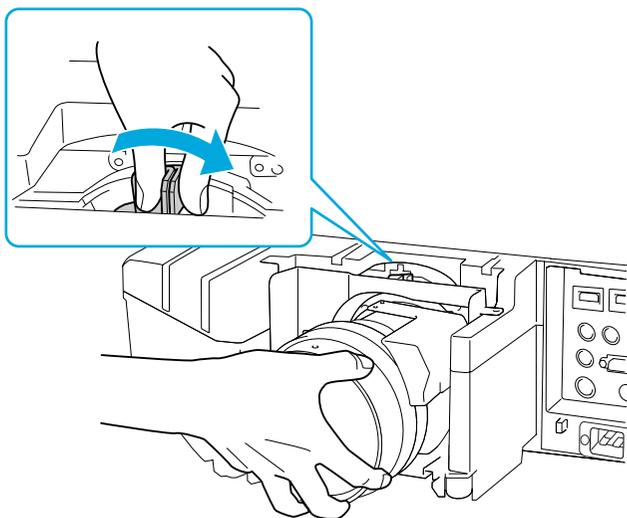
本機のレンズ挿入部を上に向けた状態でレンズユニットを装着しないでください。ホコリやゴミが入る原因となります。

操作

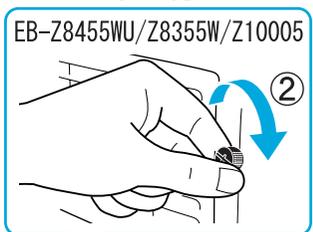
① レンズユニットの白い丸印を上に向けた状態でレンズ装着部にまっすぐ挿入します。



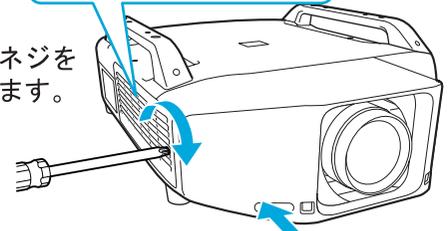
② レンズユニットをしっかり支えた状態で、ロックレバーを時計回りに動かしてロックします。ロック後は、レンズユニットが外れないことを確認してください。



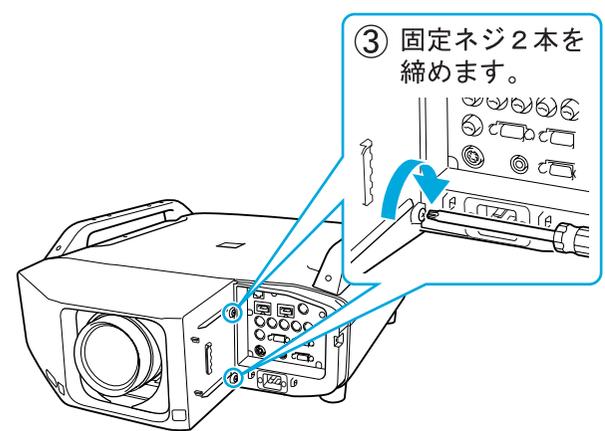
③ フロントカバーを取り付けます。



② 固定ネジを締めます。

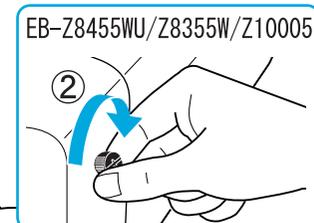


① カバーをガイドに沿って装着します。

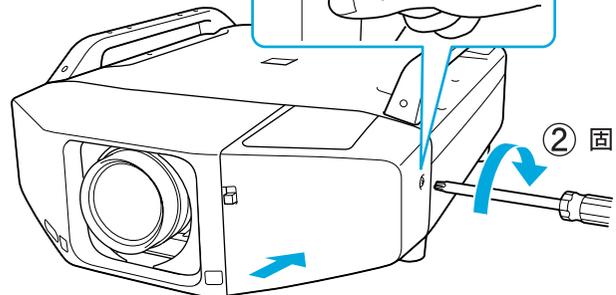


③ 固定ネジ2本を締めます。

④ インターフェイスカバーを取り付けます。



② 固定ネジを締めます。



① カバーをガイドに沿って装着します。

注意

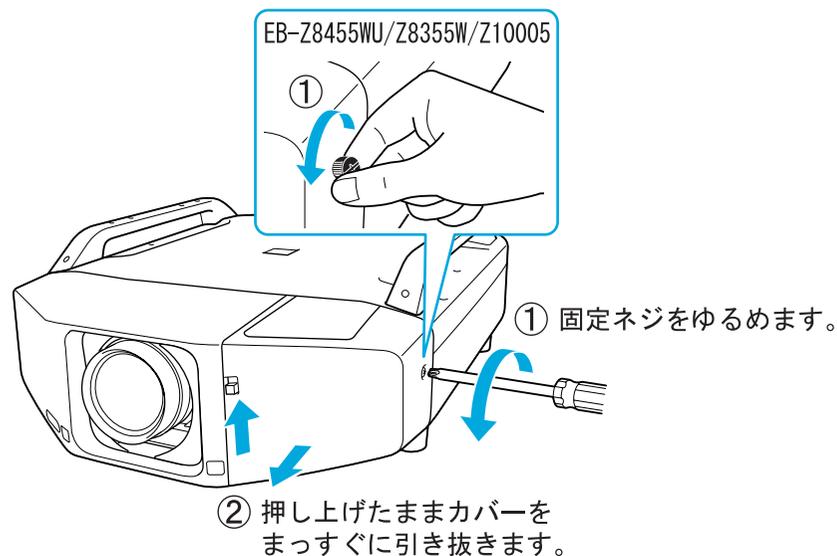
- フロントカバーは必ず取り付けて、使用してください。
- 本機は必ずレンズユニットを装着した状態で保管してください。レンズユニットを外した状態で保管すると、本機内部にホコリやゴミが入り投写品質の劣化や故障の原因となります。

無線LANユニット(ELPAP07)の取り付け

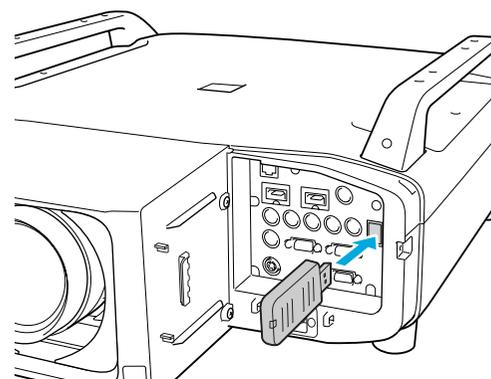
取り付け方

操作

- ① インターフェイスカバーを取り外します。



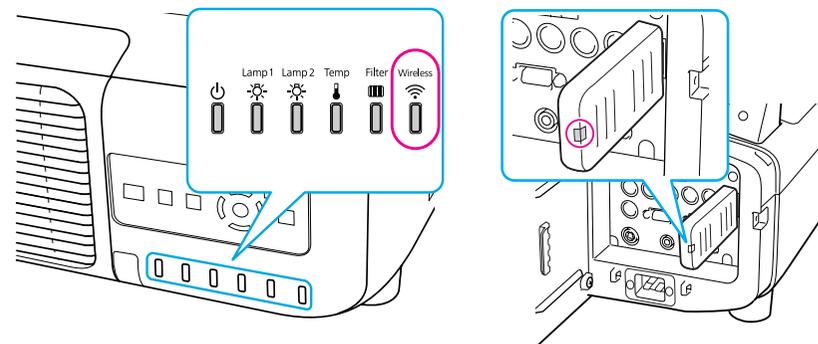
- ② 無線LANユニットを取り付けます。



無線LANユニットを装着して本機とコンピューターを無線LANで接続するときは、無線LANメニューの無線LAN電源をオンに設定します。(初期値はオンに設定されています。) p.63

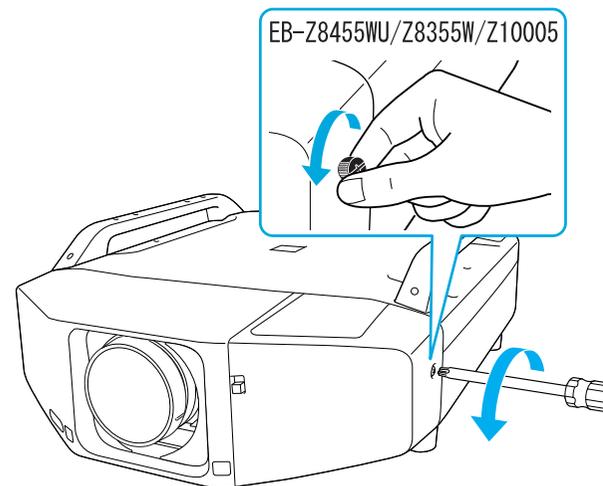
無線LANインジケータの見方

無線LANインジケータはプロジェクターと無線LANユニットの2箇所にあります。

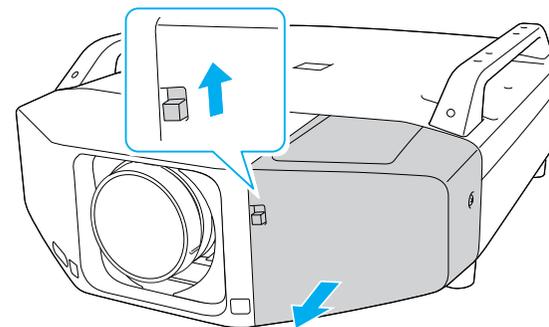


☀️ : 点滅 ■ : 点灯 □ : 消灯

状態	プロジェクターのインジケータ	無線LANユニットのインジケータ
無線LANユニットが未装着、または無線LANメニューの無線LAN電源がオフ	□	□
無線LANユニットがプロジェクターに装着されていてネットワークに未接続	☀️	☀️
無線LANユニットがプロジェクターに装着されていてネットワークに接続している	■	■
無線LANユニットがプロジェクターに装着されていてネットワークに接続して通信中		☀️



- ② インターフェイスカバー開閉スイッチを押し上げたままカバーをまっすぐに引き抜きます。



インターフェイスカバーの取り付け、取り外し

取り外し方

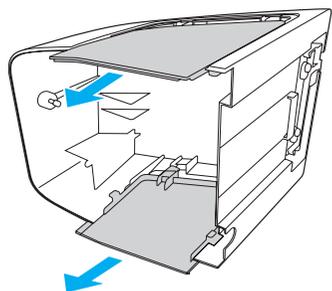
操作

- ① 固定ネジをゆるめます。

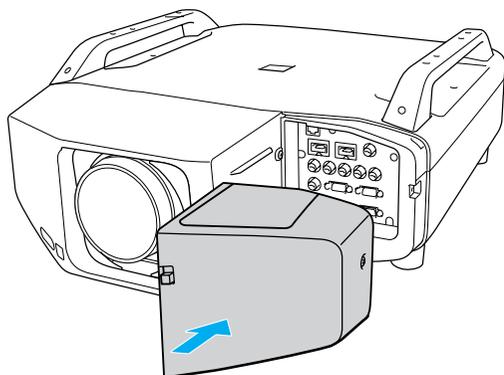
取り付け方

操作

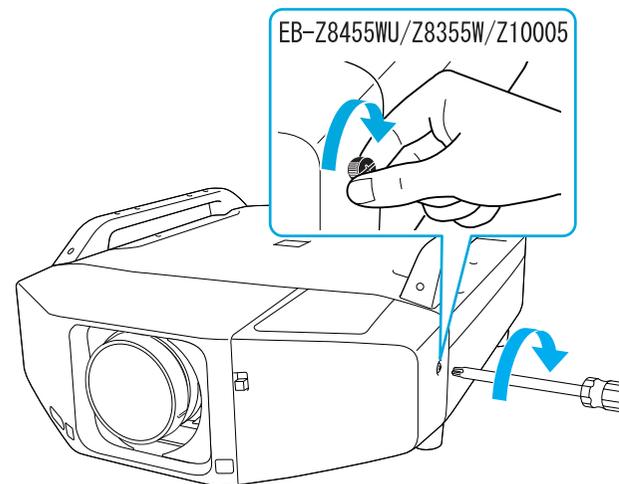
- ① 接続したケーブルを上に出すときは上側のふたを、下に出すときは下側のふたを取り外します。



② カバーをガイドに沿って装着します。



③ 固定ネジを締めます。

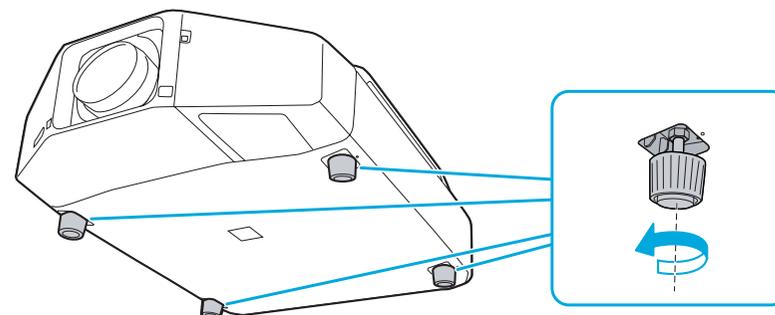


フットの取り外し

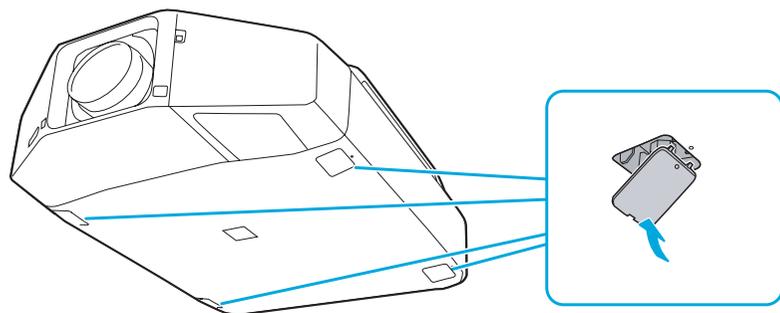
本機を天吊り設置したときは、フットを外して、同梱のフットカバーを取り付けるとすっきりとした外観となります。

操作

① フットを取り外します。



- ② 同梱のフィットカバーを取り付けます。





各種一覽

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2012年1月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション品

<p>コンピューターケーブル ELPKC02 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 1.8m) 製品同梱のコンピューターケーブルと同等品です。</p>
<p>コンピューターケーブル ELPKC09 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m) コンピューターケーブル ELPKC10 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m) 製品同梱のコンピューターケーブルでは短いときの延長ケーブルです。</p>
<p>D端子ケーブル ELPKC22 (ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m) BSデジタル放送チューナーと接続するときに使います。</p>
<p>コンポーネントビデオケーブル ELPKC19 (ミニD-Sub 15pin/RCAオス×3用 3m) コンポーネントビデオ▶を投写するときに使います。</p>
<p>リモコンケーブルセット ELPKC28 (10m、2本セット) 離れたところから確実にリモコンで操作したいときに使います。</p>
<p>ワイヤレスマウスレシーバー ELPST16 本機のリモコンでコンピューターのマウスポインターを操作したり、ページ送り/戻しの操作を行えます。</p>
<p>無線LANユニット ELPAP07 本機とコンピューターを無線LANで接続して投写するときに使います。</p>
<p>マルチメディアビューワー ELPDC11 書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。</p>

低天井用天吊り金具※ ELPMB25

高天井用天吊り金具※ ELPMB26

本機を天井に取り付けるときに使います。

※ 天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先にご相談ください。▶『[お問い合わせ先](#)』

消耗品

交換用ランプ(2個入り) ELPLP73

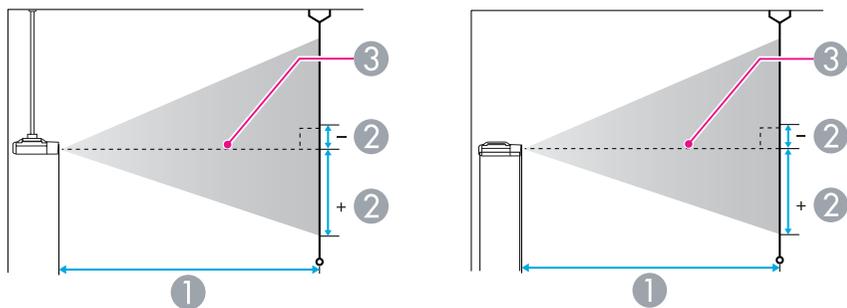
交換用ランプ(1個入り) ELPLP72

使用済みランプと交換します。

エアフィルター ELPAP23

使用済みエアフィルターと交換します。

下表は、標準レンズを装着しているときの投写距離です。オプションレンズを装着しているときは、本製品に添付の『ELPLL07/ELPLM07/ELPLM06/ELPLS04/ELPLW04/ELPLR04 取扱説明書』で投写距離を確認してください。下表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさに映るように設置してください。値は目安です。



- ① 投写距離
- ② は、レンズ中心から映像下端までの高さです。上下レンズシフトの設定により変わります。
- ③ レンズ中心

EB-Z8455WU/Z8450WUの投写距離

単位：cm

4:3 スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	上下レンズシフト 最上~最下
53型	108x81	221 - 361	-17 - +98
70型	142x107	294 - 479	-23 - +129
80型	163x122	338 - 549	-26 - +148
90型	183x137	381 - 619	-29 - +166
100型	203x152	424 - 688	-32 - +185

4:3 スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	上下レンズシフト 最上~最下
110型	224x168	467 - 758	-35 - +203
120型	244x183	510 - 828	-39 - +221
150型	305x229	640 - 1036	-48 - +277
200型	406x305	856 - 1384	-64 - +369
300型	610x457	1288 - 2081	-97 - +554
441型	896x672	1898 - 3062	-142 - +814

単位：cm

16:9 スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	上下レンズシフト 最上~最下
59型	131x73	223 - 365	-21 - +95
70型	155x87	267 - 434	-25 - +112
80型	177x100	306 - 498	-29 - +129
90型	199x112	345 - 561	-33 - +145
100型	221x125	384 - 624	-36 - +161
110型	244x137	423 - 687	-40 - +177
120型	266x149	463 - 751	-43 - +193
150型	332x187	580 - 940	-54 - +241
200型	443x249	777 - 1256	-72 - +321
300型	664x374	1169 - 1888	-108 - +482
486型	1076x605	1899 - 3064	-176 - +781

単位：cm

16:10 スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	上下レンズシフト 最上~最下
60型	130x81	221 - 361	-17 - +98
70型	151x94	259 - 423	-20 - +114
80型	172x108	297 - 484	-23 - +130
90型	194x121	335 - 546	-26 - +147
100型	215x135	374 - 607	-28 - +163
110型	237x148	412 - 669	-31 - +179
120型	258x162	450 - 730	-34 - +196
200型	431x269	755 - 1222	-57 - +326
300型	646x404	1137 - 1837	-85 - +489
500型	1077x673	1900 - 3067	-142 - +815

4:3 スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	上下レンズシフト 最上~最下
120型	244x183	502 - 814	-37 - +219
150型	305x229	630 - 1020	-46 - +274
200型	406x305	843 - 1363	-61 - +366
300型	610x457	1268 - 2048	-91 - +549
441型	896x672	1868 - 3014	-134 - +807

単位：cm

16:9 スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	上下レンズシフト 最上~最下
59型	131x73	220 - 359	-20 - +94
70型	155x87	262 - 428	-24 - +111
80型	177x100	301 - 490	-28 - +127
90型	199x112	339 - 552	-31 - +143
100型	221x125	378 - 614	-35 - +159
110型	244x137	417 - 676	-38 - +175
120型	266x149	455 - 739	-42 - +191
150型	332x187	571 - 925	-52 - +239
200型	443x249	764 - 1236	-69 - +318
300型	664x374	1150 - 1859	-104 - +477
486型	1076x605	1869 - 3016	-168 - +773

EB-Z8355W/Z8350Wの投写距離

単位：cm

4:3 スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	上下レンズシフト 最上~最下
53型	108x81	217 - 355	-16 - +97
70型	142x107	290 - 472	-21 - +128
80型	163x122	332 - 540	-24 - +146
90型	183x137	375 - 609	-27 - +165
100型	203x152	417 - 677	-30 - +183
110型	224x168	460 - 746	-34 - +201

単位：cm

16:10 スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	上下レンズシフト 最上~最下
60型	130x81	217 - 355	-16 - +97
70型	151x94	255 - 416	-19 - +113
80型	172x108	292 - 476	-22 - +129
90型	194x121	330 - 537	-24 - +145
100型	215x135	368 - 597	-27 - +162
110型	237x148	405 - 658	-30 - +178
120型	258x162	443 - 719	-32 - +194
200型	431x269	743 - 1203	-54 - +323
300型	646x404	1119 - 1808	-81 - +485
500型	1077x673	1870 - 3019	-135 - +808

4:3 スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	上下レンズシフト 最上~最下
120型	244x183	396 - 646	-10 - +193
200型	406x305	665 - 1082	-17 - +322
300型	610x457	1002 - 1626	-25 - +483
500型	1016x762	1676 - 2716	-42 - +804

単位：cm

16:9 スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	上下レンズシフト 最上~最下
56型	124x70	197 - 324	-17 - +87
70型	155x87	249 - 407	-21 - +108
80型	177x100	285 - 467	-24 - +124
90型	199x112	322 - 526	-27 - +139
100型	221x125	359 - 586	-30 - +155
110型	244x137	395 - 645	-33 - +170
120型	266x149	432 - 704	-36 - +185
150型	332x187	542 - 882	-45 - +232
200型	443x249	726 - 1179	-60 - +309
300型	664x374	1093 - 1773	-90 - +464
458型	1014x570	1672 - 2711	-137 - +708

EB-Z10005/Z10000/Z8150の投写距離

単位：cm

4:3 スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	上下レンズシフト 最上~最下
60型	122x91	194 - 319	-5 - +97
70型	142x107	228 - 373	-6 - +113
80型	163x122	261 - 428	-7 - +129
90型	183x137	295 - 482	-8 - +145
100型	203x152	329 - 537	-8 - +161
110型	224x168	362 - 591	-9 - +177

単位：cm

16:10 スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	上下レンズシフト 最上~最下
57型	123x77	195 - 321	-13 - +90
70型	151x94	242 - 396	-16 - +110
80型	172x108	277 - 454	-18 - +126
90型	194x121	313 - 512	-20 - +141
100型	215x135	349 - 569	-22 - +157
110型	237x148	385 - 627	-25 - +173
120型	258x162	420 - 685	-27 - +188
150型	323x202	527 - 858	-34 - +236
200型	431x269	706 - 1147	-45 - +314
300型	646x404	1063 - 1725	-67 - +471
471型	1014x634	1673 - 2712	-106 - +740

対応解像度

コンピューター映像 (アナログRGB)

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60/72/75/85	640x480
SVGA	56/60/72/75/85	800x600
XGA	60/70/75/85	1024x768
WXGA	60	1280x768
	60	1366x768
	60/75/85	1280x800
WXGA+	60/75/85	1440x900
WSXGA+※1	60	1680x1050
WXGA++	60	1600x900
SXGA	70/75/85	1152x864
	60/75/85	1280x1024
	60/75/85	1280x960
SXGA+	60/75	1400x1050
UXGA	60	1600x1200
WUXGA※2	60	1920x1200

※1 EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350Wのみ。環境設定メニューの入力解像度でワイドを選択した場合のみ

※2 EB-Z8455WU/Z8450WUのみ。VESA CVT-RB(Reduced Blanking) 信号のみ対応
上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
SDTV(480i)	60	720x480
SDTV(576i)	50	720x576
SDTV(480p)	60	720x480
SDTV(576p)	50	720x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080
HDTV(1080p)※	50/60	1920x1080

※ EB-Z8455WU/Z8450WUのみ。

コンポジットビデオ/S-ビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
TV(NTSC)	60	720x480
TV(PAL,SECAM)	50/60	720x576

HDMI1/2入力端子からの入力信号

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60	640x480
SVGA	60	800x600
XGA	60	1024x768
WXGA	60	1280x800
SXGA	60	1280x960
	60	1280x1024
SXGA+	60	1400x1050
WXGA++	60	1600x900

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
WXGA	60	1366x768
WXGA+	60	1440x900
UXGA	60	1600x1200
WSXGA+※1	60	1680x1050
WUXGA※2	60	1920x1200
SDTV(480i)	60	720x480
SDTV(480p)	60	720x480
SDTV(576i)	50	720x576
SDTV(576p)	50	720x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080
HDTV(1080p)	24/30/50/60	1920x1080

※1 EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350Wのみ。

※2 EB-Z8455WU/Z8450WUのみ。

VESA CVT-RB(Reduced Blanking) 信号のみ対応

SDI入力端子からの入力信号 (EB-Z8455WU/Z8450WUのみ)

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
SDTV(480i)	60	720x480
SDTV(576i)	50	720x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080
HDTV(1080p)	24/25/30	1920x1080

クライアント証明書(PEAP-TLS/EAP-TLS)

項目	説明
対応フォーマット	PKCS#12
拡張子	PKCS, P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
パスワード	設定が必要。32文字以内の英数字

項目	説明
Organization	任意
パスワード	設定が必要。32文字以内の英数字

サーバー証明書(PEAP/PEAP-TLS/EAP-TLS/EAP-Fast)

項目	説明
対応フォーマット	X509v3
拡張子	DER/CER/PEM
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
エンコード	BASE64/バイナリー

Webサーバー証明書(セキュアHTTP)

項目	説明
対応フォーマット	PKCS#12
拡張子	PKCS, P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
Common Name	ネットワークホスト名

本機仕様

商品名	EB-Z8455WU/Z8450WU	EB-Z8355W/Z8350W	EB-Z10005/Z10000	EB-Z8150
外形サイズ	幅534×高さ167×奥行734mm(突起部含まず)			
パネルサイズ	0.94型ワイド	0.95型ワイド	1.06型	
表示方式	ポリシリコンTFTアクティブマトリクス			
画素数	2,304,000個 WUXGA(横1920×縦1200ドット)×3	1,024,000個 WXGA(横1280×縦800ドット)×3	786,432個 XGA(横1024×縦768ドット)×3	
フォーカス調整	電動			
ズーム調整※1	電動(1-1.6)			
レンズシフト※1	電動(上下方向最大約70%、左右方向最大約20%)		電動(上下方向最大約56%、左右方向最大約6%)	
ランプ	UHE ランプ 定格340W 2個 型番：ELPLP73(2個入り)/ELPLP72(1個入り)			
電源	100-240V AC ±10%, 50/60 Hz 9.8-4.3A			100-240V AC ±10%, 50/60 Hz 8.3-3.5A
消費電力	100-120Vエリア	定格消費電力：968W 待機時消費電力(通信オン)：4.3W 待機時消費電力(通信オフ)：0.4W		定格消費電力：822W 待機時消費電力(通信オン)：4.3W 待機時消費電力(通信オフ)：0.4W
	220-240Vエリア	定格消費電力：911W 待機時消費電力(通信オン)：5.1W 待機時消費電力(通信オフ)：0.5W		定格消費電力：786W 待機時消費電力(通信オン)：5.1W 待機時消費電力(通信オフ)：0.5W
動作高度	標高 0～3048m			
動作温度範囲	0～+50℃※2(結露しないこと)			
保存温度範囲	-10～+60℃(結露しないこと)			
質量※1	約22kg			

※1 標準レンズを装着しているときの仕様です。他のオプションレンズを装着しているときは、レンズに添付の取扱説明書をご参照ください。

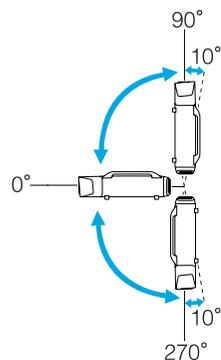
※2 標高0m～1500mの環境で、節電モードをモード2に設定しているときは0～+50℃、オフに設定しているときは0～+45℃。

標高1500m～3048mの環境で、節電モードをモード2に設定しているときは0～+45℃、オフに設定しているときは0～+40℃。

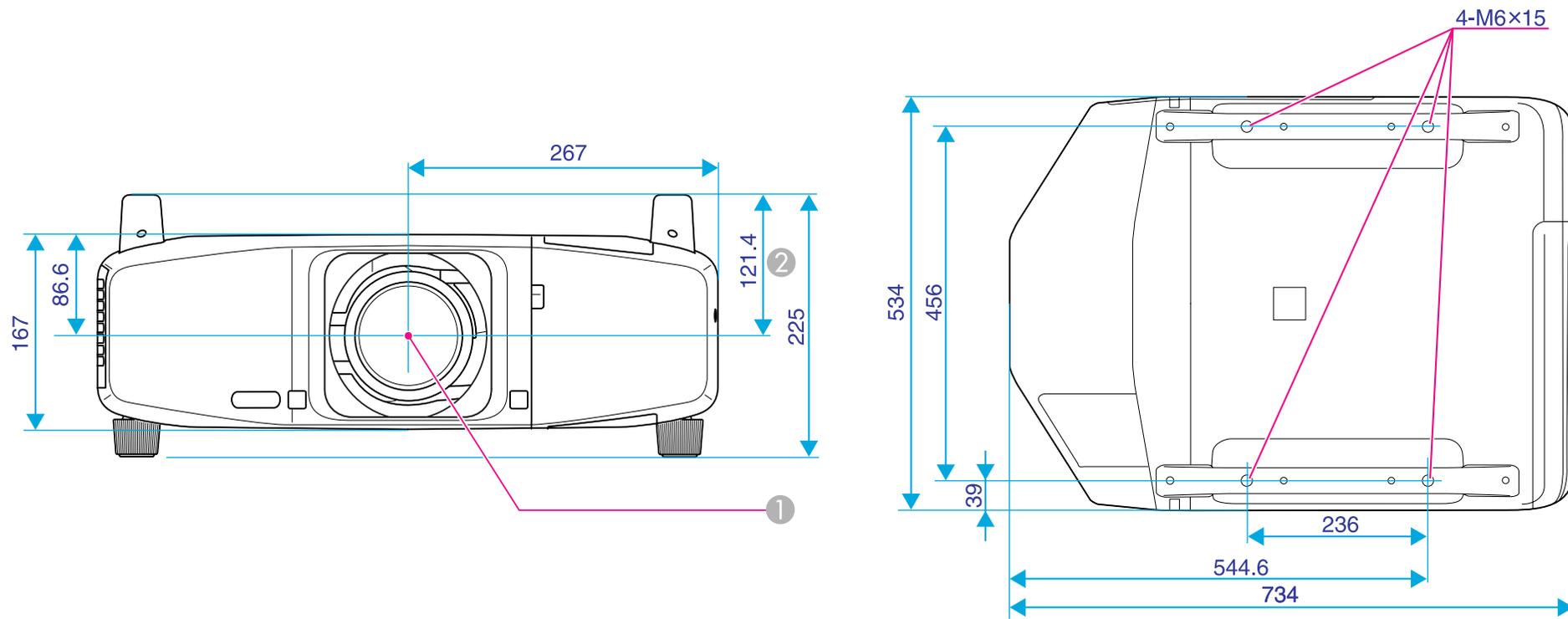
商品名			EB-Z8455WU/Z8450WU	EB-Z8355W/Z8350W	EB-Z10005/Z10000	EB-Z8150
接続端子	Computer入力端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス) 青			
	BNC入力端子	1系統	5BNC(メス)			
	Video入力端子	1系統	1BNC(メス)			
	S-Video入力端子	1系統	ミニDIN 4pin			
	HDMI1入力端子	1系統	HDMI HDCP対応			
	HDMI2入力端子	1系統	HDMI HDCP対応			
	SDI入力端子	1系統	1BNC(メス)	-		
	Monitor Out端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス) 黒			
	USB端子 (無線LANユニット専用)※	1系統	USBコネクタ(Aタイプ)			
	LAN端子	1系統	RJ-45			
	RS-232C端子	1系統	ミニD-Sub 9pin(オス)			
	Remote端子	1系統	ステレオミニピンジャック			

※ USB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

傾斜角度



上記以外の角度でお使いになると、故障や事故の原因となります。



- ① レンズの中心
- ② レンズの中心から天吊固定部までの寸法

単位：mm

本書で使用している用語で本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

AMX Device Discovery	AMX Device Discoveryとは、AMX社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、AMX社の提唱する技術です。エプソンでは、その技術のプロトコルを導入して、そのプロトコル機能を有効(ON)にできる設定を用意しました。詳細に関しては、AMX社のWEBサイトを参照してください。 URL http://www.amx.com/
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、 IPアドレス ▶▶を自動的に割り当てるプロトコルのことです。
DICOM	Digital Imaging and Communication in Medicineの略称です。医用画像の画像規格及び通信プロトコルを定義した世界標準規格です。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略でDVIやHDMI入力端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正にコピーされるのを防止する著作権保護技術です。本機のHDMI端子はHDCPに対応しているためHDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ▶▶走査、iはインターレース▶▶走査) ● 画面のアスペクト比▶▶は16:9
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
S-ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をいいます。
SDI	Serial Digital Interfaceの略です。本機ではSD-SDI (Standard Definition)とHD-SDI (High Definition)の両方式に対応しています。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、 HDTV ▶▶の条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルーターやコンピューター、端末などネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
SVGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800ドット×縦600ドットのもの呼びます。
SXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,280ドット×縦1,024ドットのもの呼びます。
VGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640ドット×縦480ドットのもの呼びます。
WPS(Wi-Fi Protected Setup)	Wi-Fi Allianceで無線LANの設定や暗号化が簡単にできるように策定した規格です。
XGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024ドット×縦768ドットのもの呼びます。

アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16：9と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は4：3です。
アドホックモード	無線LANの通信方式の一つで、アクセスポイントを経由せずに機器同士が直接通信を行なう方式です。
インターレース	1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示する方法をいいます。
インフラストラクチャーモード	無線LANの通信方式の一つで、各機器がアクセスポイントを経由して通信を行います。
ゲートウェイアドレス	サブネットマスク▶▶によって分割したネットワーク(サブネット)を超えて通信するためのサーバー(ルーター)のことです。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の3つの独立した信号からできている映像をいいます。
コンポジットビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号(NTSC、PAL、SECAM)です。カラーバー信号の中の伝送用信号Y(輝度信号)とクロマ(色)信号を重ねて1つの信号にしています。
サブネットマスク	IPアドレス▶から、分割したネットワーク(サブネット)のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
同期	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数に本機の周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピューターのIPアドレス▶▶のことです。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて一画面を構成する方式をいいます。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で表します。

本製品について

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

表記について

Microsoft® Windows® 2000 operating system
 Microsoft® Windows® XP Professional operating system
 Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system
 Microsoft® Windows Vista® operating system
 Microsoft® Windows® 7 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」と表記しています。また、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7を総称する場合はWindows、複数のWindowsを併記する場合はWindows 2000/XP/Vistaのように、Windowsの表記を省略することがあります。

Mac OS X 10.3.x
 Mac OS X 10.4.x
 Mac OS X 10.5.x
 Mac OS X 10.6.x
 Mac OS X 10.7.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Mac OS X 10.3.9」、「Mac OS X 10.4.x」、「Mac OS X 10.5.x」、「Mac OS X 10.6.x」、「Mac OS X 10.7.x」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Mac OS」と表記します。

商標について

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Vista、Windows 7、PowerPoint、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

IBM、DOS/V、XGAは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。

Macintosh、Macは、Apple Inc.の商標です。

Pixelworks、DNXはPixelworks社の商標です。

本製品は、RSA Security Inc.のRSA, BSAFE™ソフトウェアを搭載しています。RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。BSAFEはRSA Security Inc.の米国および他の国における登録商標です。

WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの登録商標です。

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標または登録商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI LicensingLLCの商標、または登録商標です。 

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

o インジケータ 82

数字・アルファベット

2画面 55
 2画面設定 29
 AMX Device Discovery 71
 BNC同期終端 58
 BNC入力端子 12
 Bonjour 72
 CA証明書 74
 Computer入力端子 13
 Crestron RoomView 72, 116
 DHCP 70
 DICOM SIM 27
 EasyMP Monitor 106
 EPSON Message Broadcasting 72
 ESC/VP21 113
 Event ID 78, 94
 Eズーム 33
 Filterインジケータ 82
 Filterインジケータ 96
 HDMI1入力端子 12
 HDMI2入力端子 13
 HDMIビデオレベル 54
 IPアドレス 70
 Lamp1/2インジケータ 82
 Lens 13
 Lens Conreol 108
 Message Broadcasting 120
 Monitor Our端子 13
 PLink 115
 PLinkパスワード 71
 Quick Corner 55, 137

Remote端子 13
 RS-232C端子 13, 113
 SDI端子 13
 SDIビデオレベル 54
 Shutter 14
 SMTPサーバー 73
 SNMPメニュー 75
 Source Search 13, 19
 sRGB 27
 S-Video入力端子 13
 Tempインジケータ 82
 Video入力端子 13
 Web Remote 107
 Web Remote/パスワード 62
 Webサーバー証明書 74
 Web制御 60, 107
 Web制御パスワード 71
 WPA/WPA2-EAP 68
 WPA/WPA2-PSK 67

ア

明るさ 51
 明るさレベル 58
 アクセスポイント検索 65
 アスペクト 21, 54
 アドバンスト 51
 色合い 51
 色の濃さ 51
 インジケータ 82
 インターフェイスカバー 11, 160, 163
 エアフィルター清掃通知 58
 エアフィルターの交換時期 102
 エアフィルターの交換方法 102

エアフィルターの掃除 96
 映像メニュー 53
 エッジブレンディング 58, 153
 オーバースキャン 54
 オーバーヒート 83
 オプション品 168

カ

解像度 173
 拡張設定メニュー 57
 確認音 58
 各部の名称と働き 11
 画質調整メニュー 51
 画面サイズ 30
 カラーモード 27, 51
 環境設定メニュー 47
 管理者設定メニュー 71
 管理者パスワード 71
 幾何学歪み補正 55
 基本設定メニュー 62
 吸気口 11
 クライアント証明書 74
 傾斜角度 177
 ゲートウェイアドレス 64, 70
 ケーブルカバー 164
 言語 58
 高地モード 58
 故障かなと思ったら 82
 コントラスト 51

サ

サブネットマスク 70
 左右画面入替 29

シアター	27
時刻/スケジュール設定画面へ	58
自己署名証明書	74
自動調整	53
シャープネス	51
シャッター	32
シャッタータイマー	58
仕様一覧	176
情報メニュー	77
証明書	109, 175
証明書管理メニュー	74
消耗品	168
初期化メニュー	76, 79
ズーム	21
ズームボタン	15
スクリーンサイズ	169
スケジュール	157
スタートアップスクリーン	57
スポーツ	27
スリープモード	58
静止	32
セキュアHTTP	71
セキュリティーロット	11
セキュリティーメニュー	66
絶対色温度	51
設置角度	57
設置と接続	127
設置モード	57
設定メニュー	55
節電モード	55
全初期化	79
操作パネル	13
操作ボタンロック	39, 40, 55
ソフトキーボード	61

タ

ターゲットスコープ	34
対応解像度	173
待機モード	58
台形補正	140
ダイナミック	27
ダイレクトパワーオン	58
タテヨコ	55
タテヨコ補正	140
超解像	53
通知イベントの指定	73
テストパターン	56, 135
電源端子	13
電源投入時	37
天吊り固定部	11
問い合わせコード	39
同期	53
同期情報	77
動作温度範囲	176
動作設定	58
投写距離	169
投写レンズ	11, 160
トラッキング	53
トラップIPアドレス1/2	75

ナ

入力解像度	77
入力検出	19
入力信号	77
入力信号方式	54
入力ソース	29, 77
ネットワーク設定画面	60

ネットワークプロジェクターへの接続	122
ネットワーク保護	38
ネットワークホスト名	71
ネットワークメニュー	60
ノイズリダクション	54
ノーマル	55

ハ

背景表示	57
パスワードプロテクト	37, 60
パスワードプロテクトシール	38
ハンドル	11
ビデオ信号方式	54, 77
表示位置	53
表示設定	57
表示倍率変更	54
フォト	27
フル	21
フレーム補間	53
プレゼンテーション	27
プログレッシブ変換	53
プロジェクターID	58, 149
プロジェクターキーワード	62
プロジェクター名	62
フロントカバー	11, 160
フロントフット	11
ポインター	33
ポインター形状	55
ポイント補正	55
ポート番号	73
保存温度範囲	176
本機の掃除	96

- ## マ
- マルチスクリーン 58
 - マルチプロジェクション 27, 58
 - 無線LANインジケータ 163
 - 無線LAN電源 63
 - 無線LANメニュー 63
 - 無線LANユニット 163
 - メールアドレス1/2/3 73
 - メール通知機能 73, 111
 - メール通知機能メニュー 73
 - メッセージ表示 57
 - メニュー 47
 - メニュー表示位置 57
 - メモリー 56
 - メモリー削除 56
 - メモリー初期化 79
 - メモリー登録 56
 - メモリー名称変更 56
 - メモリー呼出 56
 - モスキートNR 54, 147
 - Monitorパスワード 71
- ## ヤ
- ユーザーロゴ 35
 - ユーザーロゴ保護 37
 - 有線LANメニュー 70
 - 優先ゲートウェイ 71
 - 弓型補正 55
- ## ラ
- ランプカバー 12
 - ランプ状態 77
 - ランプ点灯時間 77
 - ランプ点灯時間の初期化 101
 - ランプの交換時期 99
 - ランプの交換方法 99
 - リアスクリーン 128
 - リアル 21
 - リフレッシュレート 77
 - リモコン 14
 - リモコンID 150
 - リモコン受光部 11
 - リモコンボタンロック 41
 - レンズシフト 136
 - レンズシフトボタン 15
 - レンズ操作ロック 40, 55